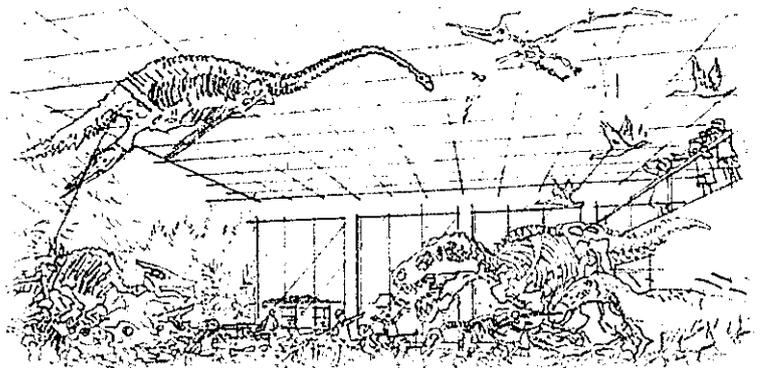




長崎のもぞき恐竜パーク指定管理者選考に関する事業計画書





目 次

1	基本方針	1
(1)	基本理念	1
(2)	重点事業	5
(3)	運営体制の考え方	9
(4)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	10
2	施設の設置目的と計画	14
(1)	施設の設置目的	14
(2)	現状認識	15
(3)	事業計画	22
3	企画立案	32
(1)	恐竜パーク全体としての企画・イベント・情報発信に対する提案	32
(2)	恐竜博物館の企画展示・ワークショップ・教育プログラム・講演会等の提案	45
4	サービスの向上	53
(1)	施設の利用者の増加や利便性を高める取組み	53
(2)	ミュージアムショップの運営方法	62
(3)	地域活性化事業	64
5	評価と改善	65
6	協働と連携	66
7	平等利用の確保	71
8	個人情報の保護	73
9	緊急時の対応	76
10	施設管理	80
11	人員配置	84
12	収支計画	94

1. 基本方針

(1) 基本理念

オール野母崎。みんなの想いを、未来へ。

私たちは、今回の長崎のもぎき恐竜パーク事業計画を策定するにあたり、およそ1年間をかけて、地元野母崎の関係団体の皆さまや野母崎の活性化を応援したいとお考えの多くの事業者の皆さまの声をお聞きしてきました。

そこから得たものは今回のプロジェクトに対する熱い期待と、野母崎を心の底から愛する気持ちです。

私たちは、オール野母崎という気持ちをもって、皆さまの想いを今回の事業計画にとりまとめます。

お話しをお伺いした野母崎地区の皆さま

- ・野母崎三和漁業協同組合
- ・野母崎産業活性化協議会
- ・野母崎地区連合自治会(野母地区・高浜地区・脇岬地区・樺島地区)各組合長
- ・野母崎振興公社
- ・長崎西彼農業協同組合三和支店
- ・南長崎商工会青年部
- ・長崎半島活性化協議会
- ・レインボーミュージック
- ・水仙マン
- ・軍艦島クルーズ船:えびす丸 馬場さん
- ・野母崎ゴルフクラブ
- ・野母崎地区のお店
(高浜アイランド・モハラ・四川料理リンリン
きまま焙煎所・花かざり・その他野母崎地区のお店のみなさん)

応援を頂く企業・団体の皆さま

- ・長崎文化放送(株)
- ・長崎放送(株)
- ・(株)長崎国際テレビ
- ・(株)テレビ長崎
- ・(株)FM長崎
- ・(株)長崎ケーブルメディア

- ・(株)長崎新聞社

- ・長崎バス(株)
- ・長崎バス観光(株)
- ・長崎遊覧バス(株)
- ・長崎県レンタカー協会
- ・日本航空(株)
- ・軍艦島クルーズ協議会(軍艦島コンシェルジュ、やまさ海運、シーマン商会)
- ・長崎トヨペット(株)

- ・KPG・HOTEL&RESORT
- ・長崎市旅館ホテル連合会
- ・長崎県観光連盟
- ・出島VOF(出島指定管理者)
- ・メモリード(株)(グラバー園指定管理者)

- ・長崎大学
- ・長崎総合科学大学
- ・鎮西大学
- ・長崎市立図書館

※記載はヒアリングをさせて頂きました地域や事業者の皆さまであり別途お示しする構成員・協力企業とは異なります。

私たちが実現したいこと。～めざす姿・到達点～

私たちが本事業に応募したのは民間企業としての利益を追求するものではありません。以下の4つの到達目標に示すとおり、あくまで野母崎地域の活性化、ひいては長崎市全体の活性化に貢献したい想いで本事業に取り組んで参ります。

価値の再認識と発信

恐竜博物館を契機とした
野母崎の地球規模での価値や
魅力の再認識と発信を行うこと

地域ブランディング

住民や事業者の皆さん、
野母崎ファンがつながり、
野母崎を訪れ、楽しみ、暮らした
くなるような地域ブランドづくり

オール野母崎

経済の発展

住民や事業者の皆さんが
本件を契機にまちづくりに
関心と関わりを持ち、
地域の経済が循環する仕組み
を作ること

持続可能な地域

子どもからお年寄りまで、
全ての人の笑顔と元気を生み出
すまち。子どもが育ち、
ずっと暮らしていきたいくなる
持続可能な地域を作ること

(私たち)
指定管理・博物館経営
・集客・おもてなしの
プロフェッショナル集団

(2)重点事業

未来の実現に向け、
私たちが提案したい4つの重点事業

1

オンリーワンの価値を提供する恐竜パーク

- ・世界で一番、海に近い恐竜博物館
- ・フィールド全体で恐竜を起点にSDGsを学ぶ
- ・世界初の“本物”を体感できる

私たちは“単なる博物館”ではなく、「ロケーション」・「学び」・「本物の体感」の3つの意味を持つオンリーワンの博物館・恐竜パークとしての価値の提供を迫ります。

特に、私たちが所有する隣接ホテルの温泉成分は恐竜時代のものの可能性があるという学術発表もなされています。ここでしか得られない価値を体験できる博物館を目指します。



野母崎全体が壮大な「ナチュラル・パーク」であるという 地域ブランディング。エリア全体で価値を創造し、 周遊・活性化の仕組みを作ります。

野母崎から恐竜の化石が発見されたこと、また、恐らく世界初と思われる恐竜時代の温泉成分が発見された意味は、恐竜時代からの大自然が手つかずのまま現代に受け継がれていることを意味しています。これは野母崎全体が地球規模での価値を持つ「自然公園＝ナチュラル・パーク」であることを意味していると考えます。

私たちは野母崎が“恐竜のまち”ではなく、国内外の人が共感する地球レベルでの重要な価値を持つ“ナチュラル・パーク”としてのブランディングを行い、野母崎全体に人を呼び込み、周遊させ、経済が活性化する仕組みを構築します。



Z世代*の心に響く情報発信 野母崎の魅力を発掘し、伝え、ブランドを創る拠点 「(仮称)NOMON クリエイト・ラボ」の創設

恐竜博物館と野母崎のブランド価値を高めるには情報発信が不可欠です。私たちはTVなどに頼る従来型の情報発信ではなく、ネット世代である若者（Z世代）の心に響くブランディングと情報発信（プロモーション）を行います。

その中核として、私たちは恐竜パークの中に、野母崎の地域資源を発掘し、磨き上げ、発信する拠点として「(仮称) NOMON クリエイト・ラボ」を設置します。野母崎の活性化を応援するクリエイターの力を生かし、これまでなかった魅力の発信を行います。



恐竜パーク

「(仮称)NOMON
クリリエイト・ラボ」

野母崎の資源発掘や情報発信を行うクリエイターのネットワーク・情報拠点

※Z世代：1990年代以降に生まれた若者世代。幼少期から“デジタルデバイス（機器）やインターネットの存在を前提とした生活”をしているデジタルネイティブ（ネットネイティブ）世代といわれる。世界の人口の3割をしめ、今後の消費やトレンドを創造する中核といわれている。

野母崎の元気と笑顔をつくる 「(仮称)のもぎき大学」

本事業の特徴の一つは、博物館に加え、文化センターや体育館などの複合施設の運営であることです。私たちは恐竜パークが、子供からお年寄りまでの全ての人の元気と笑顔を創造する拠点として、多様な生涯学習や生涯スポーツを提供する「(仮称)のもぎき大学」を立ち上げます。



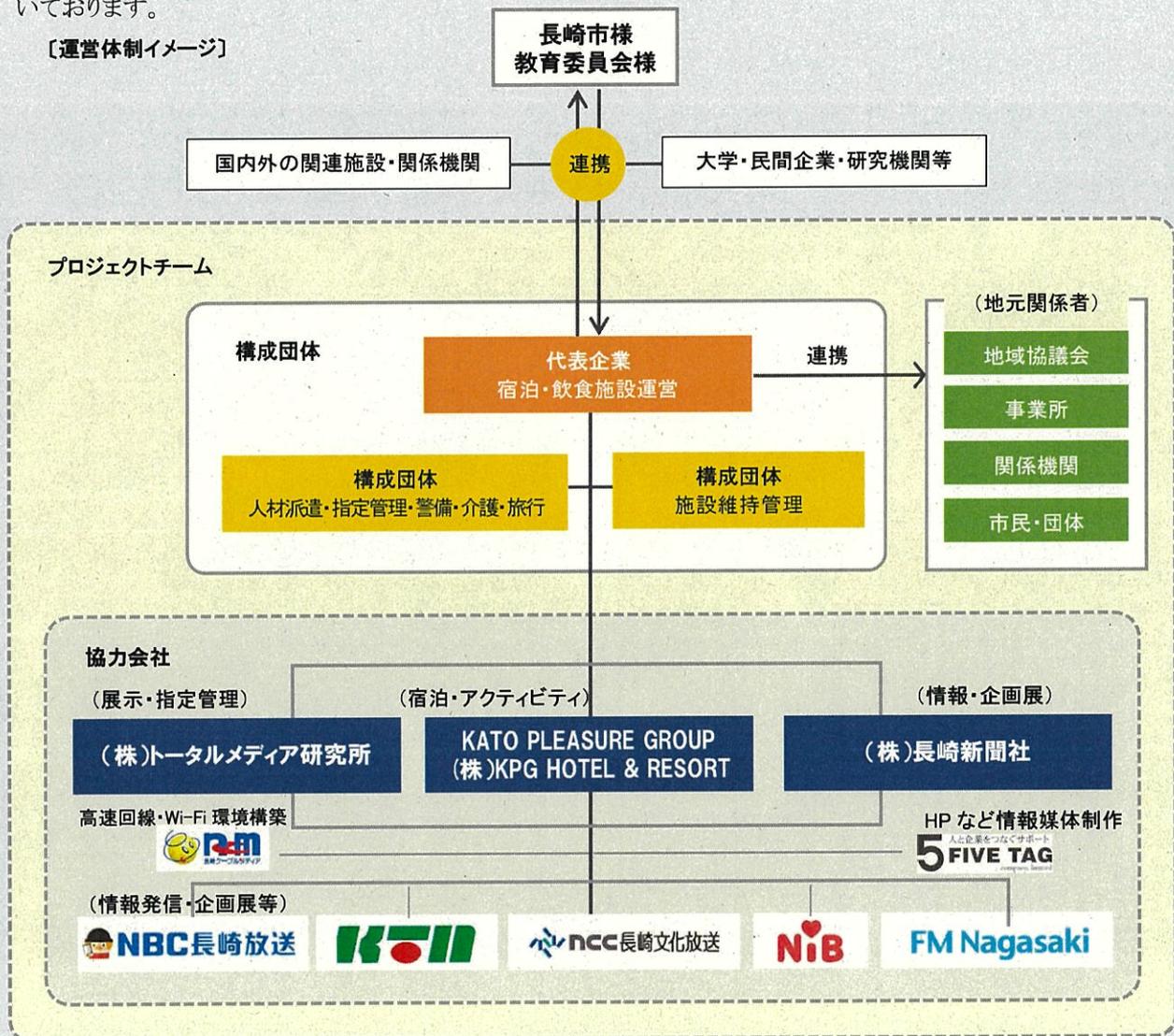
(3) 運営体制の考え方

各部門のプロフェッショナルによる運営を行います。

- パーク隣接のホテル運営を行う事業者を代表とした各部門のプロフェッショナルによる構成団体
- 協力企業として指定管理業務・文化財保存活用に精通した「トータルメディア研究所」がチームに参画
- 南部地域一体としての活性化をめざし「(株)KPG HOTEL & RESORT(アイランドナガサキ)」が参画
- 長崎新聞社をはじめとする市内メディア各社が全面的にバックアップ
- 地元との密接な関係を構築

私たちは、本事業を持続可能で最大限の効果を生み出す運営を行うため、各部門のプロフェッショナルが参加したプロジェクトチームを構成しました。協力会社には本施設展示の実施設設計・設計監理を行う(株)トータルメディア研究所のほか、南部地域の主要宿泊施設である(株)KPG HOTEL & RESORT(アイランドナガサキ)、集客・情報発信・企画展示実施のキーマンとなる長崎新聞社、テレビ局各社などの市内のメディア企業に参加頂いております。

〔運営体制イメージ〕



(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

ホテル経営で培ったノウハウを最大に活用します。

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」や各施設のガイドラインなどを基本に、ホテル経営で培った独自の感染防止対策を行うとともに、万が一の緊急時対策を徹底します。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策は極めて重要な課題です。私たちは、安全で安心して楽しめる恐竜パークの運営に向け、屋内施設については日本博物館協会が発表した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(改訂版)令和2年9月18日」を基本としながら、ホテル経営で培ったきめ細かな感染防止対策を行います。また、万が一の事態に備えては地元医療機関と連携した万全の緊急時対策を実施します。

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を基にした対策

恐竜博物館並びに他の集客施設(屋外含む)については、日本博物館協会が発表しているガイドラインのほか、各団体・自治体が発表している各種の感染拡大予防ガイドラインを基にした対策の徹底を図ります。

〔博物館ガイドライン総論より〕

- ・ 密が発生しない程度の間隔を確保
- ・ 必要に応じた感染防止のための入場制限(入館可能時間、入館可能な人数制限、大人数来館の制限等)
- ・ リスク評価に基づく必要に応じた展覧会の中止又は延期
- ・ 感染疑いが発生した場合の館内での対応措置(隔離、防護対策、搬送等)と所轄保健所等との連絡体制の整備

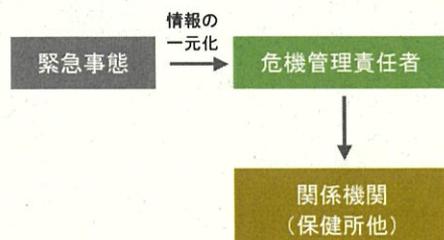
ホテル経営で培った独自の感染予防対策を現場に導入

ホテル経営を行う代表企業は新型コロナに対する独自の対応策を既に数多く実施しており、これまでも施設内発生をゼロに抑える実績を有しています。このノウハウを本施設に展開し安全安心の環境を創出します。(以下、オリジナルアイコン)



万が一の緊急事態に備えた医療機関・関係機関との密接な連携体制の構築

恐竜パーク全体の危機管理を総括する「危機管理責任者」を定め、万が一の緊急事態には常時責任者へ情報が集約する内部体制を構築します。また、保健所や医療機関などの関係機関との連絡体制を整備し緊急時の適切な対応を行います。



従業員マニュアルの整備と徹底した研修による確実な実行体制の構築

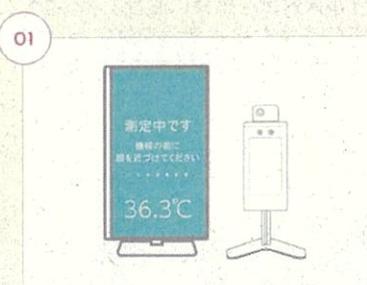
新型コロナウイルス対策を確実に遂行できるよう、パート・アルバイトを含む全従業員を対象としたマニュアルを整備するとともに、定期的な研修を行います。



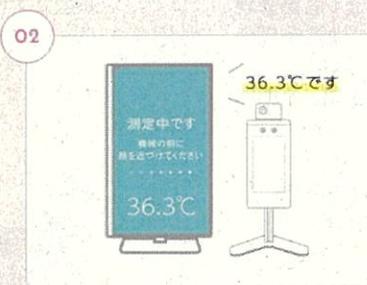
恐竜博物館に設置する「体表温度測定サーモカメラ」の導入

恐竜パークにおける新型コロナウイルス対策の象徴的な取り組みとして、非接触で表面温度を瞬時に検知高精度サーモグラフィカメラを導入します。

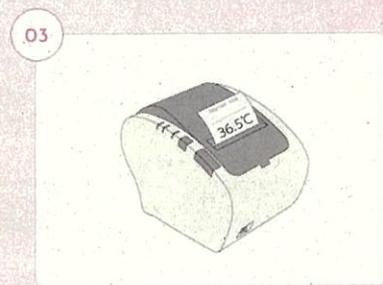
同システムは、誤差 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ という高精度の体温測定が可能であり、AI(人工知能)により、最大 6m(推奨 3m)の距離から複数人(最大 20 人)を同時に体温測定が可能です。高速かつ非接触の安全なスクリーニングを実現します。あらかじめ設定した以上の温度を検知した場合には、対象者に接触する事なく瞬時に警告アラート(画像と音)で即座に通知することで、確実な水際対策とともに労力の大幅カットを実現します。



01 体温が大きく見やすい
測った体温を大きく表示しますのでお年寄りの方でも安心です。



02 体温を音声で読み上げる
体温をしっかり読み上げます。



03 体温をロール紙でプリントアウト
体温はその場で印刷可能です。

※実際の製品選定にあたっては長崎市様との協議により決定いたします。

(参考)「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(改訂版)令和2年9月18日」



■ 総論

- ・密が発生しない程度の間隔を確保
- ・必要に応じた感染防止のための入場制限(入館可能時間、入館可能な人数制限、大人数来館の制限等)
- ・リスク評価に基づく必要に応じた展覧会の中止又は延期
- ・感染疑いが発生した場合の館内での対応措置(隔離、防護対策、搬送等)と所轄保健所等との連絡体制の整備



■ 来館者の安全確保のために実施すること

- ・来館前の検温実施
- ・来館自粛条件の事前告知(ホームページ、施設入口)
- ・咳エチケット、マスク常時着用、こまめな手洗い・手指の消毒要請(消毒液の設置、マスクの配布・販売など)
- ・オーディオガイド、ベビーカー、車椅子等の瑕疵立ち物についての十分な消毒
- ・パンフレット等の配布物の据え置き方式の導入
- ・大声を出す者などへの個別の注意等



■ 従事者の安全確保のために実施すること

- ・従事者の緊急連絡先や勤務状況の把握
- ・定期的な検温と発熱時などの対応徹底
- ・マスクの常時着用、咳エチケット、手洗い、手指の消毒の徹底
- ・ユニフォーム等の洗濯
- ・来館者に対する説明や誘導のために必要な発話・直接対応の機会の削減
- ・施設の管理・運営に必要な最小限人数の導入・ジョブローテーションの工夫



■ 展覧会の実施に当たって特に留意すべきこと

- ・フロアマーカ―等の設置の工夫による来館者同士の密が発生しない程度の間隔の確保
- ・直接手で触れることができる展示物(ハンズオン)の抑制とやむを得ない場合における消毒の徹底、注意喚起
- ・必要に応じた展示室ごとの人数制限や自動音声による注意喚起など、特定の展示作品前の大勢の人数が滞留しないための措置
- ・展示室内における会話制限

(参考)弊社ホテルにおけるコロナ対策の一例

我々は、お客様と従業員の安全と安心を第一に考え、お客様が安心してご利用いただけるよう、社員一丸となり下記項目に取り組んでおります。

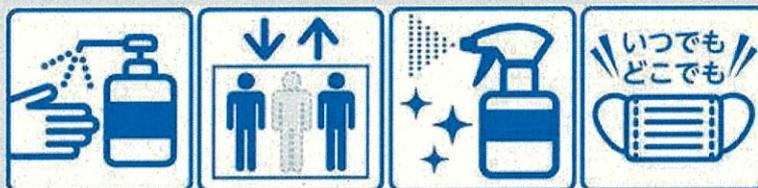
■当館ご利用のお客様へお願い

- ・ご入館の際に体調のすぐれないお客様は入館をお断りさせていただく場合がございます。
- ・館内では、感染予防の為、必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・館内では、定期的な手洗いや手指用消毒の実施をお願いいたします。
- ・館内で体調が悪化した場合は至急スタッフまで申し出いただけますようお願いいたします。
- ・ソーシャルディスタンスにご協力頂きますようお願いいたします。



■館内での取り組み

- ・ロビー、共用スペースの化粧室に消毒液を設置しております。
- ・エレベーターをご利用の際は、おひとり、ご家族、グループ単位での利用をお願いいたします。
- ・エレベーターの内外ボタン、階段の手摺り、ソファ、自動販売機等を定期的に消毒液で拭き取り清掃を実施しております。
- ・売店ご利用の際は、消毒液を設置しておりますので、手指消毒とマスク着用をお願いしております。



■従業員の体調管理

- ・出勤時の健康状態の確認及び体温測定を実施し、風邪などの症状がある場合は自宅待機としております。・従業員は、出勤時の手洗い・うがい、手指消毒を徹底し、お客様の安全を考慮し従業員がマスクを着用しております。
- ・お客様と従業員の安全を考慮し、フロント、売店では、飛沫感染防止用シールドを設置しております。



■コロナ対策とサービス向上の取り組み

スタッフのマスク着用の徹底などによりお客様にお伝えする「笑顔」をお届けする事が難しい状況の中で、私達スタッフ一同、心からのおもてなしの気持ちをどうお伝えするか、新たな「おもてなし」のあり方とは？スタッフ一同、お越し頂いたお客様が満足して滞在して頂く為に、日々奮闘中でございます。

これからもお客様が安心してご利用いただける環境作りに注力して参りますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2 施設の設置目的と計画

(1)設置目的

恐竜パークは、「長崎市恐竜博物館」、「恐竜広場(恐竜パーク体育館、恐竜パーク庭球場など)」、「長崎市野母崎文化センター」、「長崎市軍艦島資料館」で構成され、学習、文化スポーツ及び地域交流の場を一体的に提供し、市内外の人々の来訪及び市民の活動を促し、もって地域の活性化及び観光の振興に資することを目的とした施設です。

各施設の設置目的(設置条例などより)

長崎市恐竜博物館	恐竜を中心とする古生物学及び地学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供し、あわせて博物館資料に関する調査研究を行い、もって学術及び文化の発展に寄与するため。
恐竜広場	市民の体育・スポーツの振興を図ることにより、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するとともに、恐竜パーク全体のインフォメーションや多様なイベント開催などの交流促進をはかるため
長崎市野母崎文化センター	市民の文化的教養の向上及び社会教育の振興を図るため。
長崎市軍艦島資料館	歴史的価値を有する端島に関する資料を市民の観覧に供し、もって観光の振興及び地域の活性化に資するため。



(2) 計画策定にあたっての現状認識

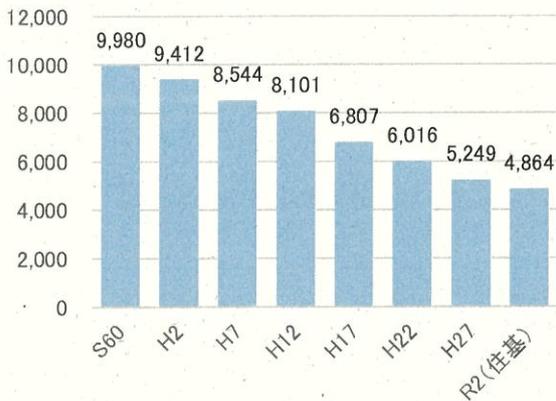
① 野母崎地域全体でみた現状・課題認識

ア) 人口動態

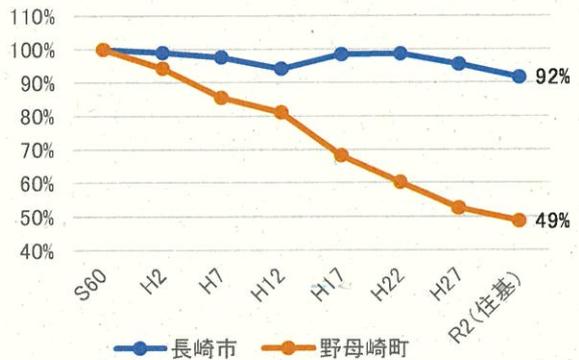
人口減少が急速に進行。20年後は更に半減する可能性も

野母崎町を中心とした南部地域では人口減少・少子高齢化が急速に進行しています。野母崎町の人口推移をみると昭和60年で9,980人だった令和2年10月(住民基本台帳)ではおよそ半数の4,864人まで減少しています。この減少率(51%)は長崎市全体が昭和60年に比べ8%減少している中で非常に減少幅が大きなものとなっています。この状態が仮にこのまま続くと20年後には人口は更に半減する可能性があります。

野母崎町の人口推移(人)



S60=100%とした場合の推移

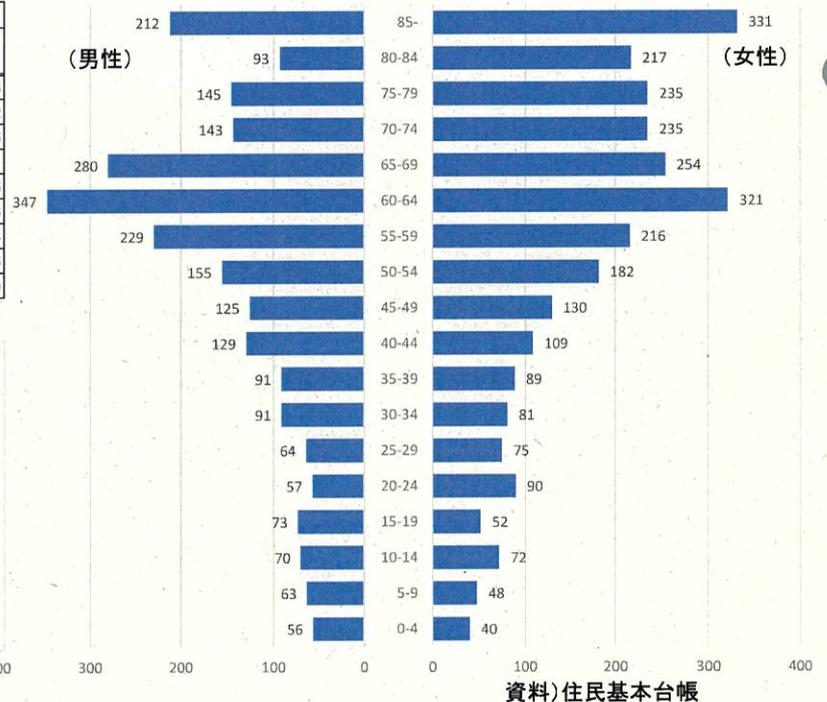


資料) 国勢調査、住民基本台帳(R2のみ)

年齢3区分別人口・構成比

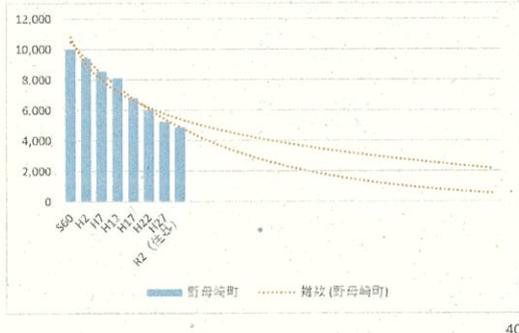
	人口(人)			割合(%)		
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
野母崎地域	288	2180	2525	5.8	43.7	50.6
蚊焼町	186	970	916	9	46.8	44.2
川原町	71	328	320	9.9	45.6	44.5
為石町	172	783	667	10.6	48.3	41.1
棒が丘町	96	408	438	10.2	43.3	46.5
藤田尾町	2	26	38	3	39.4	57.6
布巻町	50	499	438	5.1	50.6	44.4
晴海台町	324	1479	991	11.6	52.9	35.5
宮崎町	78	372	299	10.4	49.7	39.9

令和元年末人口ピラミッド(人)



資料) 住民基本台帳

将来人口推計イメージ(趨勢の場合)



イ)位置・アクセス性

軍艦島までのアクセスでは圧倒的な優位性

長崎空港から当該物件までの所要時間は約70分と、雲仙温泉と同水準の時間を要します。

長崎空港から直接アクセスする場合はレンタカーが必要であり、公共交通機関の場合は長崎市中心部での乗り継ぎが必要となります。

長崎駅から恐竜パークまでの所要時間は自動車では約44分、路線バスでは概ね60分程度を要します。なお、路線バスの便数は1日25本程度となっています。

長崎市の主要観光施設である軍艦島までは長崎市中心部からは概ね1時間程度かかりますが、当地域からは約15分と圧倒的な優位性があります。



軍艦島でのアクセス時間



		野母崎・樺島・岬木場線														
		30…野母崎方面樺島、岬木場														
		休…休は学休日運休 焼…焼は蚊焼小学校前経由														
		コ茂	長崎	大	長	戸	小	南	平	栄	黒	高	運	野	脇	樺
		コ	崎	波	崎	川	南	山	上	上	上	上	動	母	島	
		ウ	前	止	新	止	倉	台	上	上	上	上	動	母	島	
		オ	南	止	止	止	倉	台	上	上	上	上	動	母	島	
		ク	口	止	止	止	倉	台	上	上	上	上	動	母	島	
		ック	口	止	止	止	倉	台	上	上	上	上	動	母	島	
休		615	621	622	628	635	641	647	653	656	705	712	717	722	728	734
		705	711	713	719	727	733	740	747	750	759	808	811	816	822	828
		800	806	808	814	822	828	835	842	845	854	901	906	911	917	923
		830	836	838	844	852	858	905	912	915	924	930	935	940	946	952
		900	906	908	914	921	927	932	938	941	950	956	1001	1006	1012	1018
焼										1040	1051	1057	1102	1107	1113	1119
										1105	1116	1122	1127	1132	1138	1144
										1140	1151	1157	1202	1207	1213	1219
										1305	1316	1322	1327	1332	1338	1344
										1335	1346	1352	1357	1402	1408	1414
										1355	1406	1412	1417	1422	1428	1434
休		1350	1356	357	1403	1410	1416	1421	1427	1430	1439	1445	1450	1455	1501	1507
		1430	1436	437	1443	1450	1456	1501	1507	1510	1519	1525	1530	1535	1541	1547
		1510	1516	517	1523	1530	1536	1541	1547	1550	1559	1605	1610	1615	1621	1627
													1616	1622	1628	
		1535	1541	542	1548	1555	1601	1606	1612	1615	1624	1630	1635	1640	1646	1652
		1605	1611	612	1618	1625	1631	1638	1645	1648	1657	1704	1709	1714	1720	1726
		1635	1641	643	1649	1657	1703	1710	1717	1720	1729	1734	1741	1746	1752	1758
		1715	1721	723	1729	1737	1743	1750	1757	1800	1809	1816	1821	1826	1832	1838
		1735	1741	743	1749	1757	1803	1810	1817	1820	1829	1836	1841	1846	1852	1858
		1805	1811	813	1819	1827	1833	1840	1847	1850	1859	1906	1911	1916	1922	1928
		1835	1841	843	1849	1857	1903	1910	1917	1920	1931	1937	1942	1947	1953	1959
		1900	1906	908	1914	1922	1928	1935	1941	1944	1953	1959	2004	2009	2015	2021
		1930	1936	937	1943	1950	1956	2002	2008	2011	2020	2026	2031	2036	2042	2048
		2010	2016	2017	2023	2030	2036	2042	2048	2051	2100	2106	2111	2116	2122	2128
		2115	2121	2122	2128	2135	2141	2147	2153	2156	2207	2213	2218	2223	2229	2235

ウ)地域資源

豊かな自然環境に加え近年では魅力あるレジャースポットも増加中

野母崎地域は新鮮な魚介類をはじめとする安心・安全・美味しい食材の宝庫であるとともに、海水浴場や県内有数の釣りスポットなど豊かな自然資源があふれています。

近年では若者の移住やインスタ映えするオシャレなカフェなどの立地も増加し、長崎市内からのドライブなどで多くの若者が見られるようになりました。



野母崎地域の観光資源



野母崎サイクリングロード



全長20.7km、道路幅3.0mの野母崎サイクリングロードは、長崎県唯一の大規模自転車道。四季を感じるこのサイクリングロードは、大人から子供まで楽しめる。

釣りスポット



榊島周遊クルージング体験



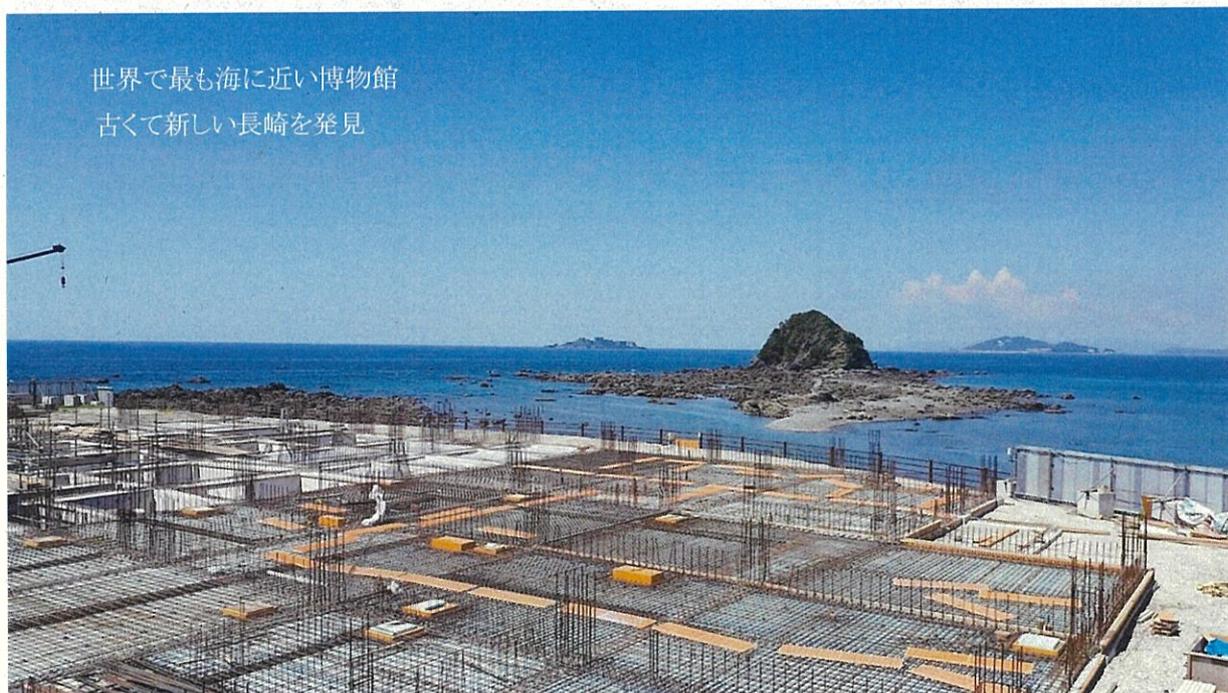
SWOT 分析による恐竜パークの運営・地域振興の課題

<p>外部環境</p>	<p>《機会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし・移住ブーム (コロナ禍で更に加速) ・安心・安全な食の需要増 ・ニューノーマル、マイクロツーリズムなど新たな潮流 ・在宅勤務やワーケーションなどあらたな生活・観光スタイルの浸透 	<p>《脅威》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大 ・飲食・宿泊などの観光業の疲弊 ・外出機会の抑制 ・観光地間競争の激化
<p>内部環境</p>	<p>《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然資源(食・景観) ・軍艦島というキラーコンテンツ ・リニューアルホテルの存在 ・非日常的なシチュエーション ・移住者の増加 ・交流スポットの増加 ・アイランドナガサキの存在 ・公共施設の集積性・拠点性 	<p>《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化 ・長崎市中心部からのアクセス ・プレイヤー不足(人・事業者) ・観光地としての知名度の低さ ・情報発信不足 ・観光客の少なさ・観光関連施設の少なさ
<p>《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然資源(食・景観) ・軍艦島というキラーコンテンツ ・リニューアルホテルの存在 ・非日常的なシチュエーション ・移住者の増加 ・交流スポットの増加 ・アイランドナガサキの存在 ・公共施設の集積性・拠点性 	<p>〔攻勢領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接ホテル・アイランドナガサキと連携した集客・プロモーション ・ワーケーションや移住施策と連携した取り組み ・移住者と連携した魅力づくり・魅力発信 ・カフェなどの若者向けインスタスポットの有効活用 	<p>〔差別化領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル経営ノウハウを活かしたきめ細かい新型コロナ対策の実施 ・野母崎地域の多様な事業者と連携したまちづくりの推進 ・水仙をはじめとした四季折々の花々や海岸の情景と季節の食彩の磨き上げ
	<p>〔弱点強化領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上アクセスの確立 ・外部人材の有効活用(野母崎ファンを集める工夫と仕掛け) ・多様な体験コンテンツを活かした野母崎ならではの魅力の提供 	<p>〔防衛領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者から高齢者までの幅広い雇用環境の整備 ・移住・定住対策の推進

これらの課題に対応した恐竜パークの運営と野母崎地域全体の総合的なまちづくり・人づくりを推進していく必要があります。

②のもぞき恐竜パークの現状・課題認識

野母崎地域の文化・健康・スポーツ交流の拠点エリアとして関連施設が集積



のもぎき恐竜パークの各施設及び野母崎地域の現状・課題認識

	現状・強み	弱み・課題
<p>軍艦島資料館 (9:00~17:00)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軍艦島での作業様子や当時の生活の様子などをパネルや映像で体感できる施設 ・ 隣接の展望台から軍艦島を直接確認できる。 ・ 令和元年度の利用者数は 14,494 人。1 日平均 40 名程度が利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展示が中心でガイダンス機能が弱い。 ・ 企画展がなく展示内容が固定化しているため一度訪れたら再来訪する動機が薄い。 ・ 近隣から運航している軍艦島ツアーとの関係性が弱い
<p>野母崎文化センター (9:00~17:00)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約 400 ㎡の多目的ホール(ステージ 12m×7m)、72 ㎡の会議室、60 ㎡の視聴覚室で構成。 ・ 令和元年度の利用者数は 7,624 人。1 日平均 20 名程度が利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の老朽化が進行している。 ・ 貸館としての利用のほか、生涯学習講座が開催されているが、内容が固定化しており新規利用者の開拓が進んでいない。
<p>野母崎体育館 (9:00~22:00)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の生涯スポーツの拠点として活用。利用時間は午前 9 時～午後 10 時 ・ 競技場、トレーニング施設などで構成されている。 ・ 令和元年度の利用者数は 20,398 人。1 日平均 50 名程度が利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の老朽化が進行している。 ・ 基本的に貸館として利用されており健康増進プログラムなどの自主的な事業は行われていない。
<p>庭球場 (8:00~21:00)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現野母崎総合運動公園のテニスコート(2 面)として活用。 ・ 午前8時から午後 9 時までの時間帯に利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸コートとしての利用が中心で、スポーツ大会や体験プログラムと連動した利用などは行われていない。

	現状・強み	弱み・課題
水仙の丘 	<ul style="list-style-type: none"> 野母崎地域の観光スポットの一つ。環境省「かおり風景 100 選」に選ばれた県内唯一の場所で 1 千万本以上のお水仙があり、毎年 1 月～2 月にかけてのお水仙まつりには多くの人出でにぎわう。 	<ul style="list-style-type: none"> 水仙まつりでは多くの人出で賑わうもののそれ以外の活用は限定的である。 周辺エリア一体には貴重な植物や野鳥の観察スポットなどもあるが、一般的には知られておらず回遊性も低い。

(参考)

オーシャンリゾート Nomon 長崎 (旧アレガ軍艦島) 	<ul style="list-style-type: none"> 旧アレガ軍艦島を全面リニューアル。宿泊施設「オーシャンリゾート Nomon 長崎」と温浴施設「天然炭酸温泉のもん湯」として令和 3 年 5 月にオープン予定。 宿泊施設はスイートルーム 2 部屋を含む計 17 部屋。全部屋で端島(軍艦島)を望むことができるほか、野母崎地区産の魚や野菜を使った食事を味わえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 恐竜パークと一体となったプロモーションや商品開発による相乗効果が期待できる。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------



(3)事業計画

①達成目標の設定

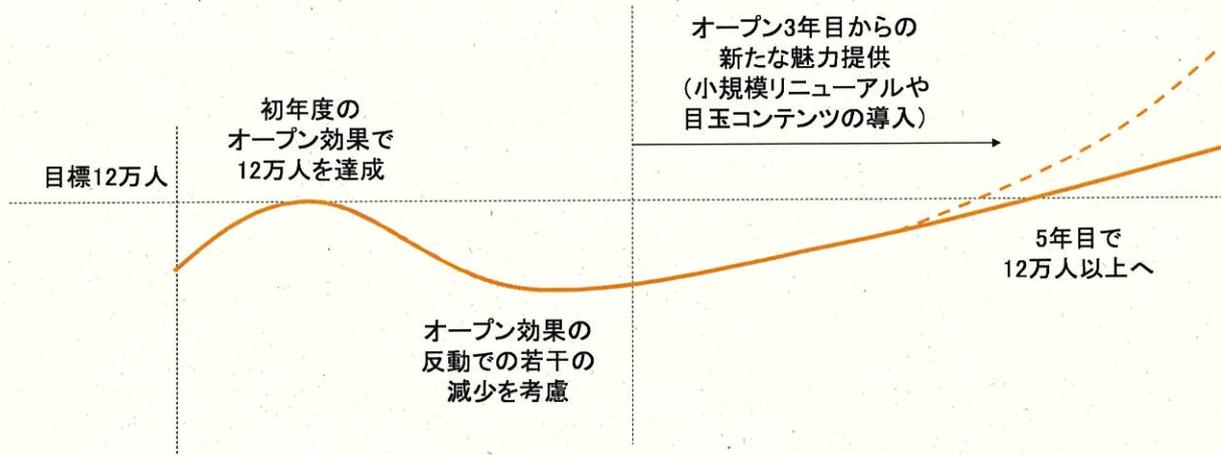
明確な数値目標を掲げ PDCA の経営管理を行います。

私たちは恐竜パークの利用者満足度を高めるとともに、野母崎地域の活性化を最大限に実現するため、次のような具体的な達成目標を掲げ、それを実現するための取組みを計画的に行うことを提案します。

		最終年達成目標		(備考)	
KGI (最終目標)	利用者満足度(全施設)	80	%	来訪者アンケート	
	野母崎地域住民満足度	80	%	住民アンケート	
	恐竜パーク来訪者数(R8)		269	千人	
		恐竜博物館来訪者数	120	千人	
		軍艦島資料館利用者数	22	千人	R1年14,494人
		文化センター利用者数	11	千人	R1年7,624人
		恐竜広場(体育館利用者数)	31	千人	R1年20,398人
		恐竜広場(体育館以外利用者数)	85	千人	R1年56,482人
	地元雇用数	22	名	臨時除く	
地元消費拡大による経済波及効果	3.6	億円	以下参照		
KPI (重要業績 評価指標)	恐竜博物館	有料来館者数	8.4	万人	70%想定
		(企画展)	2.5	万人	30%想定
		(常設展)	5.9	万人	70%想定
		修学旅行者数	0.1	万人	
		企画展開催数	6	回	有料2回、無料4回
		ワークショップ企画数	12	本	毎月更新
		教育養成プログラム参加者数	200	人	
		講演会開催数	12	回	月1回
		学校出前事業実施数	2	校	
		HP閲覧数	10	万PV	
		ユーチューブ動画配信数	5	本	
		ミュージアムショップ売上	1620	万円	
	軍艦島史料館	恐竜博物館共通チケット企画数	1	商品	
		クルーズ連携商品数	1	商品	
		ホテルバック商品数	3	商品	
	野母崎文化センター	恐竜博物館連携講座開催数	12	回	月1回
		オンライン配信数	12	回	月1回
		(仮)野母崎文化祭開催数	1	回	R5年度
		事業者向けセミナー開催数	2	回	
	野母崎体育館	プロ講師講座開催数	4	回	3か月に1回
		ホテル連携プログラム	1	商品	
		スポーツ合宿誘致数	2	団体	
	庭球場	ホテル連携プログラム	1	商品	
	水仙の丘	散策ルート提案数	3	コース	
		野鳥観察会開催数	1	回	
		花まつり企画数	3	回	
	インフォメーションセンター	相談件数	600	件	月50件
地域全体	周遊システム参加店舗数	50	事業者		
	事業者ネットワーク参加事業者	50	事業者		

※恐竜博物館利用者の9割(約11万人)、軍艦島資料館利用者(約1.5万人)、イベント等の域外来訪者を約3万人の合計15.5万人の平均消費単価を1500円程度とした場合の直接効果2.33億円の経済波及効果を約3.6億円とした。

恐竜博物館集客目標達成に向けたロードマップイメージ



R3 (半期)	R4	R5	R6	R7	R8
5.7	12.0	10.0	11.0	11.5	12.0以上

ロードマップの考え方

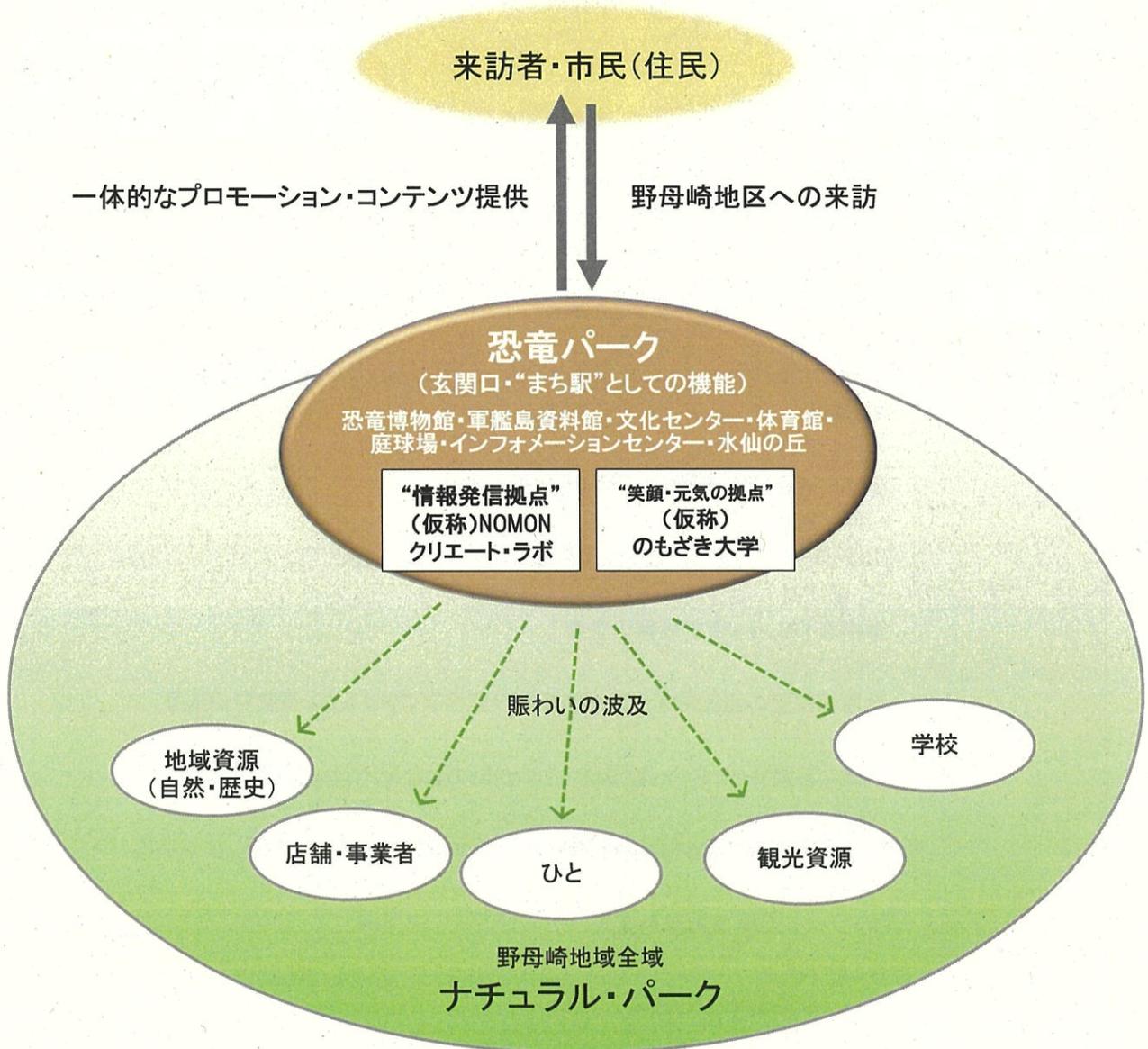
私たちは、募集要項に定められた恐竜博物館の年間来訪者数約12万人の達成に向け様々な経営努力を行うことをお約束します。但し施設特性を加味するとオープニング効果の反動などやむを得ない状況も加味されるとともに、一般的な展示施設では経年で来訪者が減少することも認識しておかなければ目標が絵に描いた餅となる可能性も危惧されます。

そこで、私たちは恐竜博物館オープン翌年（実質的な1年目にあたる）の令和4年度にまずは第1段階の目標である12万人達成を大きな目標に掲げます。その後令和5年度は若干のオープニング効果の反動を加味しおよそ10万人を達成目標に掲げます。実質的なオープン3年目の令和6年度は長崎市のご協力を得ながら進化した恐竜博物館をテーマとした小規模リニューアルや新たな集客コンテンツを導入することで徐々に来訪者を増加させ、最終年である令和7年度には12万人以上を達成するロードマップを描き、それを達成するための経営努力を行います。

②恐竜パークの運営と地域活性化に関する基本的な考え方

野母崎地区全体が主役である「ナチュラル・パーク」。
その玄関口・まちの駅としての恐竜パークを創設します。

私たちは基本方針でも述べたとおり、野母崎地区全体を「ナチュラル・パーク」であるという概念でのブランディングを行います。恐竜パークはエリア全体における玄関口、まちの駅のような機能を持つことが重要です。

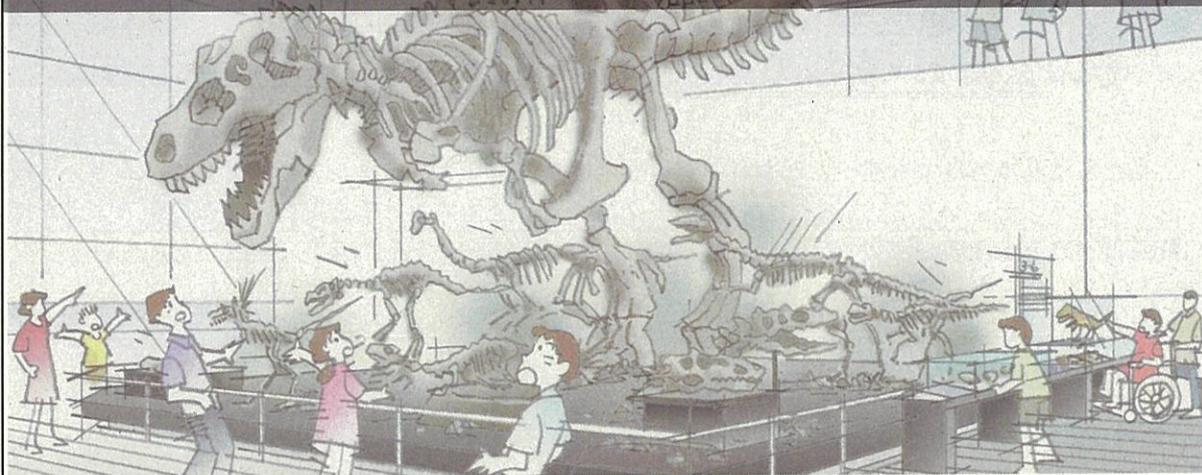


施設別計画

ここでは各施設の開館時間、休館日、運営方法などを明らかにします。ただし、ゴールデンウィークや夏休みなどの繁忙期などは時間延長や夜間営業など需要に応じ柔軟な対応を行います。

①恐竜博物館

恐竜パークの中核施設として恐竜くんやホテルと連携した独自のブランディングと利用者満足度向上への取り組みを実践



開館時間	午前9時～午後5時(8時間)
休館日	・毎週月曜日(ただし、有料の企画展開催期間中を除く) ・年末年始(12/31～1/1)
運営方針	<p>「恐竜くん」をPR大使としたプロモーション →詳細 P33</p> <p>地元クリエイターとともに「(仮称)NOMON クリエイト・ラボ」を創設し効果的なプロモーション展開 →詳細 P34</p> <p>多様なメディアと連携したプロモーション →詳細 P40</p> <p>SNS・ユーチューブなどでの情報発信 →詳細 P41</p> <p>多様なイベント・自主事業の企画 →詳細 P42</p> <p>恐竜博物館の企画展示・ワークショップ・教育プログラム・講演会等の提案 →詳細 P45</p> <p>多様な移動サービス ～移動そのものが魅力となるアクセス環境の整備～ →詳細 P53</p> <p>代表企業所有ホテル「Ocean Resort Nomon」とのタイアップ企画 →詳細 P55</p> <p>ファンクラブ・会員制度の導入 →詳細 P57</p> <p>ミュージアムショップの運営 →詳細 P62</p>

詳細は後述

②恐竜パーク体育館



アスリートと連携したスポーツ・健康増進プログラムを提供

開館時間	午前9時～午後10時(13時間)
休館日	・年末年始(12/29～1/3)を除き年中無休
運営方針	<p>●プロ講師による健康増進プログラム ・スポーツコーチングプログラムの開催 専門技術と知識を持つ本格的なアスリートを専属トレーナーとして配置(非常勤)し、月1回程度の市民向け健康増進プログラム・スポーツコーチングプログラムを実施します。</p>  <p>●時間貸しシステムなど利用しやすい貸し出し方策 体育施設の貸し出しは「午前」、「午後」、「夜間」などに区分されることが多いのですが、ちょっとした利用などの需要が高まっています。そこで、1時間単位での貸し出しや、利用しやすい料金体系の提案を行います。</p> <p>●ホテルと連携したスポーツ合宿の誘致 所有ホテルと長崎県スポーツコミッションと連携し大学や企業などのスポーツ合宿の誘致を図ります。</p> <p>●ホテルと連携したアクティビティ商品としての活用促進 所有ホテルと連携し、宿泊客のアクティビティ会場(軽スポーツ、健康プログラム)としての活用促進を図ります。</p> <p>●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。</p>

③恐竜パーク庭球場



ホテルと連携したアクティビティプログラムの提案

開館時間	午前8時～午後9時(13時間)
休館日	・年末年始(12/29～1/3)を除き年中無休
運営方針	<p>●ホテルと連携したアクティビティ商品としての活用促進 所有ホテルと連携し、宿泊客のアクティビティ会場(軽スポーツ、健康プログラム)としての利用促進を図ります。</p> <p>●時間貸しシステムなど利用しやすい貸し出し方策 体育施設の貸し出しは「午前」、「午後」、「夜間」などに区分されることが多いのですが、ちょっとした利用などの需要が高まっています。そこで、1時間単位での貸し出しや、利用しやすい料金体系の提案を行います。</p> <p>●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。</p>



④ インフォメーションセンター



開館時間	午前9時～午後5時 8時間
休館日	・年末年始(12/29～1/3)を除き年中無休
運営方針	<p>●ガイダンス機能の強化・ワンストップコールセンターとしての機能配置 恐竜パークはもとより、野母崎地域全体の情報発信・案内拠点としてのガイダンス機能を強化します。具体的には配置するスタッフのガイド研修を定期的に行います。また、恐竜パークや野母崎地域の観光案内に関するコールセンターとしての機能を配置します。</p>  <p>●観光庁外国人案内所カテゴリ1の取得を目指した多言語対応 野母崎産業活性化協議会が経営予定の物産施設の販売促進を総合的に支援します。具体的にはホームページによる情報発信のほか、ホテル宿泊客への案内、商品構成に対する助言、陳列・レイアウトに関する助言などを積極的に行います。</p> <p>●物産施設の販売促進の支援 野母崎産業活性化協議会が経営予定の物産施設の販売促進を総合的に支援します。具体的にはホームページによる情報発信のほか、ホテル宿泊客への案内、商品構成に対する助言、陳列・レイアウトに関する助言などを積極的に行います。</p> <p>●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。</p>

⑤水仙の丘

多様な散策コース・野鳥観察や花まつりなどの新たな提案



休館日	・年中無休
運営方針	<ul style="list-style-type: none">●花や野鳥、眺望が楽しめる散策ルートの提案 季節ごとに楽しめる花や貴重な野鳥が観察できるスポット、眺望やインスタスポットなど水仙の丘を満喫できる散策ルートや楽しみ方の提案を行います。●バードウォッチングプログラムなど新たな楽しみ方の提案 本地域は貴重な野鳥が観察できるスポットがあります。日本野鳥の会等の関係機関と連携しバードウォッチングなどの新たな体験プログラムを企画・実践します。●定点カメラによるライブ配信 恐竜博物館の屋上に定点カメラを配置し、水仙公園の花の開花状況などをリアルタイムで発信します。●季節に応じた花まつりの開催 水仙公園には水仙以外にもアジサイや椿、桜、梅などの多様な植物が楽しめます。季節ごとに楽しめる花を活かしたイベントを開催します。●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。



⑥野母崎文化センター

恐竜博物館のセミナー会場として活用。
リアル・オンラインのハイブリット方式で生涯学習を支援。
目玉として「野母崎文化際」を開催。

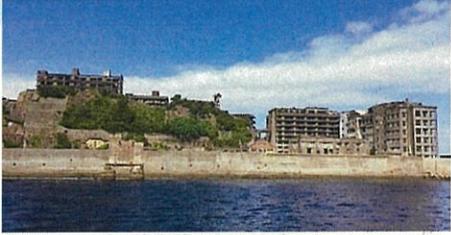


開館時間	午前9時～午後5時(8時間)	
休館日	・年末年始(12/29～1/3)を除き年中無休	
運営方針	<p>●恐竜博物館と連携した各種講座開催 恐竜博物館の座学で行う講座・セミナー会場、教育学習活動の場として位置づけ多様な催しを開催します。</p> <p>●リアル・オンラインのハイブリット開催による生涯学習講座の開催 コロナ禍でも安心して講座・セミナーに参加してもらえるよう、可能な限りオンライン配信を行い利用促進を図ります。</p> <p>●「野母崎文化際」の復活 野母崎地域住民の心をひとつにする取組みとして、令和4年度を目標に「(仮称)野母崎文化際」の開催を行います。</p> <p>●自主組織育成支援 生涯学習等に取り組む市民・団体が自主的且つ主体的に活動を行ったり、組織の充実を図るなど、個人・団体等のニーズに応じたきめ細かな支援を行います。</p> <p>●構成団体による事業者向け経営改善セミナーの開催 生涯学習に加え各種の事業の経営拡大などに寄与する民間事業者向けの講座・セミナー等を開催します。</p> <p>●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。</p>	

⑦軍艦島資料館



ホテルと連携した軍艦島クルーズツアーのガイダンス拠点として活用

開館時間	午前9時～午後5時(8時間)
休館日	・年末年始(12/29～1/3)を除き年中無休
運営方針	<p>●ガイド機能の強化 軍艦島資料館の魅力を伝えるためのガイド機能の強化を図ります。担当スタッフに対するガイド講習を定期的 to 実施しスキル獲得を図り、希望者に対するガイドサービスの提供を行います。</p>  <p>●軍艦島クルーズツアーのガイダンス施設としての活用 当社所有ホテルの旅行商品である軍艦島ツアーのガイダンス施設としてツアーに組み込みます。</p>  <p>●恐竜博物館との共通チケットの販売 恐竜博物館との共通チケットを開発し、博物館・ホテルなどで販売を行います。</p> <p>●ホテルと連携した宿泊商品への組み込み販売(宿泊客の誘導) 当社所有ホテルの宿泊商品に組み込み宿泊者への利用促進を図ります。年間利用者は宿泊者の10%程度の1千人程度を見込みます。</p> <p>●専用ホームページの立ち上げによる情報発信の強化 恐竜パークホームページに専用コーナーを立ち上げ、施設の魅力を詳細に発信するとともに、イベント情報などをリアルタイムに発信します。</p>

3 企画立案

(1) 恐竜パーク全体としての企画・イベント・情報発信に対する提案

①ブランディングの基本的な考え方

オンリーワンの“ブランディング”を起点に多様な商品造成と情報発信を展開

恐竜パークをどこにでもある博物館や公園と同じものではなく、特別な価値を提供する空間として認知してもらうためには、第一に恐竜パーク自体のブランディングが極めて重要です。私たちは、ブランドテーマとして次の3点を掲げ、具体的なコンテンツ（企画展やイベント、サービス）への展開や情報発信を継続的に行って参ります。



②アイキャッチとなるPR 大使の任命

恐竜ファンにカリスマ的人気を誇る「恐竜くん」をPR 大使に任命

恐竜ファンにはカリスマ的人気を誇る「恐竜くん（株式会社インターキッズ・恐竜くん）」ですが、今回、私たちのプロジェクトに共感頂き本恐竜パークのPR 大使として活動頂くことになりました。

恐竜くんの知名度は全国区で恐竜パーク全体のブランディングはもとより様々な企画展でのトータルアドバイザーとして連携することで質の高い企画と集客を促進します。

■恐竜くんプロフィール

幼いころに恐竜に魅せられ 16 歳で単身カナダへ留学。恐竜研究が盛んなアルバータ大学で古生物学を中心に広くサイエンスを学ぶ。卒業後、恐竜展の企画・監修、トークショーや体験教室の開催、イラスト作成、ロボットや模型の学術アドバイス、執筆、翻訳などを幅広く手掛ける。

最新の研究成果を取り入れることはもちろん、体験教育や普及活動の重要性を学びながら日々研鑽を続けている。単に恐竜についての知識の普及を目指すのではなく、恐竜を通じて生物や自然、化学や環境問題など世界の様々な物事に目を向けてもらうきっかけを作ることを活動のテーマとしている。



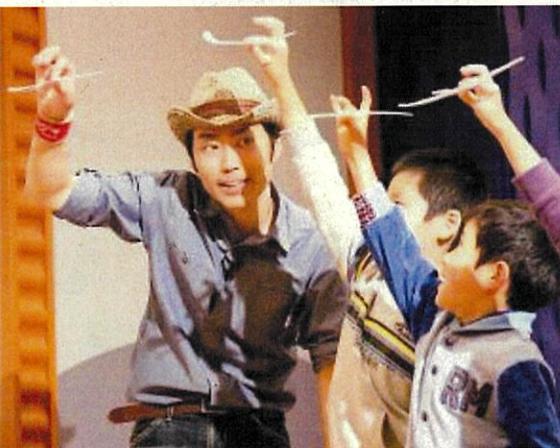
BS フジ「ボンキッキーズ」恐竜図鑑



BS フジ「ボンキッキーズ」恐竜図鑑



パシフィコ横浜での恐竜展のパネル



③ブランディング・プロモーションの推進方策

地元クリエイターとともに「(仮称)NOMON クリエイト・ラボ」を創設し 効果的なプロモーション展開

基本方針で述べたとおり、私たちは野母崎の活性化に共感するクリエイターの皆さんの力を結集し、「(仮称) NOMON クリエイト・ラボ」を立ち上げ、次に示す3つの方針に基づき継続的で効果的なブランディングとプロモーションを行います。なお、推進にあたっては、長崎半島活性化協議会との連携を十分に図ってまいります。



④ホームページ・ポスター等の制作方針

「恐竜パーク全体」と「個別施設」のサイトをそれぞれ制作

恐竜博物館の情報発信はリアルタイムの情報をホームページと SNS（インスタグラム、フェイスブック、ツイッター等）で発信するほか、企画展などの大型イベントはテレビやラジオ、新聞、雑誌などの各種メディアと連携した情報発信を行います。

情報発信に関する基本的な考え方

基本情報・リアルタイム情報



パーク・博物館の2つの占有 HP と SNS の活用

企画展・大型イベント情報



テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などのメディア連携（交通広告含む）や小学生用のチラシ等の作成

ホームページ構築の考え方

恐竜パーク全体の情報発信

※野母崎地域全体の情報発信の窓口としても活用を図ります。



恐竜パーク
オフィシャル
ホームページ

イベント情報／各施設の紹介／アクセス方法／周辺スポット案内など

- 恐竜博物館
- 軍艦島資料
- こども広場
- 文化センター
- 体育館
- 水仙の丘

長崎恐竜博物館専用ホームページ 恐竜博物館に特化した情報発信サイト



当社所有のホテルの HP・SNS との相互リンク

長崎市科学館・福岡市科学館などの関連施設サイトとの相互リンク

ホームページデザインイメージ（※現段階でのイメージであり今後変更する可能性があります。）

恐竜パークホームページ(エリア全体の情報発信)



グローバルメニューはイベント情報や施設紹介、周辺スポット情報などで構成します。

直感的に恐竜パークに行ってみたくなるような写真などで訴求します。

お知らせ・イベント



イベント
恐竜博物館にて「●●企画展」
現在、隣接する恐竜博物館にて「●●企画展」が開催されています。ぜひ...



イベント
多目的広場で●●イベント開催!
00月00日00時より、パーク内の多目的広場にて●●のイベントが開催され...



お知らせ
のぞき恐竜パークオープン!
本日10月29日、長崎のもざき恐竜パークと、恐竜博物館「数時」オープンしました...

イベント情報は恐竜博物館だけでなく、文化センターや体育館などでの講座や大会なども発信します。

各イベントの詳細
ページへリンク

恐竜パーク構成施設



令和3年10月29日
のぞき恐竜パーク OPEN!

※※※ここで使用している文章は仮テキストです※※※
「長崎のもざき恐竜パーク」は、地域の活性化と観光の振興を目的に、
恐竜博物館の隣に合わせ、田の子地区に恐竜広場やインフォメーションセンターを新たに整備し、文化センター、軍艦島資料館、体育館、施設を一気にとり、学習、文化、スポーツ、地域交流の場を一体的に提供する施設となります。

施設の詳細ページへリンク
施設ご紹介

施設概要はとにかくわかりやすくをモットーに鳥観図のイラストなどを用い一体感があるエリアということを訴求しながら誘導します。

長崎恐竜博物館ホームページ

恐竜博物館にふさわしいインパクトを重視したデザインで、施設の見どころや展示内容、イベント情報、アクセス、利用案内などを詳細に掲載します。

▲ セキュリティ保護なし | demo.5tag.jp/nd-museum.jp/

トピックス・お知らせ 交通アクセス

日本語 English 繁体中文 簡体中文 한국어

長崎恐竜博物館 (仮称)
NAGASAKI DINOSAUR MUSEUM

ご利用案内 常設展示 企画展・特別展 学習・参加・体験する 長崎恐竜博物館を知る



時間 09:00-00:00 最終入館は00:00まで

学校・団体利用のお客様へ

バリアフリー情報

お知らせ

2021年10月00日 お知らせ 長崎恐竜博物館 (仮称) 開館のお知らせ

2021年10月00日 お知らせ 長崎恐竜博物館 (仮称) 開館のお知らせ

企画展・特別展



体感! 恐竜ワールド ※サンプル

開催期間 2021年00月00日~00月00日

場所 1F企画展示室

まもなく開催終了 企画展



体感! 恐竜ワールド ※サンプル

開催期間 2021年00月00日~00月00日

場所 1F企画展示室

開催中 企画展



体感! 恐竜ワールド ※サンプル

開催期間 2021年00月00日~00月00日

場所 1F企画展示室

開催予定 特別展



ポスター・チラシ・交通広告イメージ

企画展の開催等に応じポスターやチラシ等を作成。小学校配布用なども併せて作成。

世界最大級! 全長33m "スーパーサウルス" スーパー
その大きさ、超級。
 生命と環境は、進化のふしぎ
世界の巨大恐竜博2006
 The Gigantic Dinosaur Expo 2006
 7.15(土)～9.10(日) 幕張メッセ <http://www.kyoryu.jp>
 主催: NHK NHK70周年記念プロジェクト
 協賛: NEC 東武鉄道 TOYOTA
 この夏注目! 超級な恐竜たち
 進化のヒミツを探れ!
 恐竜のしっぽ 別館

若きティラノサウルス類
 シェーン 中国地方初上陸!!
大恐竜展
 ～進化と生態のなぞ～ 鳥取県立博物館 企画展
2015.7.18(土)～8.30(日) | 会期中無休 |
 【開催時間】 午前9時～午後5時 (土・日・祝日は午後7時まで)
 【会場】 鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室
 【入場料】 一般700円 (団体(20名様以上)・前売500円)
 大学生以下の方/70歳以上の方 入場無料!
 鳥取県立博物館 鳥取市鳥取 093-777-8600

特別展 せいめい たいやくしん 脊椎動物のたどった道
生命大躍進
 Leaps in Evolution - Tracing the Path of Vertebrate Evolution
 40億年の進化を語る
 スーパー
太古の生物が やってくる!!
 2015. 7.7(火)～10.4(日) 国立科学博物館 東京・上野公園
 開館 9時～5時 休館日 7月7日(火) 7月12日(日) 7月19日(日) 7月26日(日)
 問い合わせ: 03-5777-8600 (09時～17時)
 国立科学博物館

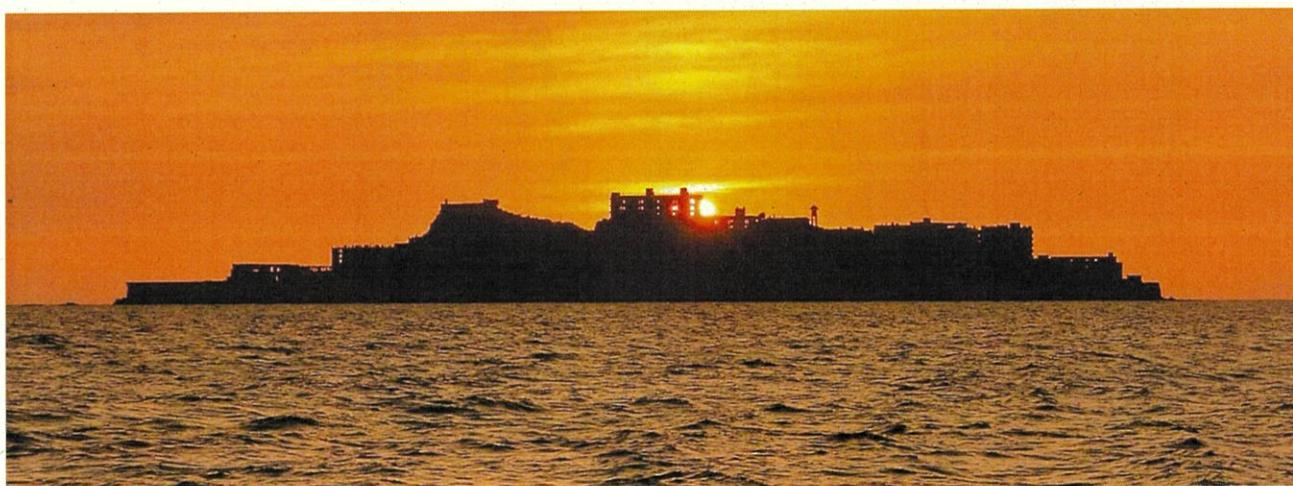
半世紀の間
 長い前足だけが
 見つかっていなかった
 謎の恐竜
ディノケイルス
 全身
 復元骨格を
世界初公開!
 まだ誰も見たことがない恐竜たちがやってくる!!
恐竜博2019
 THE DINOSAUR EXPO
 2019. 7.13(土)・10.14(月・祝) <https://dino2019.jp>
 国立科学博物館 東京・上野公園 問い合わせ: 03-5777-8600 (09時～17時)
 主催: 国立科学博物館、NHK、NHK70周年記念プロジェクト

⑤ライブカメラによる軍艦島・水仙公園のライブ配信

夕日に映える軍艦島や水仙をライブ配信

●恐竜博物館屋上に軍艦島定点カメラを設置し、高速回線を活用した軍艦島の映像配信

世界遺産に登録された「軍艦島」。恐竜博物館屋上からは軍艦島が正面に見られます。夕日に染まる軍艦島の美しさ、潮の流れ、空気感を定点カメラで撮影し、インターネットでリアルタイム配信を行います。また、映像データは館内ネットワークにも伝送し、サイネージやディスプレイなどでも放映、来場客の方々に軍艦島の「今」を体感していただけます。映像コンテンツとしても利用することで、当日波の影響等で上陸・乗船ができない場合にも見ていただくことができ、「恐竜パークで軍艦島が見える！」と顧客満足度の向上やリピーター獲得を図ります。また、季節に合わせ、恐竜パーク内の水仙の開花状況の配信や、地元ケーブルテレビと連携し放送チャンネルにも映像伝送することで、利便性及び認知度向上に役立っています。

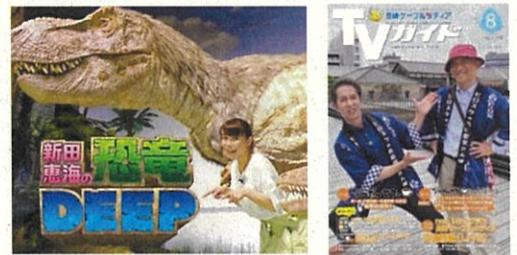


⑥メディア連携型プロモーション

- 地元人気 TV 番組との連携、スポット CM、お天気フィラーなどの TV メディアと連携した情報発信
- 長崎新聞の紙面広告、記事出稿などでの情報発信
- Hajikko (はじっこ) などの地域に密着したフリーペーパーと連携した情報発信
- 地元ケーブルテレビを活用したプロモーション、特化型スポット CM の実施

私たちの強みは協力会社として、長崎新聞をはじめテレビ局、ラジオ局などの各種メディア企業との連携が可能です。

テレビ媒体としては、地元人気番組での定期的なパブリシティをはじめ、スポット CM、お天気フィラーなど多様な情報発信を行います。また、長崎新聞社とは記事出稿をはじめ広告や「ととって」などの情報媒体でイベント情報などを定期的に発信します。また、Hajikko(はじっこ)など地域に根付いたフリーペーパーと連携した身近な情報発信も行います。



⑦ SNS・ユーチューブなどでの情報発信

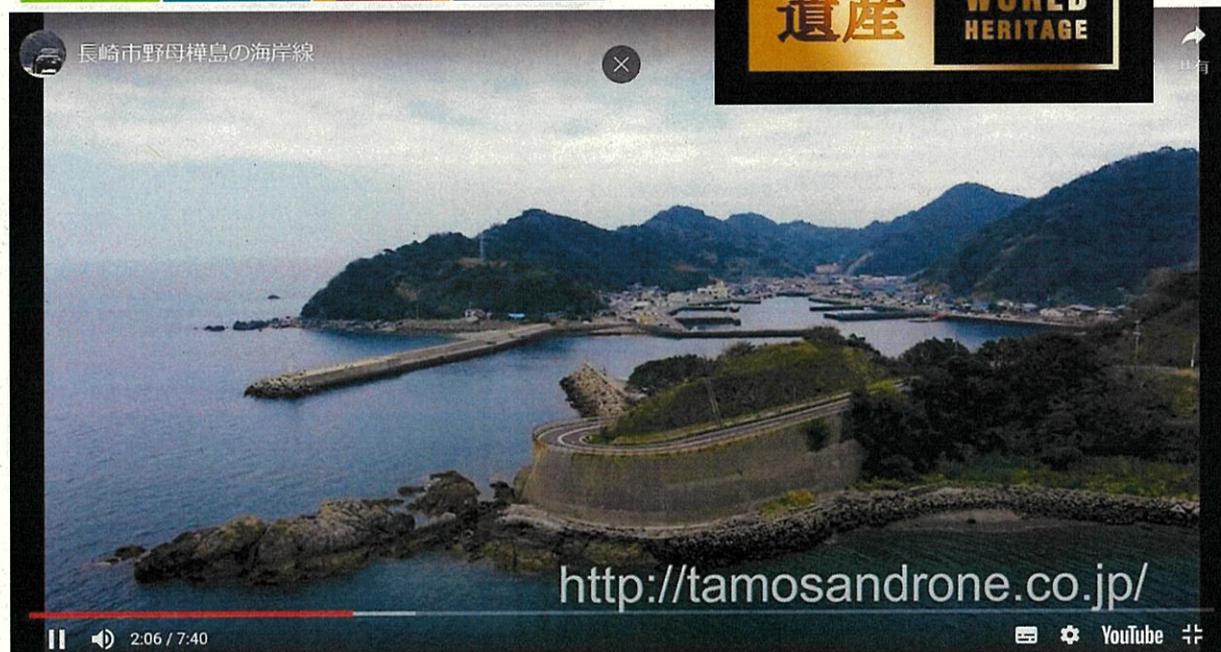
- インスタ・ツイッター・フェイスブックなどの SNS の専用アカウントによる情報発信
- 「(仮称)のもぎきチャンネル」の立ち上げによる動画配信
- 長崎半島活性化協議会が取り組む「TBS 世界遺産」の製作チームによる野母崎のイメージ動画の制作への参画

私たちは若者への情報発信とファンコミュニティの形成に向け、ソーシャルメディアの有効活用を図ります。特に、ユーチューブによる「(仮称)のもぎきチャンネル」の立ち上げや、TBS 世界遺産の番組製作チームと連携した野母崎のイメージ動画の制作などを行います。



You Tube

(仮称)のもぎきチャンネル



⑧イベント企画(自主事業)

- 「恐竜博物館」、「恐竜パーク全体」、「地域全体」の3つの視点で四季折々のイベントを開催
- 長崎市科学館などとの共同イベントなどを開催し回収性・集客力向上を展望

イベントは長崎恐竜博物館と恐竜パーク全体、そして野母崎地域全体をフィールドに見立て、民間事業者と連携した魅力的な企画・開催を年間を通し実施します。

	冬	春	夏	秋
恐竜博物館	イルミネーション (自主開催) 新春企画 (自主開催)	GW企画展 (メディア共同開催) 研究発表企画展 (自主開催)	夏休み企画展 (メディア共同開催) 夏休み宿題支援企画 (自主開催) 夏休み謎解き企画 (自主開催) ※クイズラリー等	秋の企画展 (自主開催)
常設展及びワークショップなど				
長崎市科学館、福岡市科学館、アイランドナガサキとの連携イベント				
恐竜パーク全体	水仙まつり 冬の味覚イベント (のもんマルシェ)	春の味覚イベント (のもんマルシェ)	水遊びイベント	秋収穫祭イベント (のもんマルシェ)
生涯学習・スポーツ・健康増進プログラム((仮称)ものざき大学企画)				
水仙の丘を中心とした散策ルート・四季のフラワーイベント開催				
地域全体 (ホテル含む)	湯治プログラム		海水浴・マリレジャープログラム アイランドナガサキ連携商品	
野母崎フォトコンテスト(年末にグランプリ選定)				
各種体験プログラム(ドライブ、レンタサイクル含む)子どもチャレンジ				

恐竜パークでのイベント開催イメージ

(仮称)のもんマルシェ (年4回程度開催:物産+フリーマーケット)

恐竜パーク多目的広場を活用したグルメやフリーマーケット、音楽などが楽しめるイベント。特に若者やアーティスト等と連携し賑わいを創出します。



TV局とのタイアップ企画「VIVA!マルシェ in 恐竜博物館(仮)」

内容 : 恐竜博物館や恐竜パーク多目的広場などを活用したマルシェを開催。長崎文化横丁の出店も想定しています。開催告知CMを放送して集客と野母崎の盛り上げに繋がります。

子ども向けイベント(水鉄砲・JALと連携した紙飛行機イベントなど)

子ども広場や多目的広場を舞台に恐竜と戦う水鉄砲バトルイベントや、JALと連携した紙飛行機イベントなどを行います。



恐竜パークフラワーフェスティバル・野鳥観察会

1月～2月の水仙を中心に、アジサイやつつじなど、水仙の丘全体を活かした四季折々のフラワーイベントを開催します。また、日本野鳥の会と連携した野鳥の観察ルートの設定や観察会なども開催します。



レンタサイクルシステム(ホテル)・ドライブ／ツーリングコース提案

野母崎エリアをドライブ・サイクリング・ツーリングのメッカとしてブランディングを図りながら、恐竜パークを休憩やガイドンスの拠点として位置づけ、ホテルと連携しながら食や温泉を提供します。なお、レンタサイクルは所有ホテルで実施します。



ドローンイベント

広い敷地や障害物が少ない立地特性を生かし、ドローンを活用したイベントを企画します。

具体的には初心者向けのドローン体験や各種競技などを行います。



野母崎フォトコンテスト

野母崎地域には数多くの魅力的なスポットがありますが必ずしもその知名度が高いとは言い難い状況です。そこで、市民・来訪者視点から見た野母崎の魅力を集め発信するイベントとしてフォトコンテストを開催します。毎年年末にグランプリを定め優秀作品は各種メディアで発信するとともに恐竜パークの情報媒体でその魅力を積極的に発信しながら、野母崎地域の回遊スポットとして売り出します。



(2) 恐竜博物館の企画展示・ワークショップ・教育プログラム・講演会等の提案

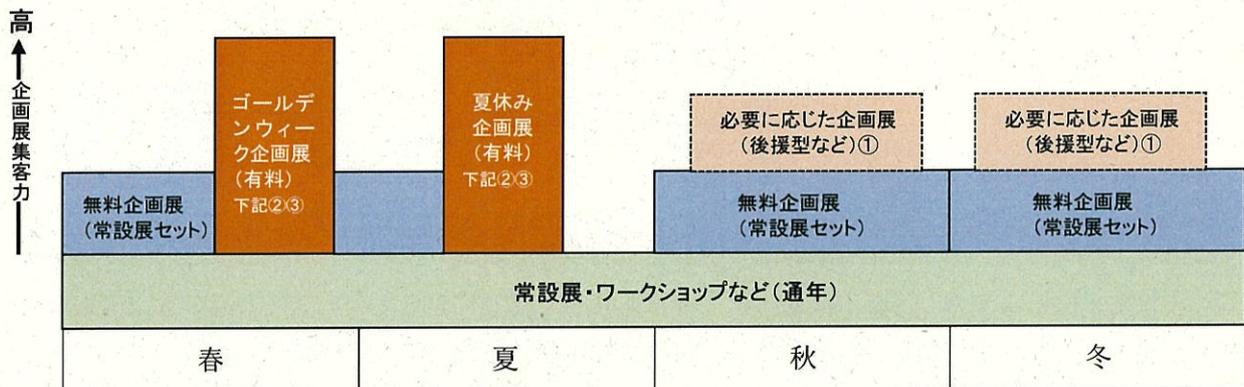
ア) 企画展示

- 常設展のチケットで観覧できる企画展示(無料)と有償の企画展示の2パターンで構築
- 有償企画展示はゴールデンウィークや夏休みなどに開催し来訪者を誘引
- 福井県立恐竜博物館や長崎市科学館などの他施設や学会などと連携した企画展を開催

企画展は主に有料の企画展と常設展の入場チケットで観覧・体験ができる無料企画展の2パターンが存在しています。有料企画展は高い集客力を誇りますが費用対効果を見極めた実施が必要です。

一方で無料企画展は常設展への誘導とともにリピーター確保のためには必要不可欠なコンテンツと言えます。私たちは以下のような考え方で有料企画展を年間2回以上開催するほか、無料企画展は随時開催します。

企画展の開催イメージ



(参考) 企画展の開催特性

博物館の関与度合	企画展の種類	内容
低  高	①後援型企画展	メディアなどの持ち込み企画。企画、集客は全て主催者が行い博物館はスペースを貸与する。リスクも少ないが利益は期待できない。
	②共同開催型(協議会形式)企画展	メディアなどの持ち込み企画を共同主催者として実施する。企画、広報等の開催経費の費用負担が生じるが利益が出来る場合がある。
	③自主開催型企画展	博物館としての自主企画。費用は基本的に全て博物館で負担する。収益も損益も全て博物館のものとなる。ハイリスク・ハイリターン。

企画展イメージ

私たちは構成員である長崎市科学館の指定管理者や、協力企業であるメディア各社などと連携しながら、話題性と集客力のある企画展を実施いたします。

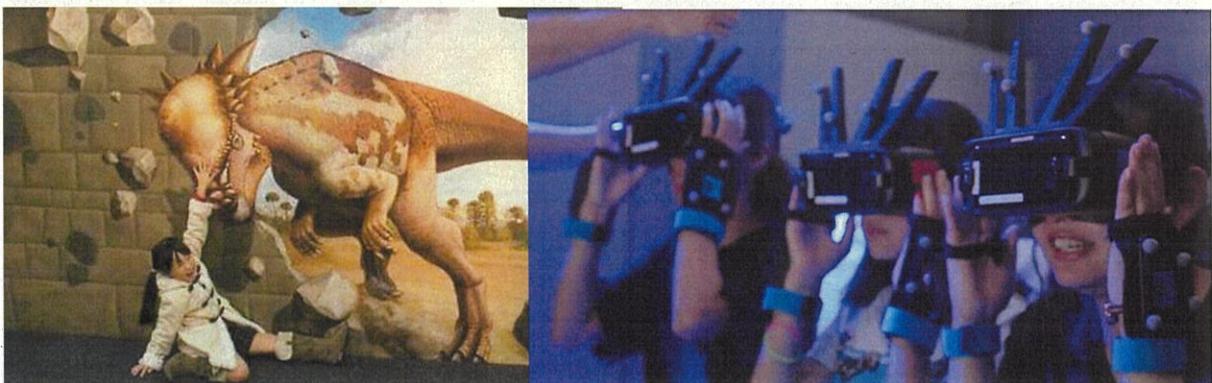
常設展にはない種類・特定テーマの企画展など(福井恐竜博物館展など)



紙・段ボール、ジオラマなどを利用した疑似展示



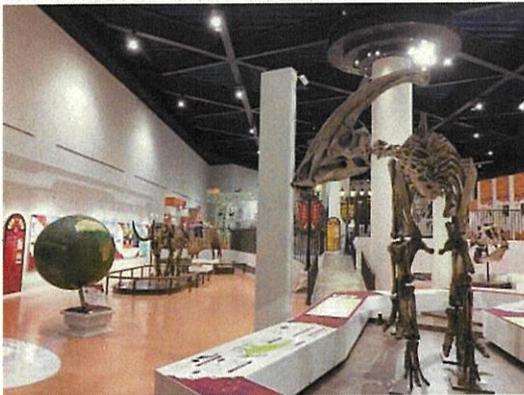
映像等を融合したインタラクティブ展示(トリックアート展、VR展など)



女性・年配者向けコラボ企画



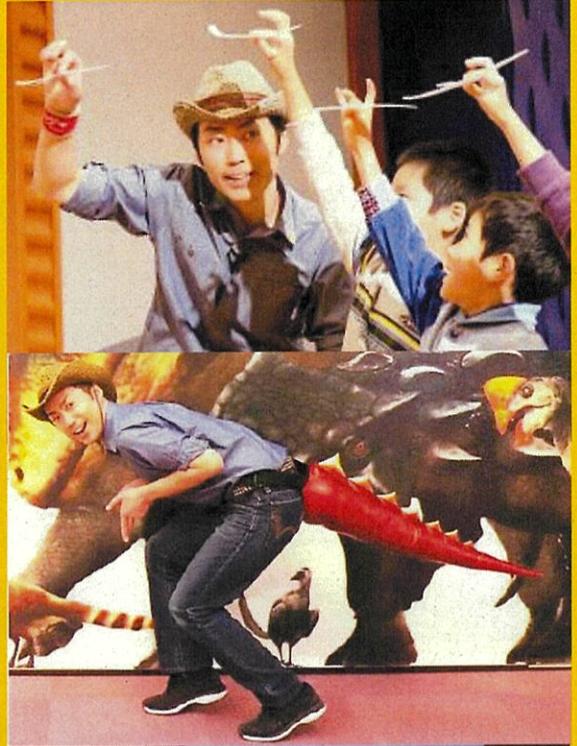
長崎市科学館等とのコラボ企画(自然科学)



発掘・調査研究発表などの学術的企画(学会連携)



『恐竜くん』と連携した
体験・講演会等を開催
(年1回程度予定)



イ) ワークショップ

- 福岡市科学館等の指定管理者である(株)トータルメディア研究所と連携した魅力的で持続可能なワークショッププログラムの開発
- 最低月1回はプログラムを変更。企画展では関連するオリジナルワークショップを実施

ワークショップは来訪者満足度を高める重要な要素の一つです。私たちは長崎市恐竜博物館の展示実施設計及び施工監理を手掛け且つ福岡市科学館などの全国各地の指定管理者として活躍する(株)トータルメディア研究所と連携したワークショッププログラムの開発を行います。

ワークショップは最低でも月替わりのプログラムを提供することを基本とし、企画展示ではそのテーマに併せたオリジナルのワークショップを実施することを提案します。



本施設の展示実施設計事業者であり福岡市科学館等の指定管理業務を行う(株)トータルメディア研究所と連携したオリジナルワークショッププログラムの開発

TOTAL MEDIA DEVELOPMENT INSTITUTE CO., LTD

×長崎市恐竜博物館

ワークショッププログラムイメージ

- 化石クリーニング体験
- 様々な素材で作るオリジナル恐竜フィギア作成(木、紙粘土、牛乳パック、洗濯ばさみなど)
- 恐竜をモチーフとしたアイテム作成(缶バッジ、うちわ、消しゴム、石鹸など)
- 学芸員や専門家によるギャラリートーク(野母崎文化センターでの開催含む)



月別のプログラム提供。別途企画展示に併せた特別ワークショップを実施

ウ)教育養成プログラム ～SDGsを学ぶ～

- 主に一般を対象とした「博物館セミナー」、小学生を対象とした「子どもセミナー」の2つのコースを開催。当チームの学芸員を中心に運営を行います。

教育養成プログラムとして、主に一般を対象とした「博物館セミナー（パブリックコース）」と「子どもセミナー（ジュニアコース）」の2コースの運営を行います。

「博物館セミナー（パブリックコース）」は主に一般を対象とし、恐竜博物館学芸員や外部講師による講義を受講いただくもので、古生物・地学分野における最新の研究情報にふれることを目的としたコースです。

「子どもセミナー（ジュニアコース）」は、小学生を対象として、恐竜博物館学芸員が恐竜をはじめとした古生物などに関する研究を分かりやすく解説します。



 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**



エ)講演会

- 当チーム学芸員による月1回の講演会を開催
- 関係団体や学会等の誘致強化。オープンセミナーの開催を促進

講演会は、市学芸員と連携しながら当チーム学芸員が主催する講演会を毎月開催します。

講演内容は独自の研究成果とともに、市が実施する発掘調査結果など最新の情報を基にしたテーマ設定を行います。

また、公益財団法人日本博物館協会や日本考古学学会、地質学会、長崎県理科教育同好会などの関係団体と連携した講演会を開催します。

(連携を図る関係団体)

日本博物館協会

日本古生物学会

日本地質学会

長崎県理科教育同好会

長崎県生物学会

長崎県地学会

長崎県理科教育研究会



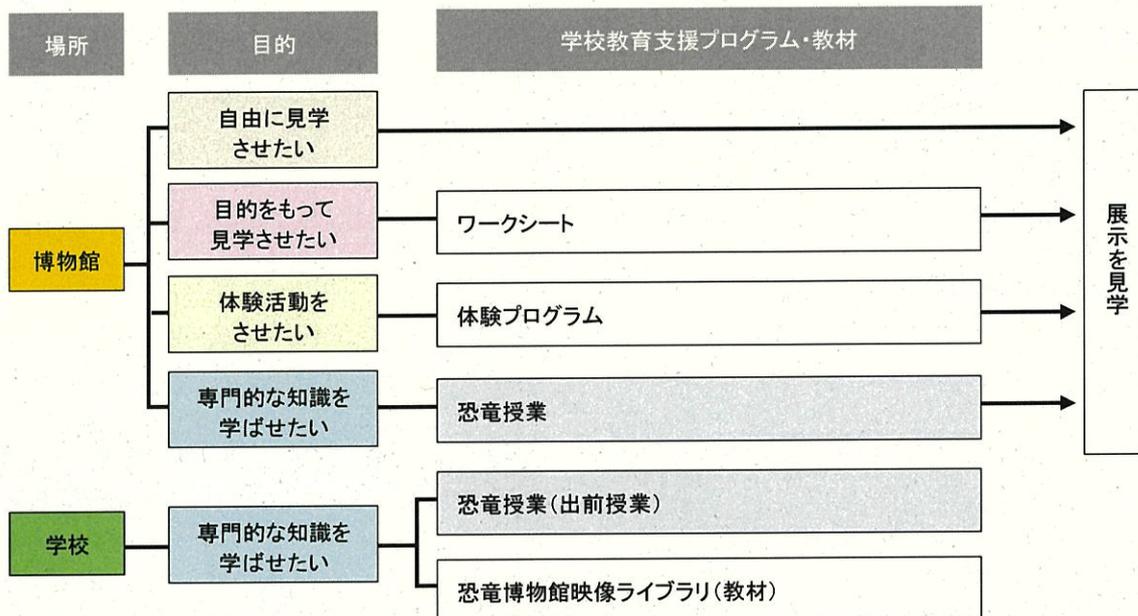
オ) 学習活動の支援

- 恐竜博物館内での学習活動の支援と、学校への出前講座による支援を両輪とした学習活動の支援を行います。

学習活動については、大きく博物館内での学習と学校への出前授業の二つに区分されます。

いずれも当チームの学芸員が中心となって実施しますが、博物館内については目的を大きく4つに区分し、それぞれの目的に応じた学習プログラムを提供します。

学校での学習活動については出前授業を行うほか教材としての映像ライブラリを提供致します。学校での学習活動においては博物館への来訪を促す情報発信を行います。



(ページ調整)

4 サービスの向上

(1) 施設の利用者の増加や利便性を高める取組み

① 多様な移動サービス ～移動そのものが魅力となるアクセス環境の整備～

恐竜パークの集客の課題としてアクセスがあります。大部分の来訪者はマイカーの利用が想定されますが、子どもたちをはじめ交通弱者でも気軽に訪れることができる環境整備は重要な視点といえます。そこで私たちは市内の交通事業者と連携し、移動そのものが魅力となるような移動手段を陸・海両方で確保します。

◎ オープントップバスによる周遊ツアー

長崎遊覧バス(株)が導入予定の屋根がないオープントップバスをオープニングや大型連休中など多くの集客が見込める時期に運行(有料)します。

貸切(一般団体・幼稚園・保育園・学童クラブなど)・教育旅行・主催旅行・イベントなど様々な場面で利用が可能です。

大型バス(スーパーハイデッカー)
(座席数: 正シート41席+補助席0席)
安全上3歳以下のご乗車は出来ません。



長崎遊覧バス株式会社

①貸切利用
目的地・観光ルートなど自由に設定できます。
(注) 高速道路の走行は構造上ご遠慮ください。
(例) 長崎駅 ~ 女神大橋・稲佐山登山道・祖大橋 ~ 長崎駅
(例) 長崎駅 ~ サンセットロード・夕陽が丘そとめ ~ 長崎駅
(例) 長崎駅 ~ 稲佐山公園 ~ 長崎駅

②貸切プラン(夜景観光) 3時間利用
長崎市内始発地 ~ 稲佐山展望台 ~ 長崎市内到着地
(注) 展望台まではロープウェイ・スロープカー利用(有料)

◎ 県内唯一のリフト付きバスを活用したサロンバスツアー・ユニバーサルツアー



車いすでの移動など様々なハンディを持った人でも快適に移動できるよう、県内唯一のリフト付きバスを活用したユニバーサルツアーなどの企画を行います。



◎ローカルバスツアー・交通事業者タイアップ商品

乗車証
年 月 日 ()
路線バスの旅

長崎バス観光株式会社
〒853-8104 長崎市佐賀町1-15-15 長崎観光センター2F
Tel.095-814-8501 Fax.095-849-3550
営業時間 10:00~20:00

最終日程表

日	11月22日(木)	11月23日(金)	11月24日(土)	11月25日(日)	11月26日(月)
出発	08:00	08:00	08:00	08:00	08:00
到着	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00

軍艦島クルーズ(上陸なし)& 取れたて地魚御膳と温泉

長崎市佐賀町1-15-15 長崎観光センター2F
TEL.095-814-8501 FAX.095-849-3550

乗車料 大人5,000円 小人3,800円
予約料 大人1,000円 小人500円

クーポン券

- 軍艦島クルーズ(上陸なし) 乗船券
- 海の健康村 食事券
- 海の健康村 入浴券

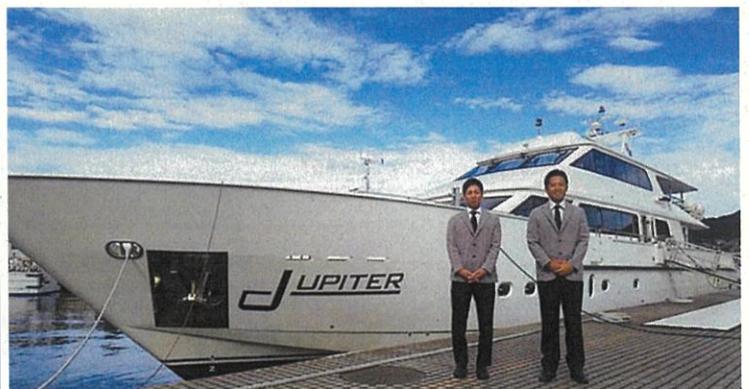
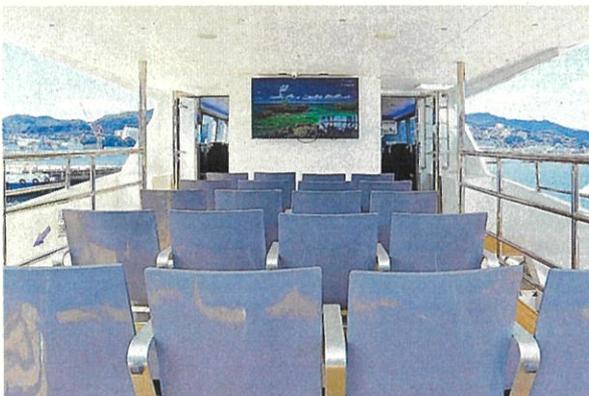
路線バスでは 60 分以上の長旅となりますが、ゆっくりのんびりとその時間を楽しむことも旅の醍醐味といえます。

私たちは交通事業者と連携し、バスを活用した日帰り商品の開発を行います。



◎航路事業者と連携した長崎港一恐竜パークへのクルーズ商品

私たちは恐竜パークへのアクセスとして、陸上交通だけではなく魅力的な海上アクセスの整備を目指します。具体的には長崎港の航路事業者と連携したチャーター便の確保など、多様な商品の造成を検討します。



②代表企業所有ホテル「Ocean Resort Nomon」とのタイアップ企画

恐竜博物館チケット付き宿泊プラン、日帰りプラン(食事・温泉・アクティビティ)を造成し、県内に加え関東圏・福岡などの大都市圏からの集客を行います。

私たちの強みの一つは、恐竜パークに隣接する場所にホテルを所有していることです。通常の博物館であれば県内日帰り客のみの集客となりがちですが、ホテルと連携することで、関東や福岡圏などの大都市圏からの宿泊客の誘致も可能となります。私たちは、恐竜パークと連携した多用な宿泊・日帰りプランの造成を行います。



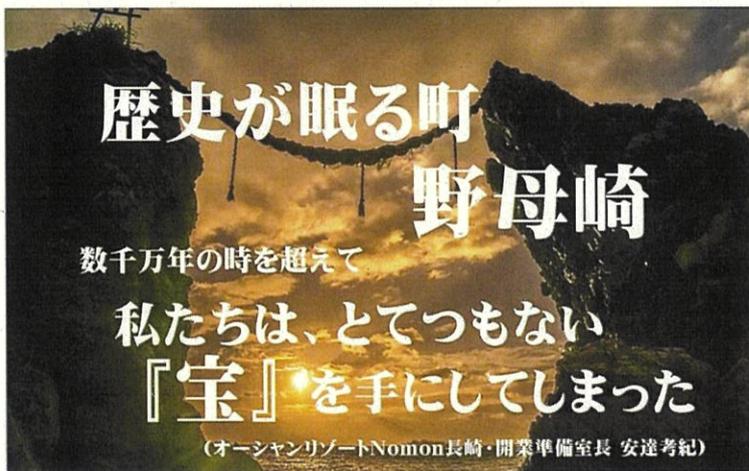
旅行商品の造成・販売

構成団体が旅行業を行っており、県外の団体利用者拡大の営業活動や個人旅行者のための、野母崎地区・長崎地区周遊プランの提案・宿泊・交通手配等利用者サービスの向上を図ってまいります。



恐竜時代の温泉成分が体験できる温浴施設

野母崎の天然炭酸温泉は、長崎大学を中心とした研究の結果、水質数百万年前少なくとも1万年前の雨水が起源であること、恐竜時代の有機物生まれのガスが含まれている可能性など、日本ではまだ発見されていない種類の炭酸泉である可能性があることが明らかになってきました。この温泉を活用したPRを行うことで他にはない話題性の発信が可能です。



のもん湯は恐竜時代の太古の温泉

- 水の起源について 少なくとも、1万年前の雨水が起源
- ガスの起源について 恐竜時代（7500万年前～1億年）程度の地層が由来する事の可能性が高い（何かしらの有機物）

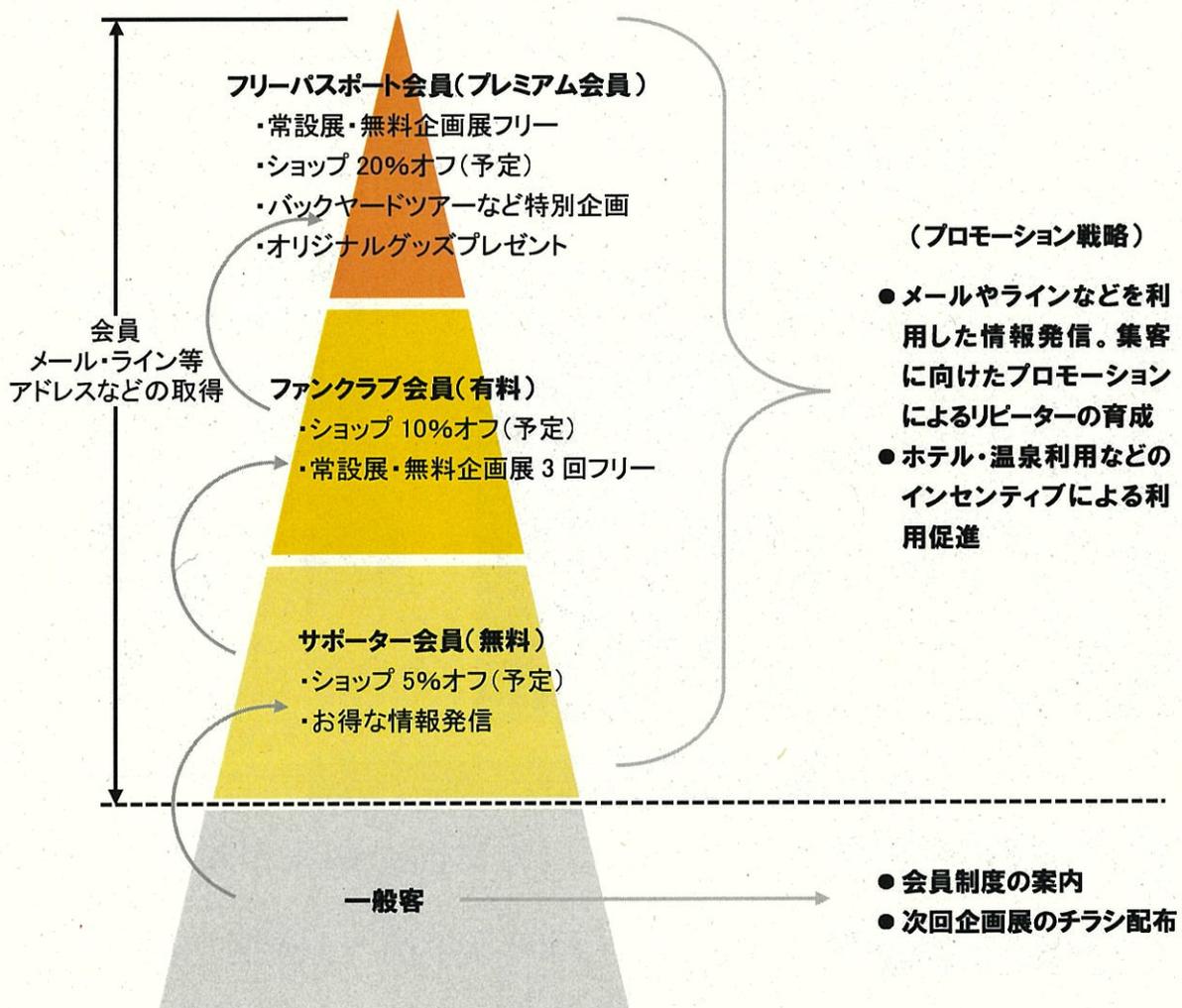
③その他の利用者サービス

- 3種類の会員制度を設け来訪促進を促すマーケティングを展開
- インターネットラジオ・ユーチューブによる情報発信
- ワンストップコールセンター、コンシェルジュサービス、音声ガイドシステム(多言語)、ペビーカー貸出し等のきめ細かなサービス提供

ア)会員制度の導入

施設の利用者を増加させるためには未来訪者に向けた効果的な情報発信を行うとともに、一度来訪した人にリピーターになってもらうことが極めて重要です。そのために私たちは何度でも足を運んでもらうためのインセンティブを設けた3段階での会員制度を導入します。

最もプレミアム度が高いフリーパスポート会員、ファンクラブ会員、サポーター会員のランクを設けそれぞれのメリットを提供するとともにメールやラインアドレスなどを取得し、きめ細かな情報発信を行います。



※会員の特典についてはイメージであり今後長崎市様との協議の上で決定いたします。

イ)館内通信環境の整備

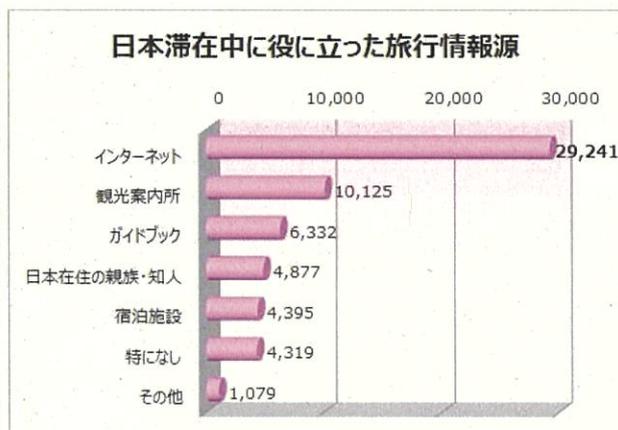
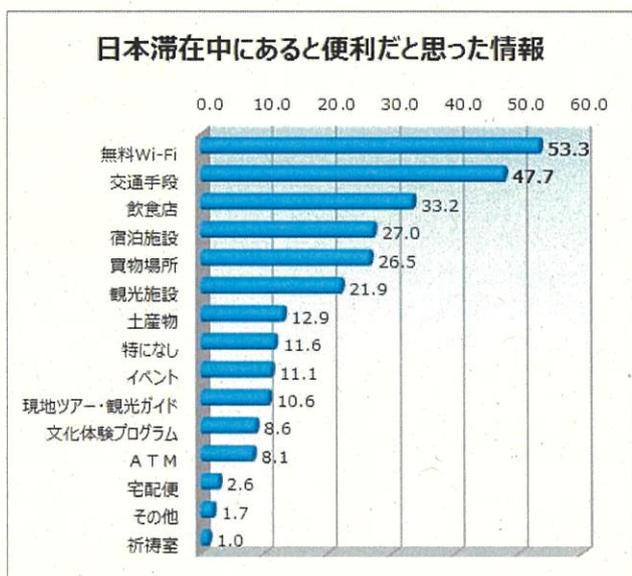
観光客及びインバウンド客の利用者満足度向上を図るため、館内情報発信環境の整備

●高速通信回線及び、館内無線 LAN (Wi-Fi) の整備

昨今のモバイル端末の普及に伴い、高速回線の整備はもちろん、無線 LAN (Wi-Fi) の整備は必要不可欠と考えます。下記出典にもありますように、特に観光客やインバウンド客にとって Wi-Fi 環境の有無は訪問する可否かを判断する際に重要視されております。現在、恐竜パークの所在地である田の子地区において高速光インターネット接続サービスを展開している長崎ケーブルメディアに協力委託し、下記の設置機器仕様に合わせ、高速通信回線 (FTTH) 及び館内無線 LAN (Wi-Fi) の整備を行います。

◆参考資料

訪日外国人観光客 (インバウンド) に「日本滞在中にあると便利だと思った情報は何か」というアンケート調査より



「無料 Wi-Fi」と「インターネット」のニーズがどちらも一番高く、高速通信環境の整備は必要不可欠です。

(出典:観光庁「統計情報」)

◆設置機器仕様

●高速通信回線

- ・光インターネット接続回線 (FTTH)
- ・通信速度1Gbps 程度 (ベストエフォート型) ※2021年度中に10Gbps 接続サービス導入予定。

●館内無線LAN (Wi-Fi) 仕様

- ・IEEE802.11 に準拠した無線LAN接続環境。
- ・パソコンやスマートフォン等、Wi-Fi 機能にて接続可能。
- ・インターネット接続の際には恐竜博物館指定のページでログインする機能を実装 (キャプティブ)
- ・不正アクセス等を防止する機能の実装。(フィルタリング)

●無線 LAN (Wi-Fi) 環境整備事例 (参考資料)



(設置機器イメージ)

Wi-Fi OK
Free SPOT

◆屋外公園での Wi-Fi 設置事例 (品川区)
災害時にもフリーWi-Fi エリアとして利用可能
観光客やインバウンド向けはもちろん、
地域住民の生活向上にも寄与しています。

- ・全天候型
- ・多数接続可能

◆長崎ケーブルメディア 無線 LAN (Wi-Fi) 施工事例

『Nagasaki City Wi-Fi』

長崎市内の観光施設12箇所に加え、長崎電気軌道電停39箇所及び軌道沿線で提供しています。



『ncm Wi-Fi スポット えぬスポ!』

浜町アーケード、ベルナード観光通り、みらい長崎ココウォーク、十八親和銀行窓口 (35店舗)、長崎電気軌道電停 39 か所及び電車内、JR長崎駅観光案内所、長崎みなとメディカルセンターで提供しています。



Wi-Fiスポットサービス

長崎ケーブルメディアが提供する
Wi-Fiスポットサービス。
ケーブルインターネットご契約中のお客様は
無料でご利用できます。



エ)インターネットラジオやユーチューブ配信など ソーシャルメディアを活用した情報発信

恐竜パークのオリジナル情報をリアルタイム発信並びにアーカイブとしてストックしていくことを目的にインターネットラジオやユーチューブでの動画配信による情報発信を行うことを検討します。



オ)ワンストップインフォメーションセンターの配置

恐竜パーク全施設に対するお問い合わせなどにワンストップで対応できるインフォメーションセンターを配置します。インフォメーションは午前9時から体育館が閉まる午後10時までとし各種の相談、問い合わせに対応いたします。



カ)恐竜博物館コンシェルジュの配置

恐竜博物館には、来訪者の様々な相談や問い合わせに対し、迅速かつきめ細かな対応ができるよう専属のコンシェルジュを配置致します。



キ)音声ガイドシステムの導入

恐竜博物館では展示物の理解を深めるとともに、多言語での対応を行うことを目的にスマートフォンなどを活用した音声ガイドシステムを導入します。ガイドはQRコードやアプリなど様々な手法が想定されるため今後、長崎市様との協議により具体的な方法を決定します。



ク)ベビーカー・車いす等の無料貸し出し ・授乳室などの子育て支援機能の導入

子育て中のファミリーや高齢者など誰もが快適に恐竜パークを利用できるよう、ベビーカーや車いすの無料貸し出しを行います。また、授乳スペースの確保など子育て支援機能を積極的に導入します。



⑦苦情の迅速な対応

お客様からの苦情は貴重なご意見と考えています。各施設とも次のような多様な方法で広くそのご意見を身近に収集することにより、それに対応するシステムを構築し、利用者の満足度を高めて、「よかった、ありがとう。また、来たい。」という声につながるよう迅速な対応を図ります。

①お客様からの直接のご意見(苦情)対応

直接お客様からいただいたご意見(苦情)に対しては、真摯に聞き、どの点が問題なのか把握したうえで回答します。

お客様に対応できるよう、スタッフ向けに研修を行います。

② アンケートでのご意見(苦情)対応

来館者への館内アンケートで記載されている館の事業・施設・案内・警備、ショップ・レストラン職員などへのご意見(苦情)に対しては、所管部署へ報告し迅速に改善します。アンケートの声を聞いて改善した内容については、刊行物に「お客様の声」というコーナーを作ってアンケートが役立っていることを伝えます。

③メールでのご意見(苦情)対応

メールでいただいたご意見(苦情)に対しても、関係部署に連絡し確認したうえで早急に返事を出します。メールは相手方の個人アドレスがあるため、必ず、関係部署に渡す時は、個人情報保護の観点からその部分を黒塗りしてメールを提示します。

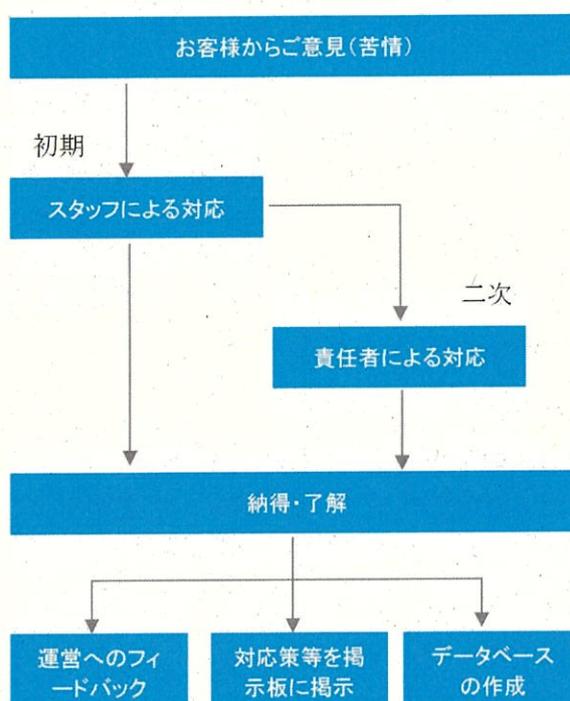
④電話でのご意見(苦情)対応

電話でいただいたご意見(苦情)は、その場で必ずメモをとり、関係部署に連絡し、迅速に回答します。ただし、すぐに回答できないご意見(苦情)の場合は、連絡先を聞いてから後ほど回答するようにします。

⑤手紙でのご意見(苦情)対応

手紙でいただいたご意見(苦情)は、関係部署に回付しお名前と住所が記載されている場合は迅速に返事を出します。

ご意見(苦情)への対応の流れ



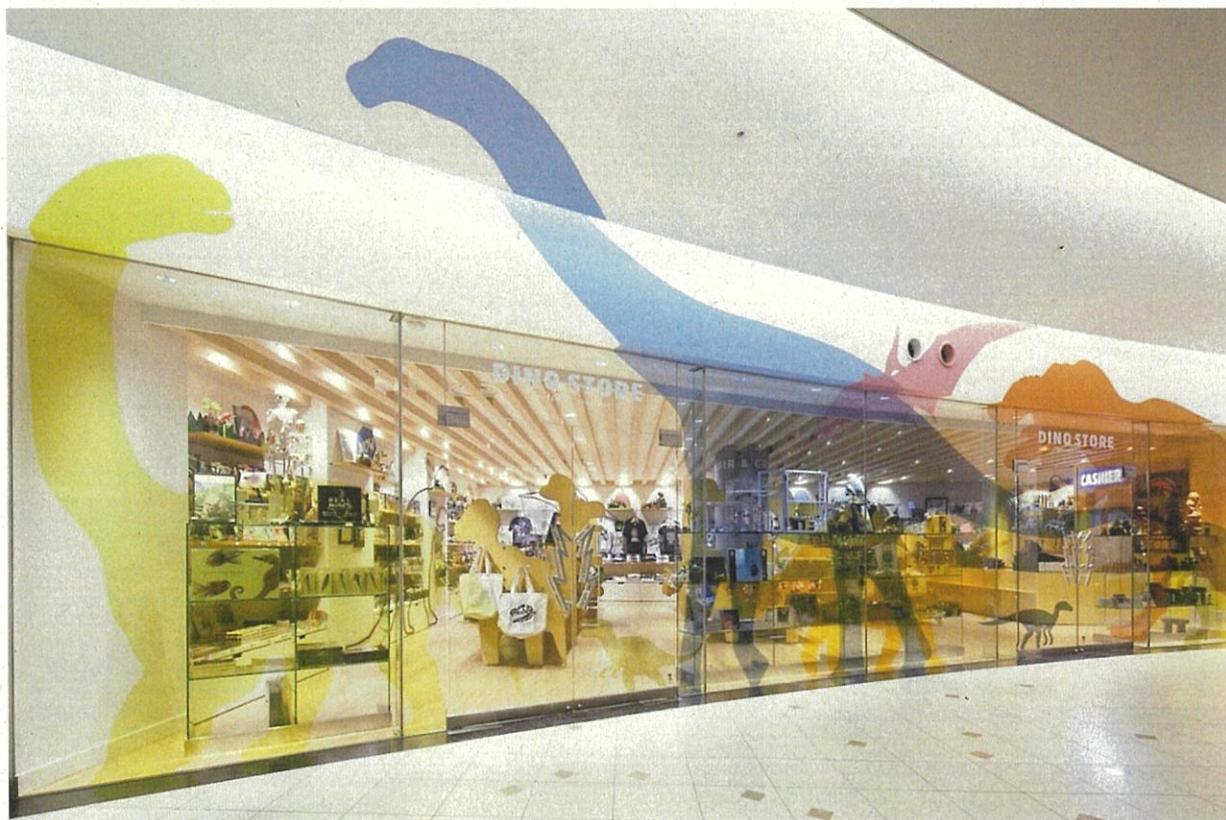
(2)ミュージアムショップの運営方法

長崎のオリジナリティ・市内調達率を意識しながら、魅力的な商品構成を行います。

ミュージアムショップは来訪者満足度の向上とリピーター確保、消費拡大のための重要な機能です。私たちはミュージアムショップ運営にあたり本館来訪者数の20%以上の取り込みと客単価1000円を目標に次の6点を考慮した経営を行います。

- 定番・人気恐竜グッズの販売と定期入れ替えによるリピーター確保
- 長崎をモチーフとしたオリジナルグッズの開発・販売
- ナチュラリス生物多様性センターや市内企業など協力機関と連携した商品開発・販売
(市内調達率20%以上を目標)※福井県立博物館は15%
- 野母崎とのコラボグッズの企画・販売(地元アーティスト等と連携)
- 企画展にあわせた特別コーナーの設置
- 新商品販売のテストマーケティングの場としても活用

(参考)福井県立恐竜博物館ミュージアムショップ





長崎 × 恐竜 = オリジナルグッズ・土産開発

LUSK nagasaki



1箱5枚入



(3)地域活性化事業

①野母崎周遊システムの構築

Point

- 野母崎地域の提携店舗で常設展・企画展の半券、フリーパスポート、ファンクラブ会員証を見せるだけで特典をもらえる「野母崎周遊システム」の構築

私たちは野母崎地域全体の経済活性化を実現することを究極の目標としています。そこで、恐竜パークへの来訪者を野母崎地域へ回遊してもらう一つの方策として「(仮称) のもん周遊システム」の導入を図ります。このシステムは野母崎地域の店舗等に協力を頂き、博物館等の来訪者が半券や会員証を提示することで“ちょっとしたサービス”を受けることが出来る仕組みです。私たちは来訪者に対する店舗の情報発信を無料で行います。サービス内容は店舗独自に決めて頂くことで無理なく持続可能なシステムとして野母崎地域の活性化に寄与して参りたいと考えます。



(参考)島原めぐりんチケット

おトクに 5 shop割 チケットを見せるだけ!!

店舗	店舗名	営業日	特典内容	割額/ポイント
お土産店	島原産物店	年中無休	購入額100円以上30円キャッシュバック	P5
	観光交流センター 常設展	年中無休	購入額100円以上30円キャッシュバック	P5
	島原産物店	年中無休	おでんチケットご購入で20%割引 (別途別途商品あり)	P5
喫茶・飲食・カフェ	島原産物店	不定期	おでんチケットご購入で10%割引	P5
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
お風呂	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
ファッション・雑貨	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
その他	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14
	島原産物店	不定期	飲食の5、飲み物2割引きサービス	P14



5 評価と改善(PDCA の仕組み)

Point

- 四半期ごとに 100 名程度(計 400 名以上)の顧客満足度調査を実施
- Google クチコミなどの分析と合わせた総合評価
- 外部評価として運営協議会による評価を行うほか長崎市 DMO などによる個別モニタリングを実施

恐竜パークの評価については、「来訪者の視点」、「市民の視点」、「有識者の視点」の 3 つの視点を持って以下のような PDCA マネジメントサイクルを構築し評価を行います。

評価結果は毎年レポートとしてとりまとめ運営協議会による検討を行い改善策を取りまとめ次年度の年度別計画へフィードバックを行います。

改善策を盛り込んだ年度計画書を毎年作成



評価レポートを毎年作成し運営協議会において改善方を検討



日々の中で発見された課題については常時改善対応を実施

評価方法(check)

来訪者	顧客満足度調査(CS調査)	毎年	恐竜パークスタッフによる配布・回収。半期ごとに 100 名程度回収し総合評価を行います。
	グーグルなど口コミ分析	毎年(毎月)	Google のクチコミの内容を 1 件毎に分析し価値を分析します。
市民	市民アンケート調査(市場調査)	3 年毎	3 年毎を目途に市民(特に野母崎地域)に対し恐竜パークの知名度や来訪意欲、課題を把握するためのアンケート調査を実施します。
有識者	長崎市博物館運営協議会による評価	毎年	長崎市恐竜博物館条例第 14 条に基づく運営協議会による評価を行っていただきます。
	長崎市、長崎市DMO、長崎県観光連盟、旅行代理店等への個別モニタリング	毎年	長崎市や DMO など観光関係者の視点からみた評価や課題などを把握するための会議を立ち上げ改善点を把握します。
従業員	従業員満足度調査(ES 調査)	毎年	従業員の本事業に携わる満足度を把握するとともに改善点などを積極的に把握するために実施します。

6 協働と連携

Point

- 市民・地域・団体との多様な協働・連携による恐竜パークの運営を行います。

恐竜パークの運営をより効率的で効果的なものとし地域にとって最大の効果を生み出していくためには市民や地域、団体との連携が不可欠です。私たちは、右に示すような多様な連携を図りながら恐竜パークの運営を行いたいと考えています。(地元雇用については後述)

●市民との連携

- ・恐竜パークサポーターズクラブの立ち上げ

●地域との連携

- ・(仮称)野母崎周遊システムの運営
- ・(仮称)恐竜パーク事業者ネットワークの構築
- ・地域協議会の運営支援

●団体等との連携

- ・長崎市科学館などの他の指定管理施設との連携
- ・長崎市・県関係団体との連携強化

①市民との連携

市民と連携した恐竜パークの運営のプラットフォームとして、市民ボランティア組織「(仮称)恐竜パークサポーターズクラブ」を立ち上げます。

②地域との連携

野母崎地域への来訪者の回遊促進や地元事業者の経営活性化を図る仕組みとして、「(仮称)野母崎周遊システム」、「(仮称)恐竜パーク事業者ネットワークの立ち上げ」、「地元協議会の運営支援」を実施いたします。

(再掲)野母崎周遊システム

私たちは野母崎地域全体の経済活性化を実現することを究極の目標としています。そこで、恐竜パークへの来訪者を野母崎地域へ回遊してもらう一つの方策として「(仮称)のもん周遊システム」の導入を図ります。

このシステムは野母崎地域の店舗等に協力を頂き、博物館等の来訪者が半券や会員証を提示することで“ちょっとしたサービス”を受けることが出来る仕組みです。私たちは来訪者に対する店舗の情報発信を無料で行います。サービス内容は店舗独自に決めて頂くことで無理なく持続可能なシステムとして野母崎地域の活性化に寄与して参りたいと考えます。

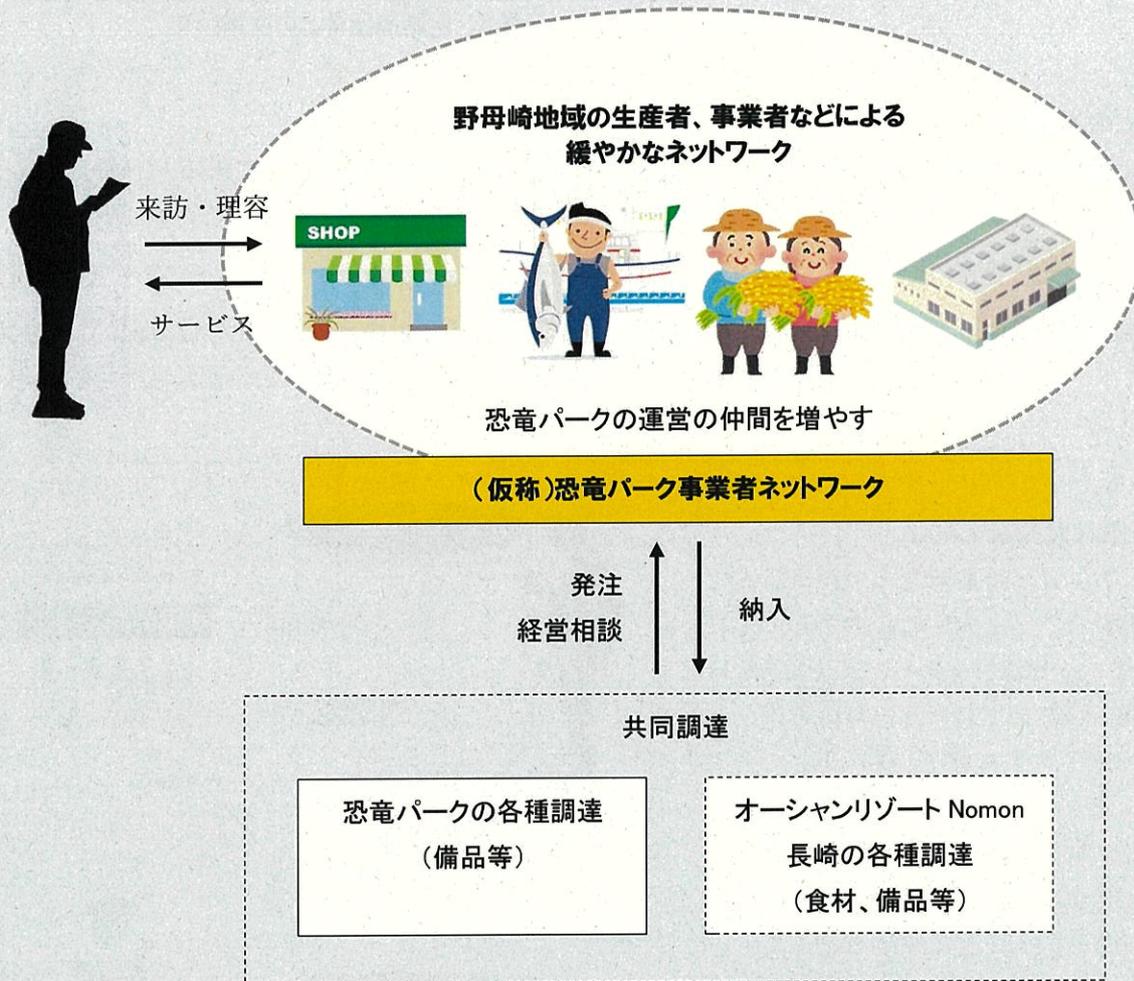


(仮称)恐竜パーク事業者ネットワークの立ち上げ

～恐竜パークの運営を支援頂く仲間を増やし地元調達を推進～

野母崎地域の事業者の経営拡大に直接的に寄与する仕組みとして、野母崎地域の生産者や事業者が参加する「(仮称)恐竜パーク事業者ネットワーク」を立ち上げます。

同組織は恐竜パークの運営への協力や地域活性化を実現したい事業者等が任意に参加する緩やかな枠組みを想定しています。前頁で提案した来訪者回遊システムへの協力など恐竜パークや地域活性化に参加頂く一方で、私たちとしては恐竜パークや隣接するホテルに必要な資材や食材などを優先的に発注する仕組みを想定しています。

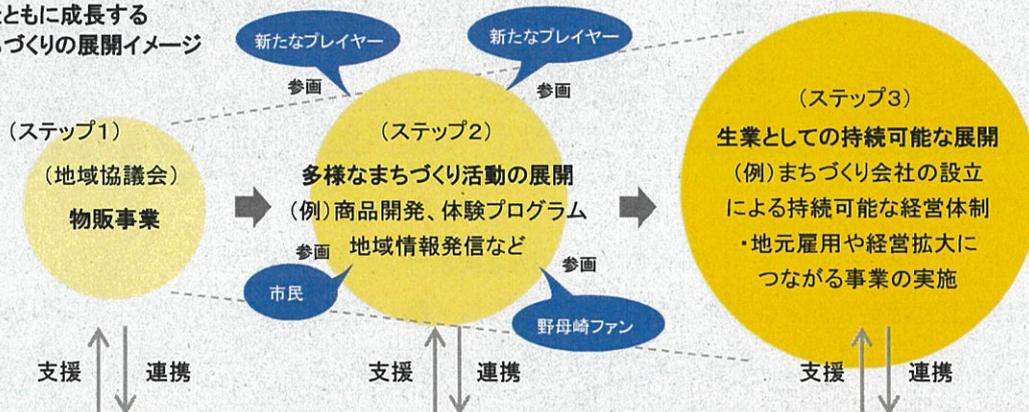


地域協議会の運営支援

本指定管理事業は恐竜パークの運営が中心ですが同時に野母崎地域の地域づくり・未来づくりであるといっても過言ではなく、地域の様々な人々や組織、事業者を巻き込んだ大きな展開に発展させていくことが極めて重要な視点であると考えています。

今回、(仮称) 恐竜パークの中にある物産施設を地域協議会が運営する方向ですが、この協議会を母体に地域内の様々な人々（事業者、市民）が参画する機会を設け、まちづくりに繋げる活動を支援して参りたいと考えています。

地域とともに成長する
まちづくりの展開イメージ



(仮称)ものごき恐竜パークの運営管理 -----> 発展



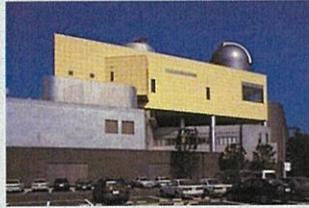
③市内団体等との連携

恐竜パークの運営に当たっては市内外の各種団体との連携を密に図り、顧客満足度を高める取組みの他、共同プロモーションや共同イベントの開催を検討します。

市内外関連施設との連携

市内の指定管理施設

グラバー園／出島／科学館／図書館／歴史文化博物館／美術館／出島メッセ長崎(整備中)等



(市外の連携施設)

福井県立恐竜博物館／御船町恐竜博物館／国立科学館／佐賀県立宇宙科学館／福岡市科学館



**顧客満足度を高める取組み、連携プロモーションや共同企画展の開催を検討
(各館が持つ展示物・資源の相互活用などを検討)**

教育機関との連携

恐竜パークの学術研究を推進するため、文部科学省をはじめとする県内外の関係機関との連携を図ります。

- ・ 文部科学省
- ・ 長崎県教育委員会
- ・ 科学技術振興機構
- ・ 公益財団法人日本博物館協会
- ・ 日本古生物学会
- ・ 日本地質学会
- ・ 長崎県理科教育同好会
- ・ 長崎県生物学会
- ・ 長崎県地質学会
- ・ 長崎理科教育研究会 など

大学連携

野母崎地域のまちづくりへの積極的な参画を頂いている
長崎大学、長崎総合科学大学、鎮西学院大学と連携した地域活性化事業を展開



- ・大学と連携した研究活動の実践（ゼミ受入、学会での研究発表など）
- ・イベントへの学生の参加
- ・教室やイベントの講師としての教職員の参加
- ・インターンシップ研修の受入
- ・学芸員実習の受入れ
- ・単位としての体験型講座の一環としての学生の事業参加

7 平等利用の確保

Point

- 地方自治法第 244 条第2項、第3項の主旨に則り、正当な理由のない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体の利用を優先することのないようにすることを徹底
- 平等利用規程の作成・運用
- 平等利用研修の実施

①平等利用確保の考え方

本パークは「公の施設」であるため、指定管理者は市の代行者として、常に平等かつ公平・公正な取り扱いによる安全で快適な管理運営を行う責務があります。そこで、私たちは、本パークの管理運営にあたっては、地方自治法第 244 条第2項、第3項の主旨に則り、正当な理由のない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体の利用を優先することのないようにすることを徹底し、子供から成人、高齢者、障がい者等がそれぞれの目的で楽しくパーク利用ができるよう管理運営を行います。

②平等利用に向けた取り組みについて

本パークには、地域の方々を始め、ハイカーや観光客など多様な人々が訪れます。このため、私たちは、園内や事務所での案内、さらには苦情、意見、要望等への対応など、あらゆる場面において、公平平等、公正な判断対応が求められるため、相手の尊厳を最大限に尊重し、親切丁寧な対応を行います。

利用者の価値観も千差万別であるため、中には不適切な利用や要望もあります。そのような利用者に対しても根気良く理解を求め、特定の利用者の意見に偏らないよう配慮します。

日々の管理運営業務において、平等の点で課題が生じた場合は、その検証と必要な改善を行い、平等利用の確保に努めるとともに、研修等において意識向上を図ります。

平等利用規程

第1条(目的)

長崎のもぎき恐竜パーク指定管理者として、施設の管理運営にかかわるすべての従事者は、地方自治法第 244 条に規定する公の施設であるため、正当な理由なく市民の施設利用を拒んだり、施設利用について不当な差別的取扱いをしてはならないと規程する同法第 244 条第 2 項、第 3 項を遵守し以下の規程により利用者の平等利用を確保しなければならない。

第2条(サービスの均一化)

居住地区や知人であること等により接客・指導態度を変えることなく、同じサービスの質で対応しなければならない。

第3条(情報の提供)

自主事業などの申し込み方法をわかりやすく明示し、抽選などを行う場合は、公正に行い、結果を掲示して開示を行う。

2 一般利用者のみならず、障がい者、子ども、高齢者や外国人等の情報弱者に対する情報提供やサポート体制を充実させる。

第4条(利用の許可・調整)

適正な利用許可・利用調整・予約システムに関する体制を整備し、特定の団体や個人に対し便宜を図るなどの優遇や差別的な対応を行わない。

第5条(施設利用)

利用の規則を守らない利用者や、他者の迷惑になる利用者に対しては注意を促し、状況によっては丁重に利用をお断りする等の対処をし、利用者の安全安心に努めなければならない。

第6条(利用料の徴収)

長崎のもぞき恐竜パーク条例に則り、適正に利用者から利用料を徴収する。

2 利用券の有効期限をきちんと確認し、不正利用等をさせない。

3 自主事業の参加費などの費用は、設定金額に応じて適正に徴収する。

③平等利用に向けた研修の実施

知らなかったでは済まされない差別的な発言や行動を抑制して、公共施設であることを認識した独自の研修を実施し、職員の一人ひとりのマナーのある対応を実施します。

ア)行政実務研修

公共施設を正しく認識するとともに、関連法規や条例などを学び、指定管理者としての基本事項を習得します。(2回/年)

イ)人権保護研修

人権問題を広く学ぶとともに、知らなかったでは済まされない差別的な用語や正しい言葉遣いなどを学びます。(2回/年)

ウ)接客・接遇研修

本施設では、幅広い年齢層の利用があります。誰に対しても、適切な対応やマナーを心がけることで、質の高い施設を構築します。(採用時と1回/年)

④利用者とのコミュニケーションの推進

日常的に利用者と平等にコミュニケーションを図ることで相互理解を促進していきます。特に、円滑なコミュニケーションを推進することにより、利用者の視点から不公平・不平等などの事項を知ること考えられ、トラブルとなる前に早急に対応することにより、事前の防止策にもつながります。

8 個人情報の保護

Point

- プライバシーポリシーの制定
- 個人情報保護責任者の設置による適正且つ厳格な情報管理
- 個人情報保護のための取組み
- 個人情報保護措置の検証と改善

私たちは、個人情報の保護に関する法律(平成 15 年 5 月に公布、平成 17 年4月に全面施行)、「個人情報の保護に関する法律施行令」や「個人情報の保護に関する法律施行規則」、更には「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」に基づき、以下の方針にそって適切に個人情報を保護して参ります。

①プライバシーポリシー(個人情報保護方針)の制定

長崎市恐竜博物館(以下「当館」といいます)は、お客さまからご提供いただきました個人情報につきましては、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令を遵守し、本プライバシーポリシーに基づいて適正な保護に努めてまいります。

■ 個人情報について

1. 個人情報の取得について

当館は、当館の活動において必要な範囲でお客さまから個人情報をご提供いただく場合があります。この場合には、取得する個人情報の内容、取得方法、利用目的などを予め明示した上で取得するものとし、不正な手段を用いて取得することはいたしません。

2. 個人情報の利用目的

当館は、お客さまからいただいた個人情報を、法令に基づく場合を除き、以下の目的にのみ利用します。

- ・当館運営に関するお知らせ
- ・当館で開催する催し物のご案内
- ・刊行物等の印刷物の送付
- ・お客さまとの連絡(例: 質問への回答、資料や情報提供のお礼)・その他予め明示またはお客さまから同意を得た目的

3. 個人情報の第三者への提供、開示について

当館は、お客さまからご提供いただいた個人情報を、以下に掲げる場合を除き、第三者に提供、開示することはありません。

- ・お客さまの同意がある場合
- ・法令等により開示を求められた場合
- ・個人を識別することのできない統計的データとして開示する場合

4. 個人情報の管理について

当館は、取得した個人情報について、管理責任者を定めて適切に管理し、細心の注意を払い、お客さまの個人情報の紛失、誤用、改ざん等を防止することに努めます。

5. 個人情報の確認、変更、削除について

当館は、お客さまがご自身の個人情報について確認、変更、削除等を申し出られた場合は、合理的かつ必要な範囲内において速やかに対応します。

■ 本ポリシー等の変更について

本ポリシーまたはお客さまの個人情報の取扱方法等に変更が発生した場合は、本サイト上で最新の情報をお知らせします。

■ Cookies について

当社は、当社サイトの利便性の向上、当社サイトの閲覧状況の統計的把握によるサイトの改善、お客様への最適なコンテンツの表示及び広告配信のため、当社サイトにおいて、cookie を使用することがあります。その他の目的で、cookie を使用することはありません。cookie とは、お客様がウェブページを閲覧した際に、アクセス履歴等をお客様の PC、モバイル等のブラウザにデータとして保存しておく仕組みです。当社サイトは、お客様のブラウザと cookie を送受信することにより、お客様ごとに最適な情報を表示することができます。cookie の使用によって、お客様個人を特定することはできません。

お客様は、ブラウザの設定を変更することにより、cookie の送受信を拒否することや、cookie を削除することができます。ただし、cookie の送受信の拒否等をした場合、当社サイトの一部サービスがご利用できなくなることがあります。

当社サイトは、サイトのアクセス解析のため、Google アナリティクス cookie を使用しています。

Google アナリティクス cookie について、詳しくは「Google ポリシーと規約」をご覧ください。

②個人情報保護責任者・内部監査責任者の設置

個人情報を適切に保護するため、個人情報保護マネジメントシステム全体を統括する「個人情報保護管理者」と、マネジメントシステムがうまく機能しているか監査の音頭をとる「内部監査責任者」を設置します。個人情報保護管理者はパーク所長が努め、内部監査責任者は事務局長が努めることを想定します。

③個人情報保護のために講じる措置

「個人情報取得の目的の明示と目的外使用の禁止」、「個人情報の厳格な管理(パソコンの暗証番号設定、鍵の付いた場所での個人情報の保管、目的が終了した個人情報の迅速廃棄など)」、「個人情報の持ち出し禁止」、「外部委託先への個人情報保護義務づけ」などを適切に行います。

④安全管理の方法

個人データの適正な取扱いの確保について組織として取り組むために、基本方針や個人データの取扱いに係る規定を策定することが重要です。また、その他、具体的な講ずべき措置は、以下のものがあります。

組織的安全管理措置	<ul style="list-style-type: none">・組織体制の整備・個人データの取扱いに係る規律に従った運用・個人データの取扱状況を確認する手段の整備・漏えい等の事案に対応する体制の整備・取扱状況の把握及び安全管理措置の見直し
人的安全管理措置	<ul style="list-style-type: none">・従業員の教育
物理的安全管理措置	<ul style="list-style-type: none">・個人データを取り扱う区域の管理・機器及び電子媒体等の盗難等の防止・電子媒体等を持ち運ぶ場合の漏えい等の防止・個人データの削除及び機器、電子媒体等の廃棄
技術的安全管理措置	<ul style="list-style-type: none">・アクセス制御・アクセス者の識別と認証・外部からの不正アクセス等の防止・情報システムの使用に伴う漏えい等の防止

⑤個人情報保護措置の検証

個人情報保護が適正に行われるよう、職員研修を実施するとともに定期的に個人情報保護責任者によるチェックを行います。

9 緊急時の対応

Point

- 危機管理マニュアルの作成とスタッフ全員への徹底した共有と実践体制の構築
- 危機発生時の連絡体制の確立
- 野母崎文化センターの避難所としての適切な運営

①緊急時対応・危機管理対策の基本的な考え方

施設の管理運営に伴う危機とは、火災、地震、風水害、感染症、不審者、テロ、建物・設備等に起因する事故など様々なものが想定されます。そのため、館内の安全は 24 時間 365 日、いかなるときも求められます。そこで、日頃より職員が展示室内の常駐・巡回を行い、常に施設・設備等の点検をしています。

私たちはホテル経営で培ったノウハウを生かし「危機管理マニュアル」を作成し、訓練・危機管理研修の実施などを通じて、各職員の危機管理意識の向上に努め、日常のチェックを確実にを行います。私たちは、来館者・職員の生命及び次世代へ継承させていくべき文化資源を守ることを目的とし、以下の危機管理対策を実施します。

②危機・災害における対応・対策

来館されたお客様に対する安全確保は、施設管理運営にあたって根幹となるものであります。私たちは、危機管理マニュアルに基づき、日頃から対策を進めるとともに、非常時の連絡体制を明確にし、万全の体制をとりまします。主な危機に対する対応は以下のとおりです。なお、野母崎文化センターは長崎市の避難所に位置づけてあることから風水害などの緊急事態での適切な運用を行うとともに、日頃から長崎市の関係機関と危機情報を共有するとともに、所轄警察署との緊密な連絡体制を維持していきます。

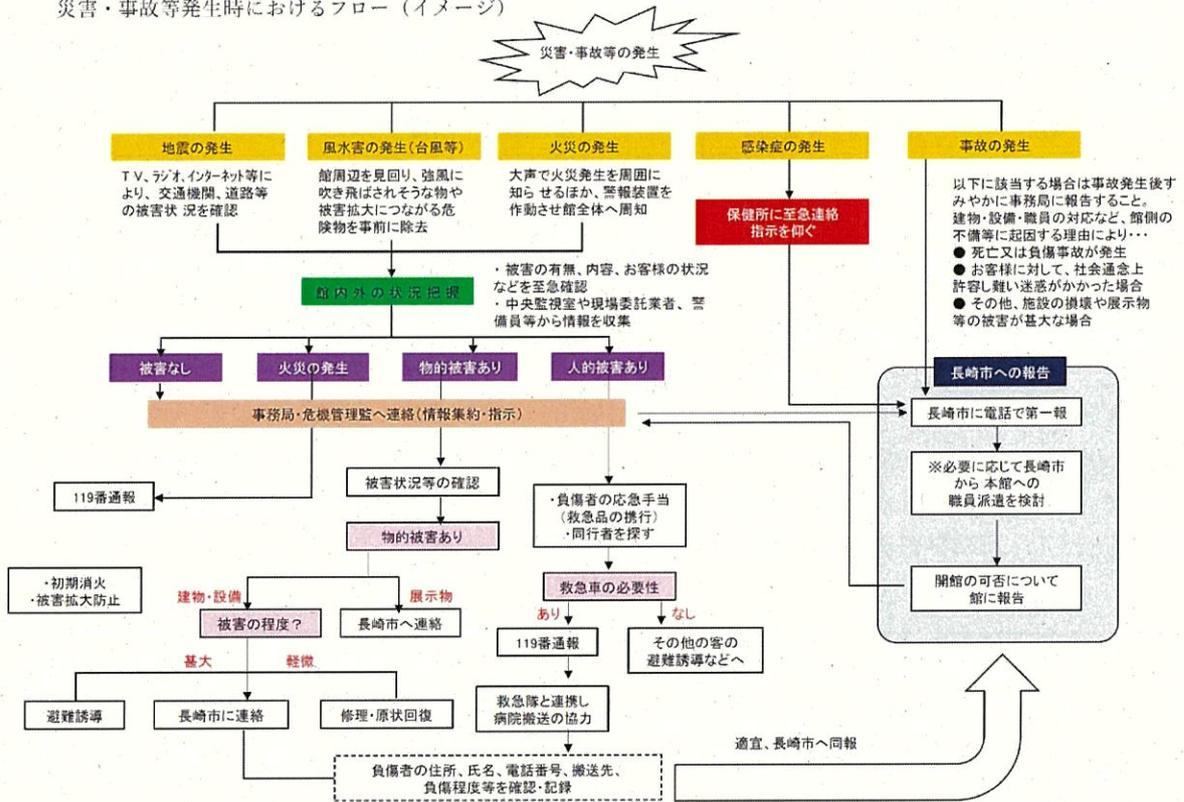
	対策	発災時の対応
地震 火災 風水害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難通路には障害物となるものを置きません。 ・ 火気器具周辺には燃えやすいものを置きません。 ・ 展示品等の落下防止、転倒防止などの対策をします。 ・ 消火器等防災設備位置と避難誘導線について日頃より把握するとともに定期点検を実施します。 ・ 館周辺を見回り、強風にとばされやすいものや被害拡大につながる危険物を事前撤去します。 ・ 看板等の取り付けを確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様の安全確保を最優先とし、各自が自衛消防計画に基づき初期消火、消防・警察への通報、避難誘導を行います。 ・ 地震の場合には、地震の大きさや震源地情報、館周辺の被害状況等を情報収集し、お客様に適宜適切に情報提供を行います。 ・ SNSを利用して、施設周辺の状況や交通情報等お客様に必要な情報を提供いたします。 ・ 負傷者が発生した場合は、負傷者の応急手当や、同行者の捜索を行うとともに、直ちに医療機関に連絡し、搬送の協力を行います。
感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所や最寄り医療機関等との連絡体制を構築します。 ・ 平常時からの対策として消毒液等を設置し注意喚起します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染の疑いが発覚した際は直ちに保健所へ連絡をし、指示に従い行動します。
不審物 不審者 テロ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館内巡回の際には、放置された荷物等の有無を確認するとともに、大きな手荷物等にも注意を払います。 ・ 挙動不審の者がいた場合、声をかけるとともに、関係部署への連絡連携を密にします。 ・ 職員、アルバイト、関係者等のバックヤードへの入館には、職員証、入館証等の提示を徹底します。 ・ 放置機材や荷物等による死角となる場所をつくりません。 ・ 地元警察と連携し、日頃からテロ対策訓練を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様の安全確保を最優先とし、110番に直結している緊急通報システムにより直ちに警察へ通報するとともに、関係機関への連絡及び連携により、迅速かつ適切な対応を行います。 ・ 爆破予告等があった場合、直ちに警察へ通報するとともに、お客様を館外の安全な場所へ避難誘導いたします。避難誘導後、トイレ、ゴミ箱など館内を再点検し、不審物の有無を確認します。
事故 ・急病人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所轄警察・消防署や最寄り医療機関等との連絡体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救護室提供や応急手当の実施、救急車の出動要請(必要に応じて同行)等

また、消防計画に基づき、消防署の協力を得て、消火器の実放射訓練、屋外消火栓の放水訓練、通報訓練、避難誘導訓練などを行う自衛消防訓練を年に 2 回実施します。

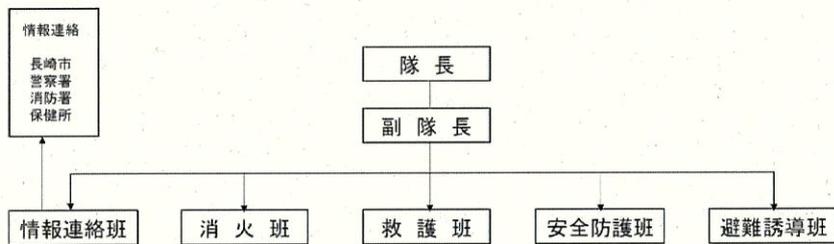
③危機発生時の連絡体制の確保

危機発生時においては、災害等の情報収集を迅速に行い、事務局に第一報を伝え、その後、逐次状況把握し、長崎市に対して随時報告します。連絡体制を確保するため、現場対応を担う職員と連絡調整を行う職員を区分し、館内の情報を共有した上で、緊密な連絡体制を確保します。そのため、緊急時に至急の連絡伝達を行う担当者「危機管理監」をローテーション表等に明示いたします。

災害・事故等発生時におけるフロー（イメージ）



館内の災害・事故等発生時における体制例



責任の所在

		長崎市	指定管理者
不可抗力	不可抗力(暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動その他の自治体又は指定管理者のいずれの責めにも帰すことのできない自然的又は人為的な現象)に伴う、施設、設備の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
	不可抗力による事故時の適切な処理		○
	新型コロナウイルスその他新たに発生した感染症等による管理運営の中断や対策等に要する経費	協議事項	
施設・設備の 損傷	経年劣化や利用に伴う消耗等に対応する一般的な修繕	○	
	管理者の注意義務を怠ったことによる施設、設備、備品等の滅失、損傷に関する原状回復又は賠償		○
	第三者の行為から生じたもので相手方が特定できないもの(上記以外)	○	○
第三者への 賠償	指定管理者としての注意義務を怠ったことにより損害を与えた場合		○
	上記以外の理由により損害を与えた場合	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○

研修（訓練）の実施計画

毎年2回、全スタッフを対象とした危機管理研修を実施します。

テーマ	内容
講義・事例把握	<p>講義「事例で学ぶ危機管理の必須知識」 具体的な事例を豊富に挙げ、パーク運営における危機の未然防止のポイントと、万一、不祥事が発生した際の対応のポイントについて、実際に起こった不祥事を事例に挙げながら、わかりやすく説明いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営と危機管理 2. 危機を招く3つの原因とは 3. 危機の予防に必要な「3つの意識」 4. 危機管理意識を高めるための「7つの行動指針」 5. 危機防止のためのマネジメント心得 6. 危機発生時の初期対応のポイント 7. 緊急記者会見時の対応ノウハウ
ワークショップ	<p>職場で発生した危機とその課題を提示いたしますので、グループワークとして取り組んでいただきます。経営者や管理職として必要な、危機発生時の迅速な対応力の習得を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. グループディスカッションによる対応のまとめ 3. 検討結果のグループ別発表 4. 講師から「モデル対応例」の解説と講評 <p>【ケース例】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 主催のイベント会場で事故発生、参加者に死傷者が出た・・・ ② 個人情報の書類を紛失した矢先、脅しめいた電話が入った・・・ ③ 部下が不正行為をしているという内部告発文書が自分宛てに来た・・・ ④ 部下が酒に酔って居酒屋でトラブル、警察沙汰になった・・・

10 施設管理

Point

- 施設管理の専門企業である構成団体を中心に、安全で快適・利用者満足度の高い施設を維持するための清掃・機械設備の保守点検・改善・警備を実施します。

施設管理は、創業 50 年、社員数 150 名を誇る構成企業を中心に、現場の実情に応じた質の高い清掃、保守点検、改善、警備を行います。

中核的施設管理会社の概要

事業登録

建築物環境衛生総合管理業	長崎県16総第1号
建築物飲料水貯水槽清掃業	長崎県4貯第5号
建築物ねずみ昆虫等防除業	長崎県1ね第2号
警備業	長崎県公安委員会 第92000005号
一般建設業 電気工事	長崎県（般-29）第13689号
一般建設業 消防施設工事	長崎県（般-29）第13689号
一般建設業 管工事	長崎県（般-29）第13689号
消防設備点検業登録	42-1-115号
自家用電気工作物保安業	経済産業省届出



有資格者数

建築物環境衛生管理技術者	21名	空気環境測定実施者	2名
貯水槽清掃作業監督者	2名	防除作業監督者	2名
毒物・劇物取扱主任者	1名	ビルクリーニング技能士	2名
清掃作業監督者	2名	衛生管理者	4名
警備員指導教育責任者	3名	警備員検定 2級	3名
電気主任技術者 第3種	9名	電気工事施工管理技師 1級	1名
エネルギー管理士	1名	高圧電気工事技術者	1名
第1種電気工事士	6名	第2種電気工事士	14名
冷凍機械責任者 1種	1名	冷凍機械責任者 2種	1名
冷凍機械責任者 3種	7名	ボイラー技師 1級	2名
ボイラー技師 2級	20名	ボイラー整備士	1名
空調給排水管理監督者	2名	管工事施工管理技師 2級	3名
消防設備士	10名	防火対象物点検資格者	2名
防火管理者	12名	防火管理点検資格者	1名
防災センター要員	2名	ゴンドラ運転講習修了者	2名
登録特殊建築物等調査資格者	1名	登録建築設備検査資格者	1名



①清掃・維持管理

- ・ 施設管理の専門企業である構成団体による清掃・維持管理を実施します。
- ・ 清掃や維持管理については、各スタッフがむらなく丁寧に対応できるよう、「清掃・維持管理マニュアル」と「チェックリスト」を作成し点検・評価しながら対応を行います。
- ・ 人材育成については、マニュアルとリストに沿って入社時と定期的実施します。また、清掃スタッフでも常に施設点検や安全管理を行うなど多能性の育成を図ります。また、利用者からの質問などにも丁寧に答えられる「園内コンシェルジュ」としての役割を担います。
- ・ 定期点検は写真による定点記録などを行い、劣化の進行状況や深刻度の評価が行えるようにします。

②設備・機械保守点検

- ・ 建物の状態を良好に維持するため、保守点検実施マニュアルを定め、全スタッフに共有し、日常点検及び定期点検を行います。
- ・ 日常点検は点検ポイントをリスト化し、目視により状態を確認しチェックする体制を構築します。
- ・ 定期点検は写真による定点記録などを行い、劣化の進行状況や深刻度の評価が行えるようにします。
- ・ 日常点検及び定期点検結果をもって長崎市が修理計画を定め、指定管理者が担うべき項目について適切な対応を行います。

③警備・保安

- ・ 利用者の安心・安全と、文化財の保全を徹底するため、仕様書にある機械警備による万全の警備・保安対策を行うとともに、スタッフ全員参加による安心・安全の環境づくりに努めます。
- ・ 危機管理対策の充実として仕様書に定められた AED を設置するとともに、全スタッフを対象とした利用研修などを実施します。

④花卉・樹木・芝などの維持管理

- ・ 恐竜パークの財産である水仙の丘などの花卉・樹木、芝などを適切に維持管理するため、造園業者などの専門家による「維持管理計画」を策定し、季節に応じた適切な維持管理を行います。



植物・生物の維持管理計画



日常的な維持管理
定期的な除草・芝管理作業の実施

メンテナンス表

(頻度凡例=D:毎日、●D:1日●回、●M:月●回、●Y:年●回)

施設	分野	内容	頻度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
恐竜博物館	館内・館外清掃	毎日	D													
		北側窓	D													
		大掃除	1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	機械管理		D													
	常設装置運転・日常点検		D													
	防火管理		D													
	空調設備機器	年間保守	D													
		年2回の点検	2Y													
	輸送機器関係	年間保守	D													
		月1回の定期点検	1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	自動ドア	年間保守	D													
		年2回以上の点検	2Y													
	家用電気工作物	月1回定期点検	1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		年1回法定点検	1Y													
	警備	機械警備	D													
		1日2回施設巡回	2D	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	収蔵物害虫駆除		IPM													
	防災設備		D													
	消防用設備	年間保守	D													
		6か月に1回の機能・外観点検	2Y													
映像・音響装置	年間保守	D														
	年1回の総合点検	1Y														
恐竜ロボット	年間保守	D														
	年1回の総合点検	1Y														
自動券売機	年間保守	D														
	年2回の総合点検	2Y														
機械設備保守点検	消防用設備点検(年2回以上)	2Y														
	空調機器保守点検(年1回以上)	1Y														
軍艦島資料館	清掃	自動ドア保守点検(年1回以上)	1Y													
		展示・ホール・通路(毎日)	D													
		トイレ(毎日)	D													
		事務室(毎日)	D													
	警備	外周及び歩道(適宜)	D													
窓ガラス(年2回以上)		2Y														
野母崎文化センター	機械警備	機械警備	D													
		人感センサー	D													
野母崎文化センター	貯水槽業務	自動火災報知設備	D													
			D													
	床清掃	風除施設	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		エントランスホール・廊下	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		事務室(毎日)	2M	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
		図書室	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		キッズルーム	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		会議室	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		応接室	1W	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		楽屋	1W	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		休息室	1W	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		便所	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		洗面所	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		給湯室	1W	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		当直室	1W	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		ホール	2M	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
		ステージ	2M	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
		ステージ裏通路	2M	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
		映写室	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		廊下・ロビー	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
展示スペース	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
階段A	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
階段B	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
風除室	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
階段	2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		

施設	分野	内容	頻度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
野母崎文化センター	窓ガラス	窓ガラス	2Y						(年2回実施)							
		屋外駐車場	6Y		●			●			●			●		●
	ワックス	給湯室	2Y							(年2回実施)						
		風除室	2Y							(年2回実施)						
		エントランスホール・廊下	2Y							(年2回実施)						
		事務室	2Y							(年2回実施)						
		会議室	2Y							(年2回実施)						
		応接室	2Y							(年2回実施)						
		楽屋	2Y							(年2回実施)						
		休息室	2Y							(年2回実施)						
		洗面所	2Y							(年2回実施)						
		当直室	2Y							(年2回実施)						
		ホール	2Y							(年2回実施)						
		ステージ	2Y							(年2回実施)						
		ステージ裏通路	2Y							(年2回実施)						
		廊下・ロビー	2Y							(年2回実施)						
	展示スペース	2Y							(年2回実施)							
	貯水槽清掃															
	消火設備	保守点検	2Y							(年2回実施)						
		総合点検	1Y							(年1回実施)						
	警報設備	器具点検	2Y							(年2回実施)						
		総合点検	1Y							(年1回実施)						
	避難設備	器具点検	2Y							(年2回実施)						
		総合点検	1Y							(年1回実施)						
	消防用水		2Y							(年2回実施)						
	消防活動上必要な設備	器具点検	2Y							(年2回実施)						
		総合点検	1Y							(年1回実施)						
	非常電源・配線等	器具点検	2Y							(年2回実施)						
		総合点検	1Y										●			
	自家用電気工作物	月次点検	1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		年次点検	1Y										●			
		臨時点検														
工事期間中 竣工検査																
空調設備保守点検																
吸収式冷温水機	吸収式冷温水機	2Y							(年2回実施)							
自動扉開閉装置	自動扉	4Y							(年4回実施)							
舞台吊物装置	舞台吊物保守点検	2Y							(年2回実施)							
舞台音響・照明設備	舞台照明設備	1Y							(年1回実施)							
	舞台音響設備	1Y							(年1回実施)							
移動式観覧席保守点検	移動式観覧席保守点検	1Y							(年1回実施)							
体育館	清掃	ワックス	2Y						(年2回実施)							
インフォメーションセンター	清掃	フロアー清掃	D													
	施設・設備保守点検		1Y						(年1回実施)							
	消防設備保守点検		1Y						(年1回実施)							
	エレベーター		1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
恐竜パーク庭球場	便所清掃		2W	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	芝管理		5Y						(年5回実施)							
	施設管理	使用許可日							(利用許可日)							
	施設・設備保守点検		1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	人工芝維持管理		D													
庭球場清掃		1D														
水仙の丘	芝管理		5Y						(年5回実施)							
	施設・設備保守点検		1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	水仙の丘清掃		1D													
	除草		3Y						(年3回実施)							
	維持管理		D													
	植栽		D													
	植木等維持管理		D													
こども広場・多目的広場・駐車場	便所清掃		2D													
	芝管理		5Y			●		●		●		●		●		
	施設・設備保守点検		1M	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	清掃		1D													
多目的広場維持管理		D														

11 人員配置

(1) 人員配置

施設	職種	人数	担当業務	備考(資格等)
恐竜パーク 全体(経営企画 チーム)	パーク所長	1	恐竜パークの運営管理の総括責任者	
	事務局長	1	恐竜パークの事務・総務・経理部門の責任者	国内旅行業務 取扱管理者
	経理マネージャー 総務マネージャー	2	恐竜パークの事務・総務・経理	
	施設管理マネージャー	1	設備・機械の維持管理の総括責任者	防火管理者、 清掃作業監督 者、建築物環 境衛生管理技 術者
恐竜博物館	館長	1	恐竜博物館の総括責任者・危機管理責任者として博物館の運営を統括	
	学芸員	1	企画展示、常設展示の指定管理者としての管理統括責任者として学術部門を運営	
	学習指導員	1	学芸員の補佐役として学習活動やワークショップなどに対応	
	グラフィックデザイナー	1	広報媒体作成・マーケティングに対応	
	サービスグループ長	1	利用者サービス全般に関する責任者	
	ショップ主任	1	ミュージアムショップの MD、陳列、在庫管理、プロモーション等に関する責任者	
	インストラクター	2	案内、コンシェルジュ、ワークショップ、講座、学習支援等の運営サポート	
軍艦島資料館	受付・コンシェルジュ	2	受付、案内、ガイドなど	
文化センター	窓口案内・図書館受付	1	受付、案内、ガイドなど	
	生涯学習コーディネーター	1	講座企画・運営、団体活動支援	
インフォメーションセンター・体育館・水仙の丘	受付・コンシェルジュ	2	インフォメーションセンター、体育館の受付・案内、電話対応等	
	公園管理グループ長	1	公園管理の責任者	
	パーク管理	3	施設内外の清掃・維持管理	
	(※)芝管理	臨時	恐竜広場内の芝の刈込。	
	(※)除草作業	臨時	水仙公園及び雑草の刈込。	
合計(※除く)		23		

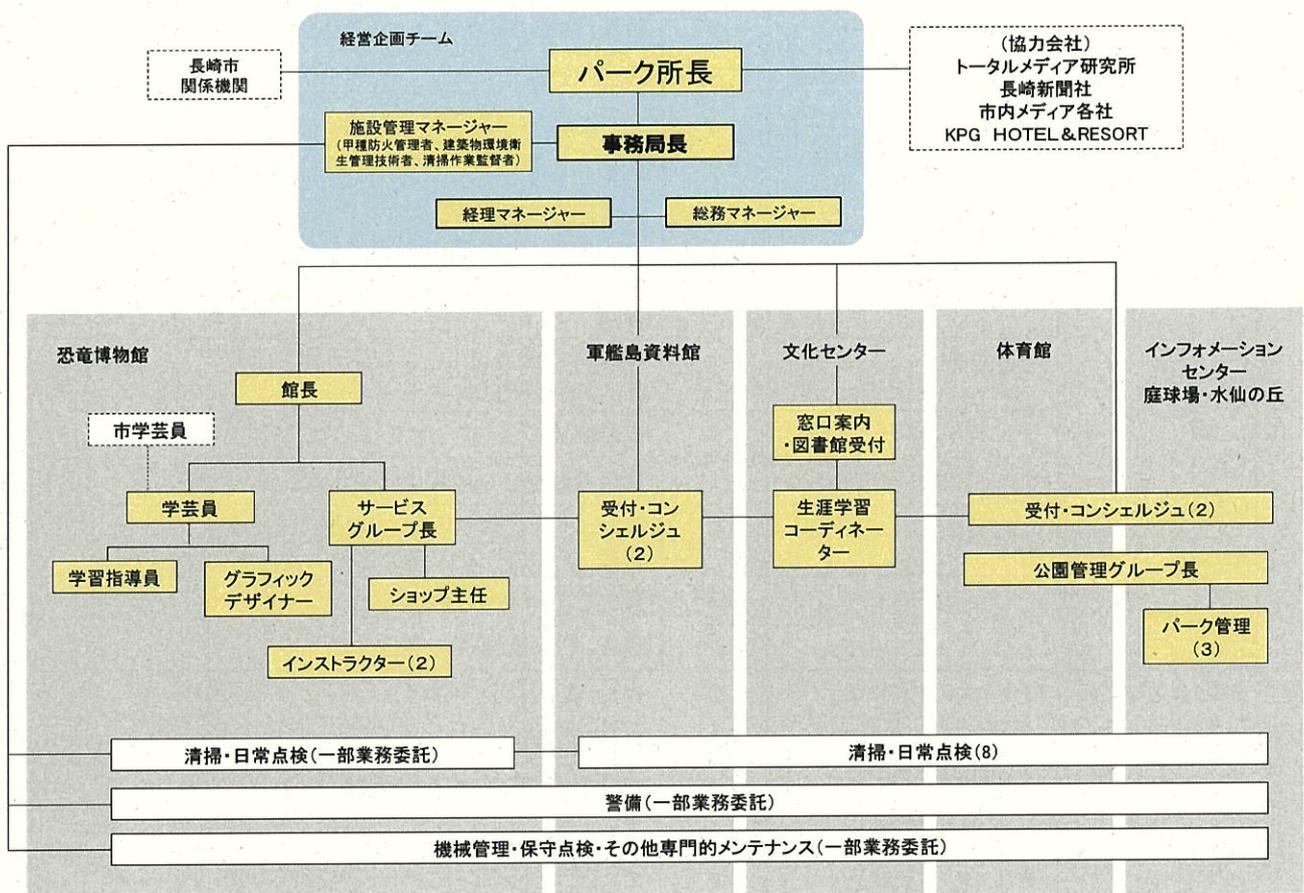
備考:繁忙期は、臨時職員を配置いたします。

(2) 組織体制

① 組織体制

私たちは、企画力と調整力が高いパーク所長(総括責任者)を中心に、マーケティングやマネジメントに精通した事務局長、施設の維持管理が適切に管理できる施設管理マネージャー、恐竜パークの中核施設である恐竜博物館の運営総括ができる館長、他の指定管理施設でのコンシェルジュ経験が豊富なサービスグループ長など、以下のような体制で恐竜パークの運営を行います。

組織体制 ※()は人数



②グループの責任体制

	役割														
代表企業	<p>恐竜パーク全体の総括管理。マーケティング、経営管理(就業、給与、決済、会計及び個人情報保護)、長崎市及び関係機関との連絡調整。初期投資及び運営費用の資金調達などを行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>就業管理</td> <td>勤務時間、休日、時間外勤務及び年次休暇、特別休暇、サービス、安全衛生、懲戒等及び職員の勤務意欲や業務効率の向上を目的とした提案制度等の整備</td> </tr> <tr> <td>給与</td> <td>職員の給与や手当などの必要事項</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>適切な会計処理に関する必要事項</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員の雇用等</td> <td>各構成団体の規程、規則において非常勤職員の雇用、給与等、勤務時間の割り振り、休暇等についての必要事項</td> </tr> <tr> <td>決済</td> <td>業務の執行並びに人事等に関する決済に関する必要事項</td> </tr> <tr> <td>法令遵守</td> <td>法令遵守に関する必要事項</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>情報公開、情報保護に関する必要事項</td> </tr> </table>	就業管理	勤務時間、休日、時間外勤務及び年次休暇、特別休暇、サービス、安全衛生、懲戒等及び職員の勤務意欲や業務効率の向上を目的とした提案制度等の整備	給与	職員の給与や手当などの必要事項	会計	適切な会計処理に関する必要事項	非常勤職員の雇用等	各構成団体の規程、規則において非常勤職員の雇用、給与等、勤務時間の割り振り、休暇等についての必要事項	決済	業務の執行並びに人事等に関する決済に関する必要事項	法令遵守	法令遵守に関する必要事項	その他	情報公開、情報保護に関する必要事項
就業管理	勤務時間、休日、時間外勤務及び年次休暇、特別休暇、サービス、安全衛生、懲戒等及び職員の勤務意欲や業務効率の向上を目的とした提案制度等の整備														
給与	職員の給与や手当などの必要事項														
会計	適切な会計処理に関する必要事項														
非常勤職員の雇用等	各構成団体の規程、規則において非常勤職員の雇用、給与等、勤務時間の割り振り、休暇等についての必要事項														
決済	業務の執行並びに人事等に関する決済に関する必要事項														
法令遵守	法令遵守に関する必要事項														
その他	情報公開、情報保護に関する必要事項														
構成団体 A	指定管理施設運営ノウハウを生かした代表企業の経営支援、利用者サービスの企画・統括、ショップ経営支援、警備・交通誘導														
構成団体 B	設備・機械の管理保守点検、警備、清掃の総括。技術指導														

③職員研修

私たちは恐竜パーク利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の安全管理や接客、快適な利用をテーマに個々の職員の資質向上を図るとともに、組織としての管理運営の総合力の向上を目的として計画的に職員研修等を実施します。

職員の人材育成に関する基本的な考え方

職員等の総合的レベルアップ

- 長崎市の新たな博物館の指定管理者としての使命を自覚し、お客様が快適に楽しく、安全に施設を利用できるようなホスピタリティあふれる職員の育成を目指します。
- ニューノーマルやSDGsなどの新たな時代の課題に適切に対処できる広い視野を養い、文化施設の運営に必要な専門能力のさらなる向上をはかります。
- 経営上のバランス感覚、的確な状況判断及び問題解決能力に優れた人材を育てます。

専門性と多能性の向上

- 接客、安全管理、維持管理、利用促進、パークマネジメント、危機管理、個人情報保護、平等利用などの個々の専門性を高めるとともに、多能性の育成により様々な分野で幅広く活躍できる人材育成を図ります。
- 市学芸員や他の博物館、研究機関などと連携し学芸員の育成を図ります。

講座区分	内容		実施頻度
基礎研修	全職員・従業員を対象に、接遇、緊急時対応、個人情報保護などをテーマとした研修を行います。		毎年 スタッフ入社時
専門実務研修	学術的研修	恐竜を中核とした長崎市の歴史文化、博物館の見どころなどを学術的視点から詳細に習得します。	年1回
	広報戦略・マーケティング研修	ブランディング、コンテンツ作成、プロモーションなどの基本的な内容からコンテンツ企画作成の実践講座などを行います。	年2回
	利用者サービス研修	基礎研修で培った知識を活かし、具体的なシーンごとの対応などをロールプレイング方式で習得します。	年1回
	維持管理研修	施設や素材、環境等に応じた適切な清掃方法、機械・設備の点検方法と課題発見の視点など専門的に習得します。	年1回
	会計実務研修	指定管理施設の会計処理方法などについての専門的スキルを習得します。	年1回

研修風景イメージ

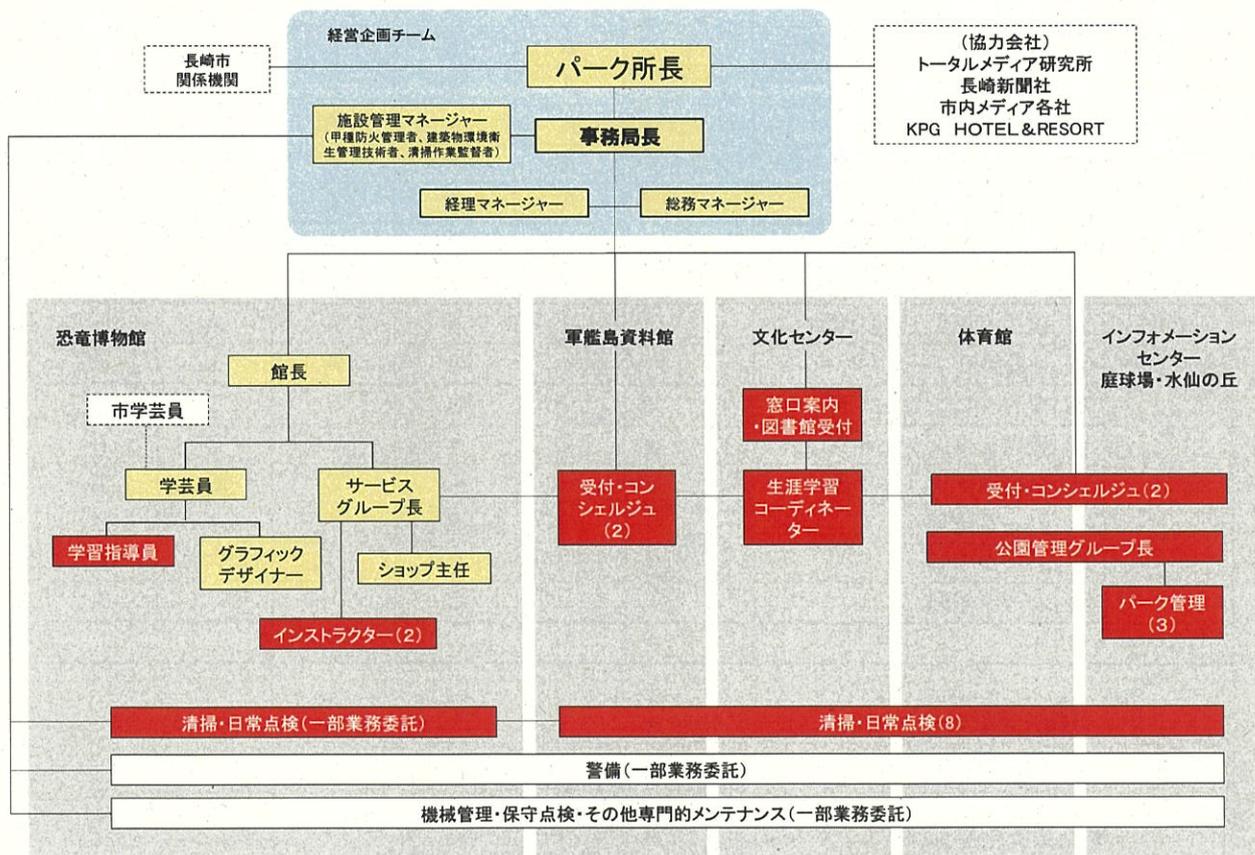


(3) 地元雇用の考え方

- 基本スタッフとして地元より13名及び臨時職員として8名程度を採用
- 現在の関係スタッフの継続希望者は優先採用
- 除草作業や芝管理作業、臨時警備には地域住民の臨時雇用の場を確保

地元雇用は本事業において最も重要な課題の一つであると考えています。

私たちは現状のスタッフの再雇用を優先的に行うとともに、新規スタッフを可能な限り地元から採用を図ります。特に以下に示す赤枠の部分については全員を地元採用で実現することを目指した採用計画を行います。



シフト表(案)①

日		28	29	30	31	1		
曜日		木	金	土	日	月		
イベント		内 覧 会	オ ー プ ン					
経営 企画	1	パーク所長（統括責任者）	A	C	A	D	公休日	
	2	事務局長	A	C	A	公休日	C	
	3	総務マネージャー	A	A	C	公休日	D	
	4	経理マネージャー	A	A	A	C	公休日	
	5	施設管理マネージャー	A	D	D	A	公休日	
恐竜 博物館	6	館長	A	A	A	A	休 館 日	
	7	学芸員（グループ長）	A	A	A	A		
	8	学習指導員	A	A	A	A		
	9	グラフィックデザイナー	A	A	A	A		
	10	サービスグループ長	A	A	A	A		
	11	インストラクター①	A	A	A	A		
	12	インストラクター②	A	A	A	A		
	13	ショップ主任	A	A	A	A		
軍艦島 資料館	14	受付・コンシェルジュ		A	A	A	公休日	
	15	受付・コンシェルジュ		公休日	A	A	A	
文化 センター	16	図書室受付・窓口案内		A	A	A	公休日	
	17	生涯学習コーディネーター		A	A	A	A	
恐竜 パ ー ク	18	受付・コンシェルジュ	インフォ メーショ		C	C	C	公休日
	19	受付・コンシェルジュ			公休日	B	D	D
	20	公園管理グループ長	公園広場 管理 グループ		A	C	B	A
	21	パーク管理			A	公休日	公休日	B
	22	パーク管理			B	公休日	公休日	C
23	パーク管理			C	公休日	公休日	A	

【施設営業時間】

恐竜博物館	午前9時から午後5時まで ※ただし、GWや夏休み期間は、営業時間を延長し、午後6時までとします
軍艦島資料館	
野母崎文化センター	
インフォメーションセンター	
恐竜パーク体育館	
恐竜パーク庭球場	午前8時から午後9時まで

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	文化の日								
公休日	D	D	D	D	A	D	公休日	公休日	A
C	C	公休日	公休日	C	A	A	D	公休日	公休日
D	A	公休日	公休日	A	C	C	C	C	公休日
公休日	A	C	C	A	A	公休日	公休日	A	C
公休日	A	A	A	A	D	公休日	公休日	D	D
A	A	公休日	A	A	A	休館日	A	A	公休日
A	公休日	A	A	A	A		A	公休日	A
公休日	A	A	A	A	A		公休日	A	A
A	A	A	公休日	A	A		A	A	A
A	A	公休日	A	A	A		A	A	公休日
A	公休日	A	A	A	A		A	A	公休日
公休日	A	A	A	A	A		A	公休日	A
A	A	A	公休日	A	A		A	A	A
公休日	A	A	A	A	A	公休日	公休日	A	A
A	A	公休日	公休日	A	A	A	A	A	公休日
公休日	A	A	A	A	A	公休日	公休日	A	A
A	A	公休日	公休日	A	A	A	A	公休日	公休日
公休日	C	C	C	C	C	公休日	公休日	C	C
D	D	公休日	公休日	B	B	D	D	D	公休日
C	公休日	公休日	B	A	C	B	A	公休日	公休日
C	A	B	C	公休日	公休日	A	B	C	A
A	B	C	A	公休日	公休日	B	C	A	B
B	C	A	B	公休日	公休日	C	A	B	C

	出社時間	退社時間
A	8:30	17:30
B	13:30	22:30
C	7:30	16:30
D	12:30	21:30

シフト表(案)②

日			12	13	14	15	16	17	18	
曜日			金	土	日	月	火	水	木	
イベント										
経営企画	1	パーク所長(統括責任者)	A	A	D	D	公休日	公休日	D	
	2	事務局長	A	A	C	C	C	公休日	公休日	
	3	総務マネージャー	公休日	C	A	A	D	A	公休日	
	4	経理マネージャー	C	A	A	公休日	公休日	C	C	
	5	施設管理マネージャー	D	D	A	公休日	公休日	D	A	
恐竜博物館	6	館長	A	A	A	休館日	A	A	公休日	
	7	学芸員(グループ長)	A	A	A		A	公休日	A	
	8	学習指導員	A	A	A		A	A	A	
	9	グラフィックデザイナー	公休日	A	A		A	A	A	
	10	サービスグループ長	A	A	A		A	A	公休日	
	11	インストラクター①	A	A	A		A	A	公休日	A
	12	インストラクター②	A	A	A		A	A	公休日	A
	13	ショップ主任	公休日	A	A		A	A	A	A
軍艦島資料館	14	受付・コンシェルジュ	A	A	A	公休日	公休日	A	A	
	15	受付・コンシェルジュ	公休日	A	A	A	A	A	公休日	
文化センター	16	図書室受付・窓口案内	A	A	A	公休日	公休日	A	A	
	17	生涯学習コーディネーター	A	A	A	A	A	公休日	公休日	
恐竜パーク	18	受付・コンシェルジュ	C	C	C	公休日	公休日	C	C	
	19	受付・コンシェルジュ	公休日	D	B	D	D	D	公休日	
	20	公園管理グループ長	C	B	A	C	B	公休日	公休日	
	21	パーク管理	B	公休日	公休日	C	A	B	C	
	22	パーク管理	C	公休日	公休日	A	B	C	A	
	23	パーク管理	A	公休日	公休日	B	C	A	B	

【施設営業時間】

恐竜博物館	午前9時から午後5時まで
軍艦島資料館	午前9時から午後5時まで
野母崎文化センター	午前9時から午後5時まで
インフォメーションセンター	※ただ
恐竜パーク体育館	午前9時から午後10時まで
恐竜パーク庭球場	午前9時から午後3時まで

※業務繁忙期に応じて臨時職員を追加配置して対応いたします。

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
				勤 労 感 謝 の 日								
D	D	A	公休日	A	D	公休日	A	A	D	D	公休日	
C	C	A	D	A	公休日	公休日	A	A	C	A	A	
公休日	A	C	C	C	C	公休日	公休日	C	A	A	A	
A	A	A	A	A	公休日	公休日	C	A	A	A	公休日	
A	A	D	公休日	D	公休日	D	D	D	A	公休日	公休日	
A	A	A	休 館 日	A	A	公休日	A	A	A	休 館 日	A	
A	A	A		A	公休日	A	A	A	A		A	A
A	A	A		A	公休日	A	A	A	A		A	公休日
公休日	A	A		A	A	A	公休日	A	A		A	A
A	A	A		A	A	公休日	A	A	A		A	A
A	A	A		A	A	公休日	A	A	A		A	A
A	A	A		A	A	公休日	A	A	A		A	A
公休日	A	A		A	A	A	A	公休日	A		A	A
A	A	A		公休日	A	公休日	A	A	A		A	公休日
公休日	A	A	A	A	A	公休日	公休日	A	A	A	A	
A	A	A	公休日	公休日	A	A	A	A	A	公休日	公休日	
A	A	A	A	A	公休日	公休日	A	A	A	A	A	
C	C	C	公休日	C	公休日	C	C	C	C	公休日	公休日	
公休日	B	B	D	D	D	公休日	公休日	D	B	B	B	
A	A	C	B	A	公休日	公休日	C	B	A	C	B	
A	公休日	公休日	B	C	A	B	C	公休日	公休日	A	B	
B	公休日	公休日	C	A	B	C	A	公休日	公休日	B	C	
C	公休日	公休日	A	B	C	A	B	公休日	公休日	C	A	

(4) 環境にやさしい経営マネジメント

- 省エネルギーの徹底及び温室効果ガスの排出抑制
- 廃棄物の発生抑制
- リサイクルの推進及び廃棄物の適正処理
- 環境負荷の低減に配慮した物品の購入(グリーン購入の推進)

私たちは恐竜パークの理念は、地球規模での自然科学や環境保全に繋がるテーマであると考えています。

そこで、経営面においても SDGsとの整合を図りながら環境にやさしい経営マネジメントを推進することを基本に、省エネルギーの徹底及び温室効果ガスの排出抑制、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進及び廃棄物の適正処理、環境負荷の低減に配慮した物品の購入(グリーン購入の推進)などを経営方針として掲げ、全スタッフがその理念の共有した取り組みを推進します。



12 収支計画

(1) 基本的な考え方

- 効率的な経営により、指定管理料の上限よりも1千万円減額を提案
- 収益の9割(約3000万円)の全てを利用者に還元
(還元方法例:子ども向け図書の購入、各種割引等)
- 自主事業は収益の1割を補填財源として、恐竜パークの集客と地域貢献を目的に実施

私たちは、本事業は地域活性化のための事業であり営利を目的とした事業とは考えておりません。

従って、収支についても収益を求めるものではなく、可能な限り利用者還元を行うことを基本的な考え方としており、収益の9割を恐竜に関する絵本や電子図書の購入など様々な形で利用者に還元いたします。

(2) 収支概要(詳細は様式5参照)

上記の方針で経営を行うことで以下のとおり安定的な収支を達成いたします。

自主事業はあくまで地域貢献や恐竜パークへの集客の呼び水としての取り組みとし利益を求めものではないというスタンスで実施します。従って、費用は収益の1割より捻出いたします。

(単位:千円)

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	6年合計
恐竜博物館	企画展以外の指定管理業務	0	0	0	0	0	0	0
	企画展	112	5,551	3,121	5,286	6,819	7,351	28,240
	ミュージアムショップ	61	1,581	381	981	1,281	1,581	5,866
恐竜広場		0	0	0	0	0	0	0
野母崎文化センター		0	0	0	0	0	0	0
軍艦島資料館		0	0	0	0	0	0	0
自主事業		40	▲ 700	▲ 750	▲ 750	▲ 900	▲ 650	▲ 3,710
合計		213	6,432	2,752	5,517	7,200	8,282	30,396

長崎のもぎき恐竜パーク
指定管理者選考に関する事業計画書

長崎のもざき恐竜パーク
指定管理者候補者選定審査会審査報告書

令和3年5月



令和3年5月7日

長崎市長 田上 富久 様

長崎のもぞき恐竜パーク
指定管理者候補者選定審査会
会長 深見 聡 

長崎のもぞき恐竜パーク指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎のもぞき恐竜パークの指定管理者の指定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

(1) 第一順位 大成 NOMON グループ

2 選定審査会の構成

会 長	深見 聡	長崎大学環境科学部
委 員	岩下 俊明	長崎市社会教育委員
委 員	落合 知子	長崎国際大学人間社会学部
委 員	古賀 典明	長崎国際観光コンベンション協会
委 員	繁宮 悠介	長崎総合科学大学総合情報学部
委 員	田畑 芙弥	長崎市私立幼稚園 PTA 連合会
委 員	松尾 裕隆	九州北部税理士会長崎支部
委 員	三浦 宏一	野母崎連合自治会

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容や面接に基づき審査を行いました。

また、施設を管理運営する安定した経営能力を有するかについて、応募団体の財務諸表等により審査を行いました。

なお、審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、全ての審査において団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和2年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出 ・指定管理者制度の説明 ・指定管理者候補者選定審査会の概要説明 ・施設概要説明 ・募集要項の説明及び協議 ・指定管理者選定に係る評価項目及び配点の協議
第2回	令和3年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・再公募の募集要項の説明及び協議
第3回	令和3年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・再公募に係る応募者の申し込み状況報告 ・審査方法（書類審査、面接審査）の説明及び協議 ・書類審査
第4回	令和3年5月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・面接審査 ・採点、指定管理者候補者の選定 ・審査報告書の協議

5 申請団体（1団体のみ）

- ・大成 NOMON グループ
 - 代表団体 大成不動産システム株式会社
 - 構成団体 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社
 - 構成団体 富士ビル総合株式会社

6 審査結果（採点結果は別紙のとおり）

(1) 第一順位 大成 NOMON グループ

ア 安定した経営能力について

代表団体及び各構成団体の各財務諸表等により資本金、直近売上、決算所得及び税務所得などの財務状況を審査した結果、令和元年度は業績が落ち込み、加えて、今後、新型コロナウイルスの影響も危惧されるが、施設の管理運営ができないという状況ではないと判断できる。

イ 事業計画について

- ・企画展年6回、ワークショップ、教育養成プログラム、講演会、出前授業など盛り沢山の教育活動の企画は評価できるが、「質の成果」を追求する姿勢を持ち運営してほしい。
- ・パンフレット等デザインの統一を図ることで、ブランド力の向上を図る点は、同施設にとどまらず、野母崎全体のイメージ向上に貢献すると考える。
- ・施設については、地域の現状をよく調査し、実態に基づいた計画を立てている。
- ・学びの場として（仮称）のもぞき大学や子どもたちへの学びの提供と魅力的であり、地域の活性化に繋がるものと考えますが、具体性がまだ十分に感じられない。
- ・多くの企画提案がなされており、全てがしっかりと実施できれば素晴らしいが、あまりにも多くの提案であり、全てこの通りに実施できるのかという不安もある。

ウ 基本事項について

- ・提案者はホテル経営のプロであることから、新型コロナウイルス対策や来館者へのおもてなしには期待できる。
- ・SDGs や SD（持続可能な開発）に基づく基本方針が適切に示されている点は評価できるが、一方でこれらが実行可能となり得るものか注目していきたい。
- ・地域団体との連携や助言を行うことにより、地域団体の物産販売による自立化を視野に入れており、相互にメリットを創出するような経営方針が確認できる。
- ・施設の設置目的に沿った方針が考えられており、地域の活性化についてもよく検討されている。

エ 管理運営体制について

- ・収支計画に記載がある修学旅行についての取り組みが事業計画に記載されていない。
- ・館長に関しても学芸員と同様に有資格者の配置を願いたい。
- ・人員配置については、具体的な数字を入れて地元雇用を考えているが、業務内容が今までに経験したことがない業務が多く、研修内容の充実が必要だと考える。
- ・地域の雇用については、地域を最優先に考えられており、地元へよく配慮されている。

オ 価格点について

指定管理委託料の上限額である 667,944 千円に対し、提案額は 657,924 千円であったことから、10,020 千円の経費削減に努めている。

7 審査会総評

(1) 総括的な講評

基本事項、事業計画、管理運営体制、価格については適切であり、提案内容についても地元への思いや使命感が伝わるような提案となっている。

また、恐竜パークの価値をおおむね適切に認識しており、特に地域の活性化に資する提案もなされ、自主事業への取り組みへの意欲がみられた。

しかしながら、あまりにも多くの企画や事業を実施する提案内容となっていることから、実際に実施できるのか不安が残るため、数よりも「質の成果」を追求する姿勢も持ちながら運営してほしい。

以上のことから、大成 NOMON グループは長崎のもぞき恐竜パークの指定管理者候補者として適切であると判断される。

(2) 選考審査委員会からの要望・意見

- ・小学生の修学旅行や社会科見学などでの活用も期待したい。
- ・テーマパーク的な発想も大切であるが、それ以上に先を見据えた地道な計画に基づいた恐竜の研究ができる拠点施設になってほしい。
- ・野母崎だからこそ可能な地域住民を取り込んだ恐竜博物館をコアとした活動を行ってほしい。
- ・恐竜博物館としての堅実な運営とイベント等の企画実施のバランスを再考し、より内容

の濃いものとして定着化をお願いしたい。

・人員に見合った規模のイベントや管理運営等の業務バランスについて、「働き方」の視点からも従業員への相応の待遇保証をお願いしたい。

・事業計画を前倒しする意気込みで運営をお願いしたい。

・親子で楽しめる場にしてほしい。

・理想的な方針は立てられているが、具体性に乏しく、内容的にもマンパワー的にも実現可能なのか、あるいはマンパワーの配置に偏りがあるのではないかなどの心配がある。

・5Gやライブカメラなど機器の使用効果が本当に必要なものなのか検討してほしい。

・企画展や（仮称）のもぎき大学など外部のコンテンツを活用する内容が多かったが、長崎ならではの企画展や地域住民が求める「大学」の内容を考えてほしい。

・毎年、改善を行いながら実施してほしい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点				採点	
	大項目	中項目	中項目詳細	各委員	計	全体	計	大成 NOMON グループ	
事業計画	事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、恐竜パーク全体及び個々の施設それぞれの設置目的に沿った成果が得られるような事業計画であるか	4	30	96	240	23	144
		企画立案	施設の効用を高めるための企画、イベント、情報発信についての基本的な考えが、恐竜パークの設置目的に沿ったものであり、魅力的なものか	12					
			恐竜博物館の企画展示、ワークショップ、教育養成プログラム、講演会等を行うにあたっての基本的な考えが、恐竜博物館の設置目的に沿った提案となっているか						
		サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜パーク内の自然や眺望、恐竜博物館をはじめとした各施設の特色を生かした取組みや情報発信など、年間を通じて施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案であるか ・複合施設としての利点を活かした事業となっているか ・ミュージアムショップは、恐竜博物館の特性を活かした商品を取り扱うことができるか ・地域活性化や観光振興に結び付くような自主事業の提案になっているか 	10					
	評価と改善	事業の提案に創意工夫や評価・改善体制があるか							
	基本事項	基本方針	施設の管理・運営業務について、施設の設置目的等に合った基本方針・理念を持っているか 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策はとられているか	4	4	32	128	22	110
		協働と連携	施設を利用し活動している市民や地域団体、地元住民、行政との協働及び連携に係る考え方が適切であるか	4	4	32		27	
		平等利用の確保	施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	4	4	32		28	
		個人情報の保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	4	32		27	
	管理運営体制	人員配置	職員配置は、施設の業務を行うのに適切か (配置人数、管理組織の構成、施設管理に必要な資格を有する者、企画展示を行うための知識・経験を有する者など人材の確保状況など)	4	4	32	192	21	154
			施設の維持・安全管理が適切に行えるか(業務における責任体制等明確化されているか)、また、職員研修はなされているか	4	4	32		28	
			人員については、地元雇用(野母崎地域住民)を積極的に行うようにしているか	4	4	32		29	
		収支計画	施設の業務に係る収支計画は、事業計画等との整合性が図られているか、また、経費削減の取組みはなされているか	4	4	32		21	
		施設管理	施設及び設備の維持管理業務に係る基本的事項(清掃、点検業務、備品管理、職員研修など)は適切に遂行できるか	4	4	32		27	
		緊急時の対応	緊急時における連絡体制等危機管理体制は適切か	4	4	32		28	
	技術点 計 (※技術点の区分の合計点が配点の60%未満の場合は失格)				4		32	28	
価格点	価格	経費	経費は適正か ※上限の範囲内において、一定の基準額までは経費の削減努力を評価しますが、その基準額を下回る場合はサービス水準の低下が懸念されることから、評価が下がります。	70		560	408 (73%)		
				30	30	240	240	184	184
合計				100	100	800	800	592	592

長崎市恐竜博物館の概要



1 長崎市恐竜博物館の概要

(1) 設置目的

恐竜を中心とする古生物学及び地学に関する資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供し、あわせて博物館資料に関する調査研究を行い、もって学術及び文化の発展に寄与するため。

(2) 名 称 長崎市恐竜博物館

(3) 所 在 地 長崎市野母町568番地1

(4) 供用開始 令和3年10月29日

(5) 事業内容

ア 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること

イ 博物館資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること

ウ 教育活動その他の活動の機会の提供に関すること

エ 他の博物館等との緊密な連絡及び協力並びに情報の交換、博物館資料の相互貸借等に関すること

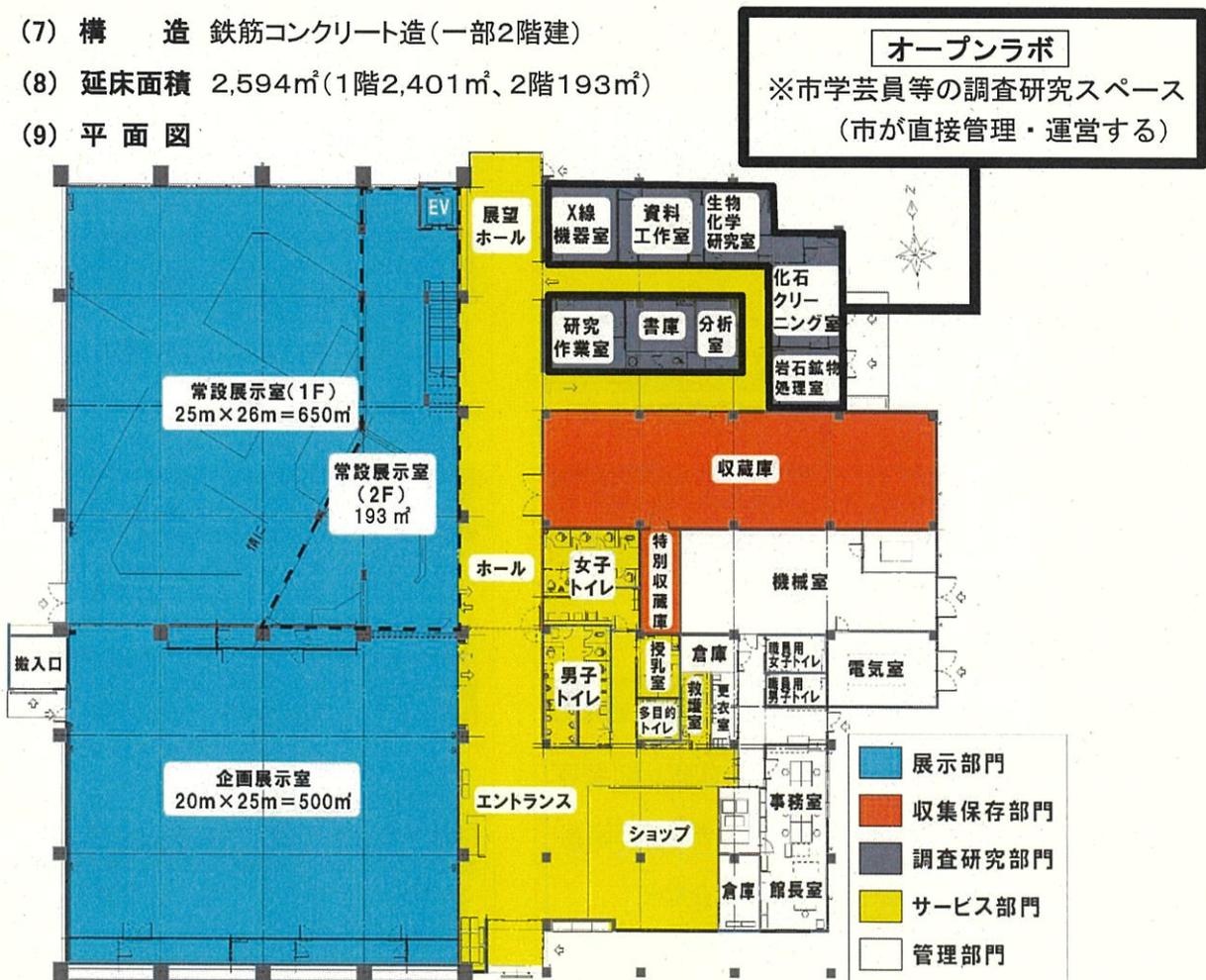
オ その他教育委員会が必要と認める事業

(6) 観覧者数 年間約12万人(目標)

(7) 構 造 鉄筋コンクリート造(一部2階建)

(8) 延床面積 2,594㎡(1階2,401㎡、2階193㎡)

(9) 平面図



(10) 総事業費 20,97,040 千円(予算ベース)

事業費内訳

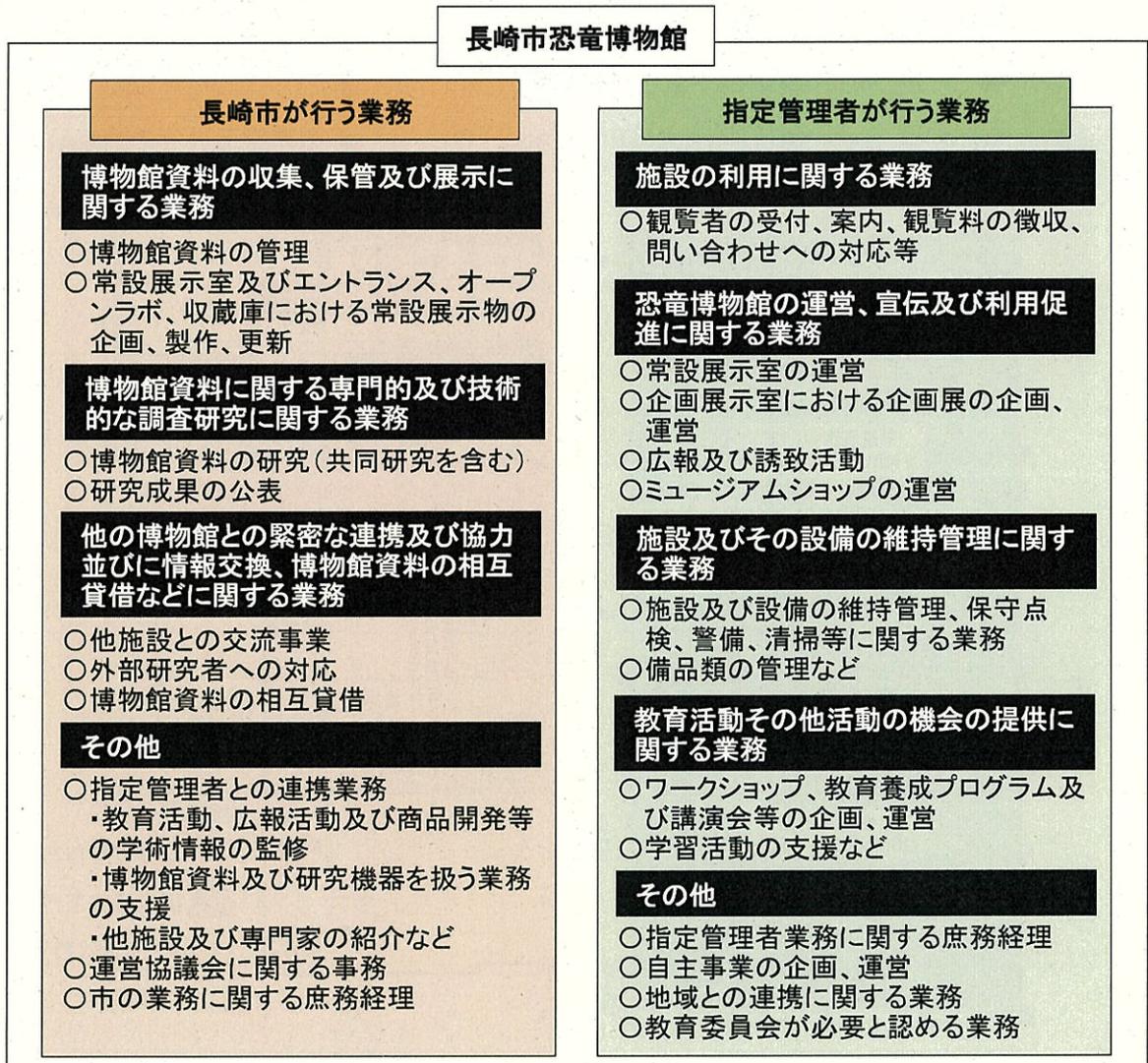
(単位:千円)

事業年度	事業費	内 訳				
		建築工事費	展示施工費	標本取得	研究機器・ 備品購入	その他 (設計費含む)
平成 30 年度	133,740	0	0	75,600	0	58,140
令和元年度	709,000	500,927	92,684	0	0	115,389
令和2年度	1,037,900	751,290	0	120,541	152,762	13,307
令和3年度	216,400	0	203,918	0	0	12,482
総事業費	2,097,040	1,252,217	296,602	196,141	152,762	199,318

2 恐竜博物館の管理・運営

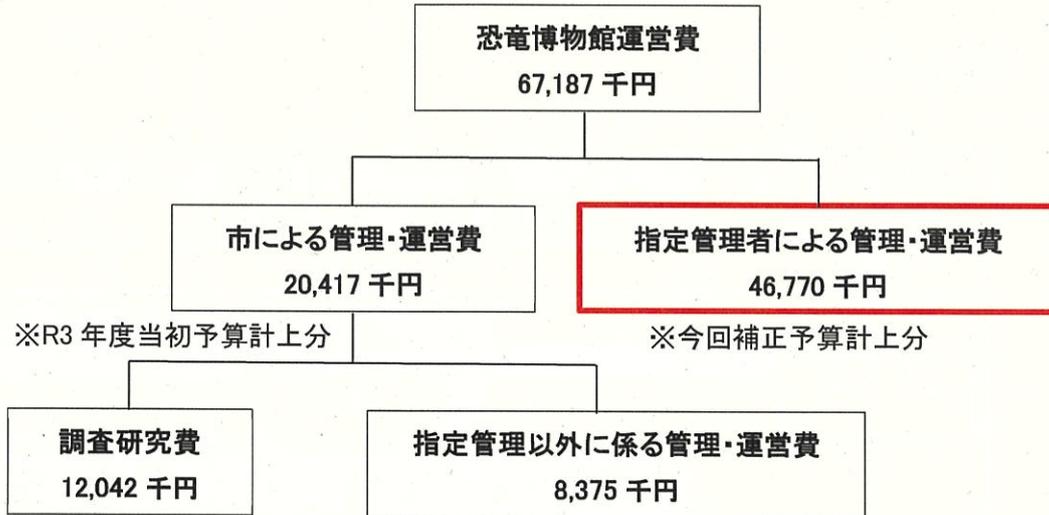
高い専門性を有し、継続性が求められる博物館資料の収集及び調査研究などの事業については、長崎市の直営業務とし、直営業務以外の博物館の管理運営は、指定管理者制度により行う。

(1) 管理・運営の業務分担



※令和3年7月1日から、恐竜博物館に関する「施設の利用に関する業務」及び「宣伝及び利用促進に関する業務」を行うため、指定管理の指定を行う。

(2) 運営費の構成

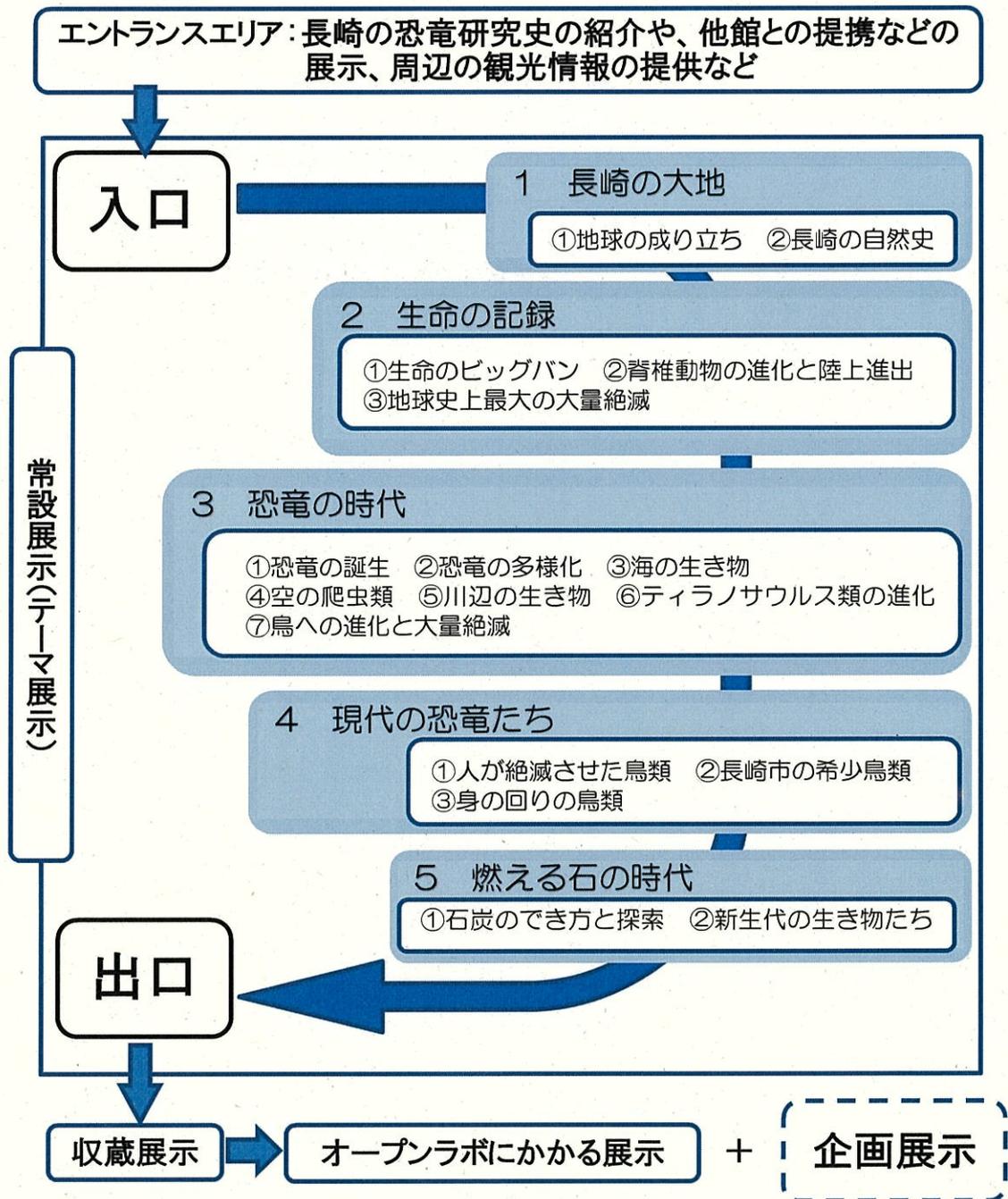


3 常設展示の概要

(1) 恐竜博物館の基本テーマ ～基本計画より～

あらゆるテーマを対象とした総合自然史博物館ではなく、国内で初めて発見されたティラノサウルス科大型種の化石など、他では見られない長崎市産の「恐竜」を中核テーマとし、石炭ができた時代を経て、現代に至るまでの「はるかな過去の長崎」を探求する長崎市特有のストーリーを活かした特色のある博物館を目指す。

(2) 常設展示室の5つのテーマ



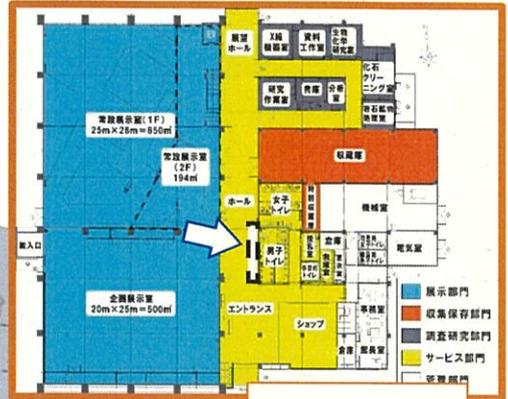
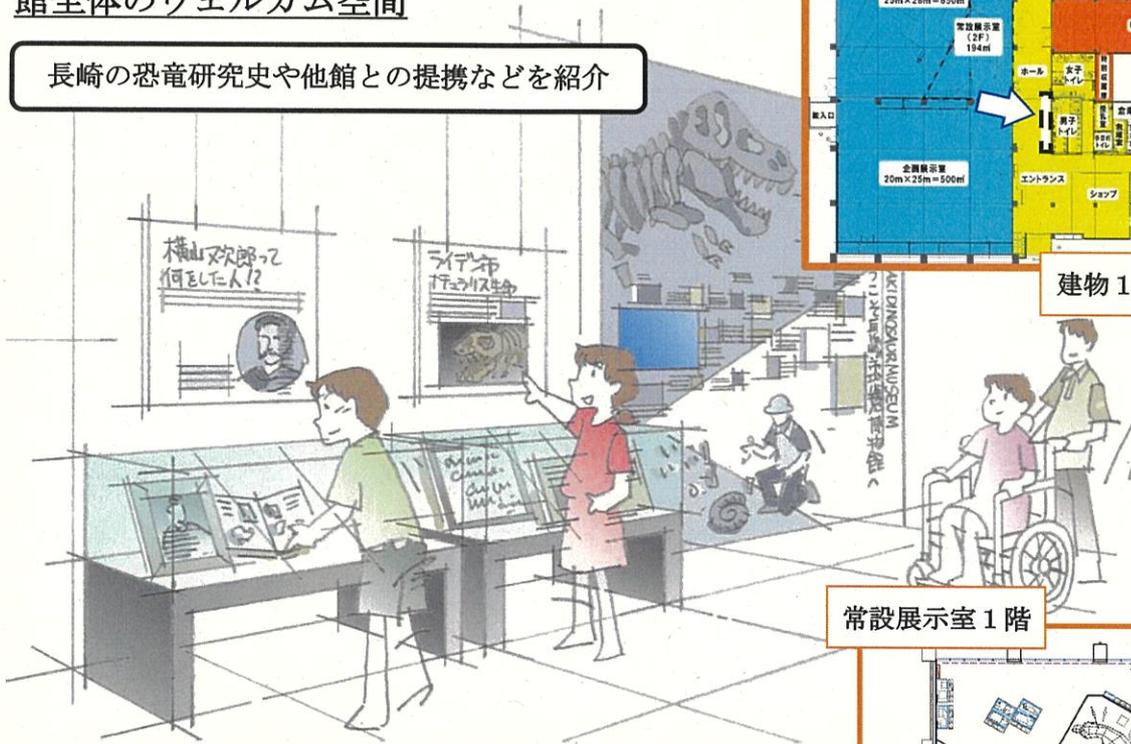
(3) 常設展示イメージ図

エントランス

➡イメージ図の視点の向き

館全体のウェルカム空間

長崎の恐竜研究史や他館との提携などを紹介



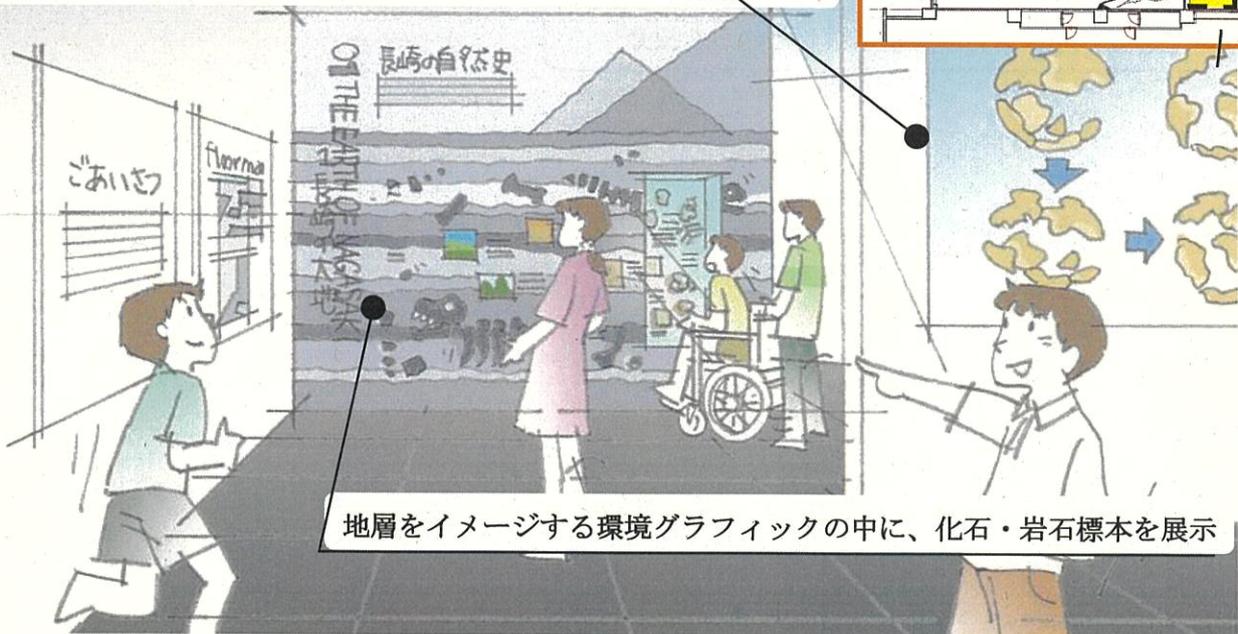
建物1階平面図

常設展示室1階

テーマ1 : 長崎の大地

古代へといざない、期待感を醸成する導入空間

プレートテクトニクスや長崎の地質図などをプロジェクター映像で紹介



地層をイメージする環境グラフィックの中に、化石・岩石標本を展示

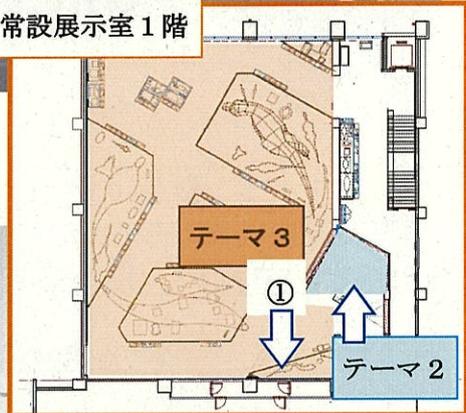
テーマ2 : 生命の記録

生命の起源や躍動感を感じさせるインタラクティブな展示空間

生物が進化の中で、目、口（顎）、四肢など、生きるための機能を獲得して他者よりも優位に立つことで繁栄したことを、標本やハンズオンから学ぶ



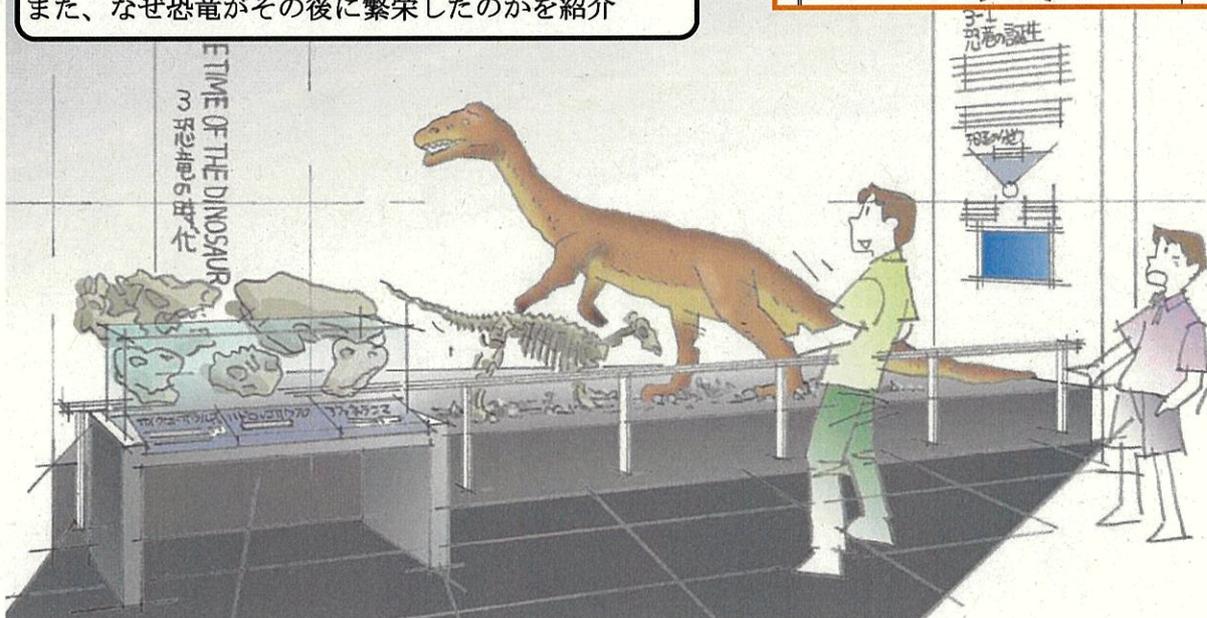
常設展示室 1階



テーマ3 : 恐竜の時代

①狭い通路からひらける大空間への入口

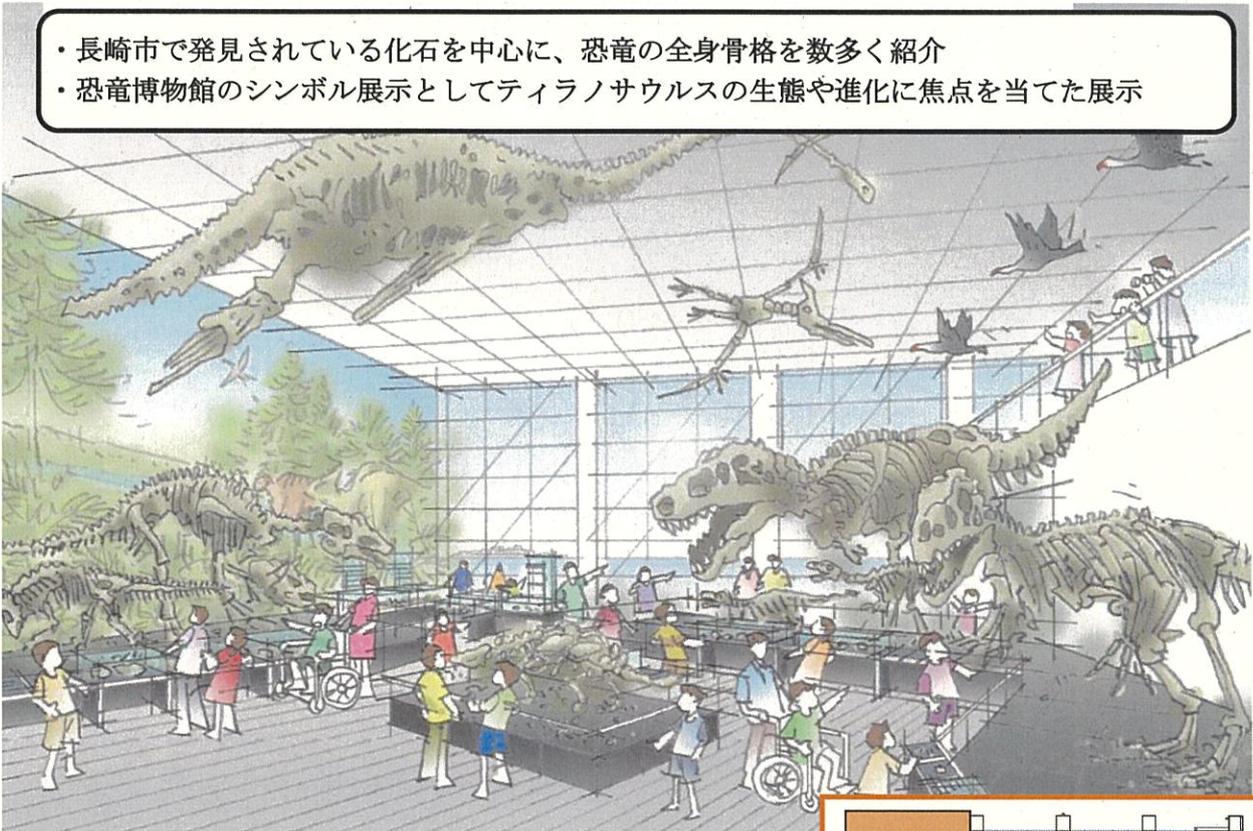
最初期の恐竜を用いて他の生き物と何が違うのか、また、なぜ恐竜がその後に繁栄したのかを紹介



テーマ3 : 恐竜の時代

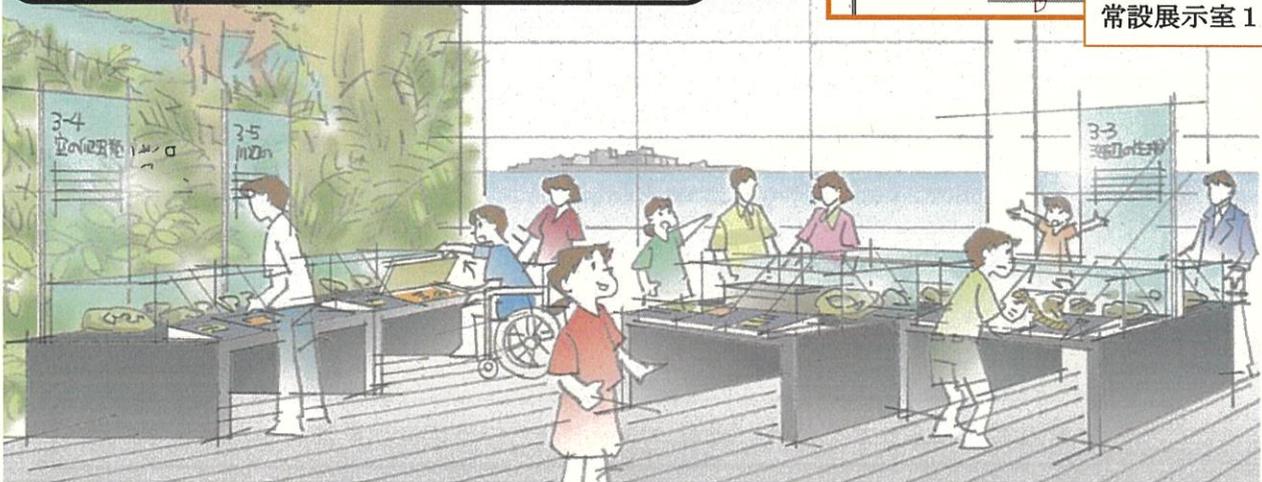
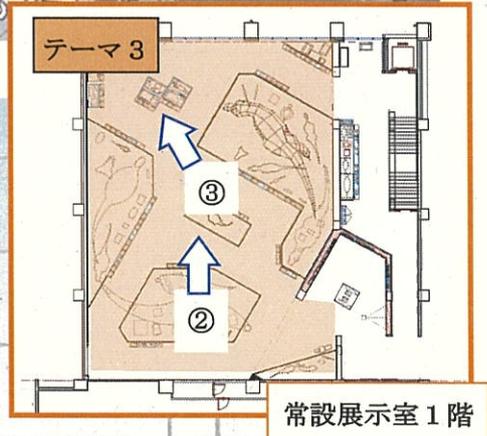
②さまざまな恐竜たちが同時に望める大空間で驚きを演出

- ・長崎市で発見されている化石を中心に、恐竜の全身骨格を数多く紹介
- ・恐竜博物館のシンボル展示としてティラノサウルスの生態や進化に焦点を当てた展示



③軍艦島の景観と、海、空、川の多様な古代の生き物の世界に入り込む

海辺の生き物、空の爬虫類、川辺の生き物について、九州で発見されている化石を中心に恐竜時代の生態系を紹介



テーマ4 : 現代の恐竜たち

常設展示室2階

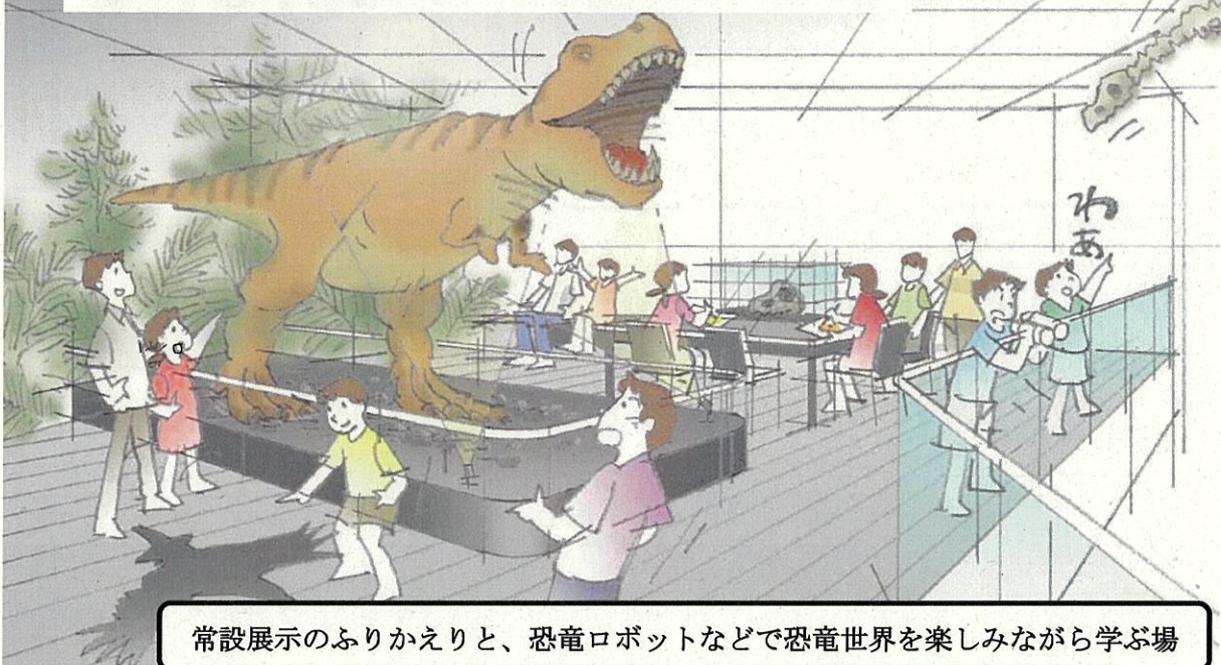
現代と古代とのつながりを感じさせ、余韻に浸れる場

人が絶滅させた鳥類、長崎市の希少鳥類、身の回りの鳥類を紹介



体験エリア (2階南側)

展示室全体を眺望しながら、体験で楽しみ学ぶ場

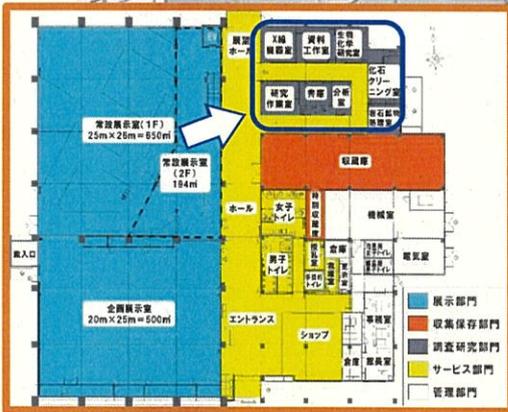
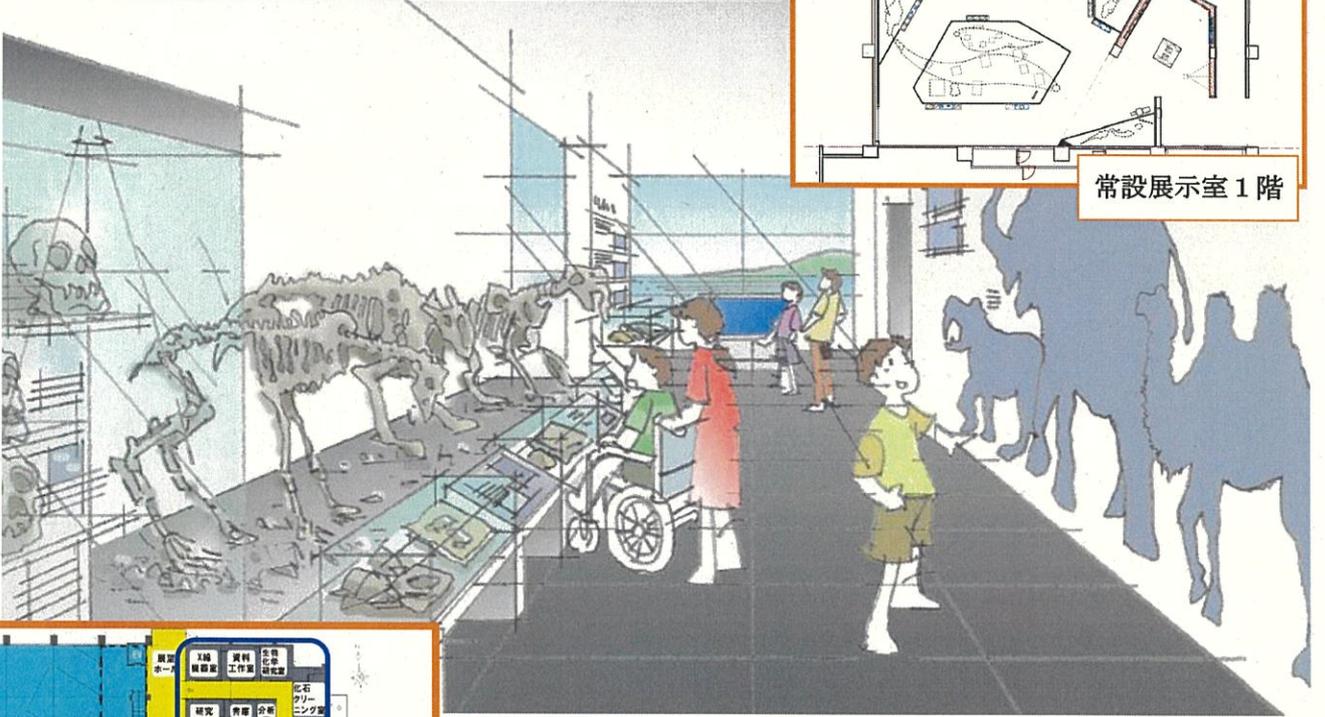
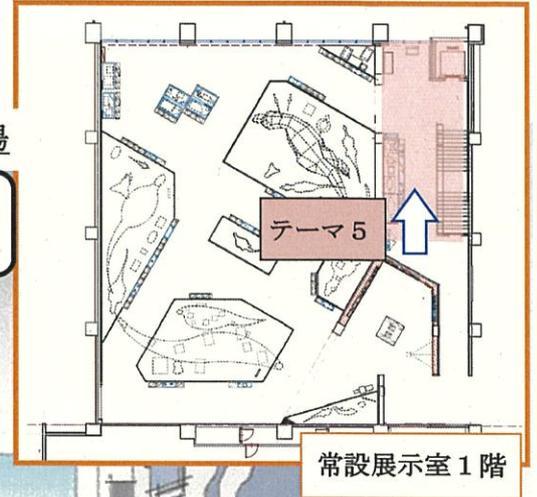


常設展示のふりかえりと、恐竜ロボットなどで恐竜世界を楽しみながら学ぶ場

テーマ5 : 燃える石の時代

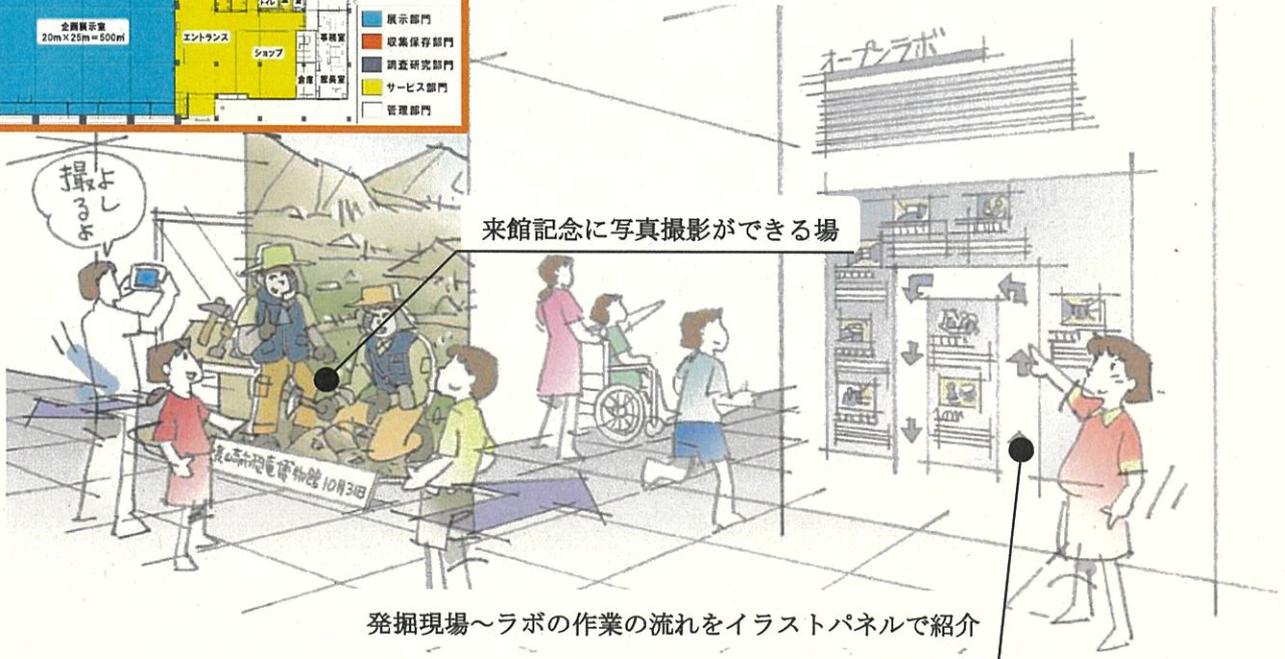
古代から現代につながる動物の様相を景観とともに感じる場

長崎の石炭について理解を深めてもらう展示や、恐竜の時代の後の哺乳類の進化について紹介

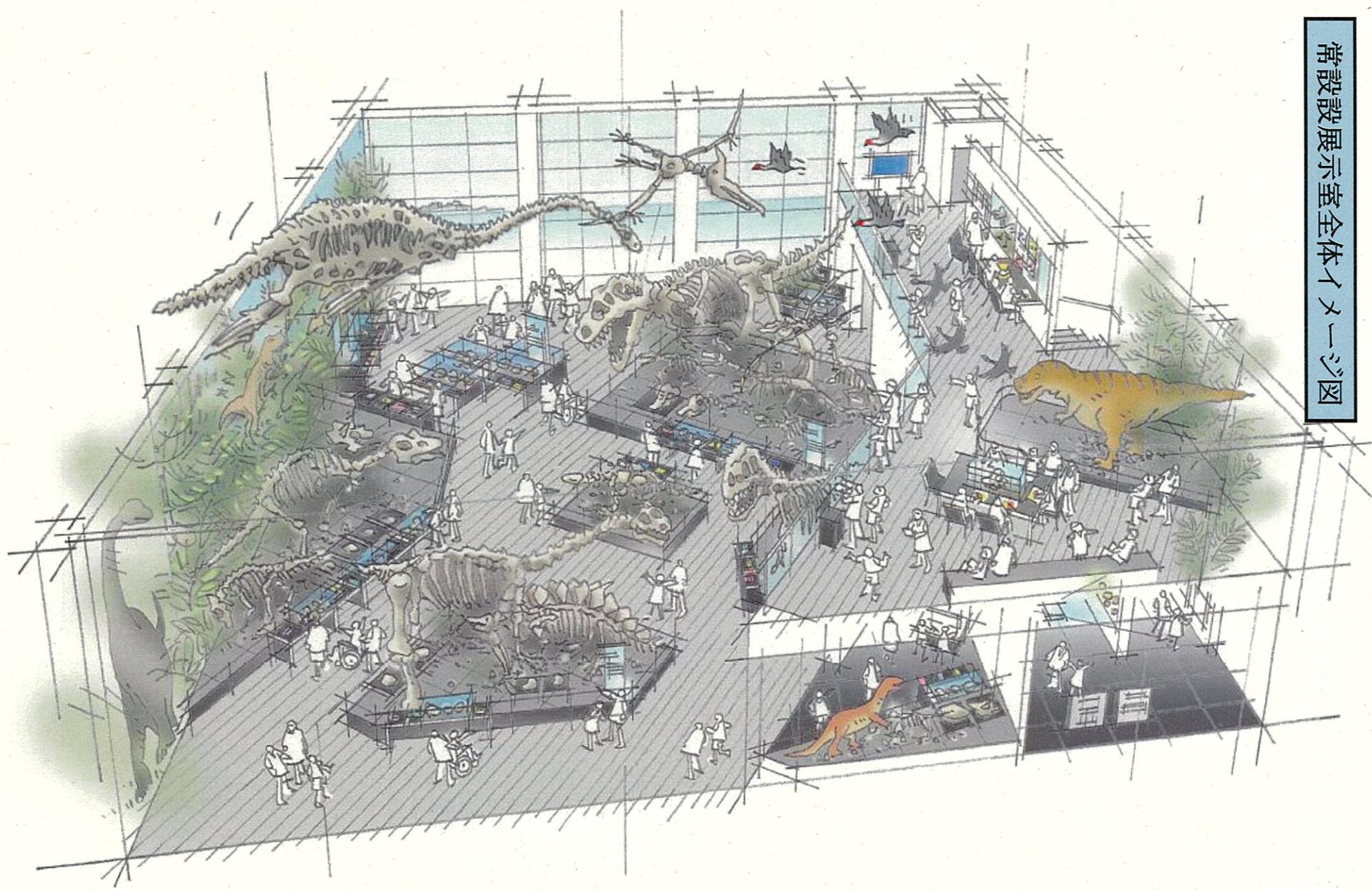


調査研究施設を公開(オープンラボ)

博物館を支える長崎市化石研究の現場を疑似体験できる場



常設展示室全体イメージ図



4 恐竜博物館内の現況



エントランス



ミュージアムショップ



常設展示室



展望ホール



企画展示室



収蔵庫



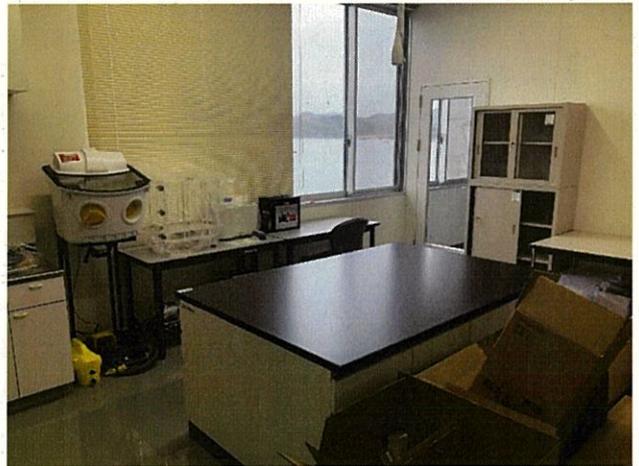
岩石鉱物処理室



化石クリーニング室



分析室



資料工作室



X線機器室



事務室